

小学館版

少年少女

学習まんが

# 日本の歴史

監修/児玉幸多 学習院大学名誉教授

## 7 鎌倉幕府の成立

●鎌倉時代

決定版





●まんが  
あおむら 純

1941年、山口県に生まれる。アニメーションの作画などをへて現在にいたる。歴史まんがの分野で大活やくし、少年少女のファンも多い。

## 7巻にご協力いただいた方がた

### ●監修

児玉幸多（学習院大学名誉教授）

### ●まんが

あおむら純

### ●シナリオ

西原和海

### ●考証

石井謙治（日本海事史学会名誉会長）

小泉和子（生活史研究所代表）

鈴木友也（日本美術刀剣保存協会専務理事）

高田倭男（高田装束研究所所長）

玉井哲雄（千葉大学名誉教授）

### ●指導（教育現場の立場から）

高山博之（京都教育大学名誉教授）

### ●指導・執筆・協力

石野 亨（近畿大学名誉教授）

岡田威夫（共立女子高校）

五味文彦（東京大学名誉教授）

佐藤和彦（東京学芸大学名誉教授）

西川新次（慶應義塾大学名誉教授）

高橋千絆破

### ●取材協力

朝日新聞西部本社企画部 石山寺 (財)永青文庫 永平寺 円覚寺 大阪城天守閣 大橋俊雄 大山祇神社 春日大社 神奈川県立歴史博物館 鎌倉考古学研究所 鎌倉市教育委員会 歓喜光寺 北野天満宮 九州歴史資料館 京都国立博物館 宮内庁侍従職 宮内庁三の丸尚蔵館 国立歴史民俗博物館 建長寺高徳院 興福寺 埼玉県立博物館 西念寺寿福寺 神護寺 清澄寺 関ヶ原町歴史民俗資料館 知恩院 中尊寺 朝護孫子寺 鶴岡八幡宮 東海銀行貨幣資料館 東京国立博物館 東大寺 奈良国立博物館 二尊院 二宮八郎 箕崎宮 東本願寺 財美術院 福岡市埋蔵文化財センター 藤沢市文書院 宝慶寺妙法華寺 柳沢真次郎 柳田純孝 遊行寺横浜市歴史博物館

### ●イラスト

池尻克美 大林かおる 中西立太

深山のぼる

### ●作画協力

大岡龍二 小井土繁 小杉彰 小山春夫  
芝知照 坪井幸一 馬場秀夫 山本貴久雄

### ●装丁・レイアウト

功野真矢 佐野恒雄(CSJ) 成澤哲夫(NED)

### ●版下

大山デザイン 昭和ライト タナカデザイン

### ●編集協力

エディトリアル・プランニング 真英社

風人社 銀杏社 山本美峰

### ●編集担当

柏原順太 宮部良雄 八巻孝夫

(五十音順・敬称略)

小学館版

少年少女

学習まんが

# 日本の歴史

7

## かまくらばくふ 鎌倉幕府の成立

●鎌倉時代



# との昔の歴史年表

●この巻には、青色の部分の時代・年代が、かかれています。

時代	年代
旧石器(岩宿)	前3万
縄文(紋)	前1万
弥生	前1000
古墳	紀元1
飛鳥	100
奈良	200
平	300
安	400
鎌倉	500
南北朝	600
室町	700
戦国	800
安土桃山	900
江戸	1000
明治	1100
大正	1200
昭和・前期	1300
昭和・後期～平成	1400
	1500
	1600
	1700
	1800
	1900
	2000
	2100

## 時代・文化

### 西暦

### 日本のおもなできごと

武家政治がはじまる。

平氏が滅亡する。

源頼朝が義経を追い、諸國に守護・地頭をおくる。

義経が奥州平泉の藤原秀衡のもとにのがれる。

藤原泰衡が義経をころし、頼朝が平泉をせめて藤原氏をほろぼす。

政所などの幕府のしくみがととのえられる。

後白河法皇がなくなり、頼朝が征夷大将軍に任せられる。

栄西らの臨済宗布教が禁止される。

頼朝が死ぬ。天竺様(大仏様)の東大寺南大門ができる。

梶原景時がうたれ、北条氏の勢力がいちだんと強まる。

將軍頼家が幽閉され、北条時政が執権となる。



### 西暦

### 世界のおもなできごと



第三回十字軍(～92)。



第四回十字軍(～04)。

1203  
1200  
1199  
1194  
1192  
1191  
1189  
1187  
1185

1203  
1200  
1199  
1194  
1192  
1191  
1189  
1187  
1185

## 鎌

## 倉

## 時

## 鎌倉時代の文化

1285 ● 1281 ● 1274 ● 1268 ● 1260 ● 1253 ● 1249 ● 1247 ● 1244 ● 1232 ● 1230 ● 1225 ● 1221 ● 1219 ● 1213 ● 1211 ● 1207 ● 1205

「新古今和歌集」がつくられる。

時政が失脚して、義時が執権となる。

法然・親鸞らがながされ、念佛宗が禁止される。

和田氏をうつて、北条氏が幕府を自由にうごかすようになる。

將軍実朝が公暁にころされる。

承久の乱がおこり、後鳥羽上皇らがながされる。

六波羅探題がおかる。

評定衆がおかる。

このころから大ききんがおこる。

**北条泰時が御成敗式目を制定する。**

道元が越前の大仏寺（後の永平寺）にうつり、曹洞宗を広める。

三浦氏一族が北条氏にほろぼされる。

引付衆がおかる。

日蓮が法華宗（日蓮宗）をおこす。

日蓮が「立正安國論」を北条時頼にすすめる。

蒙古の国書がもたらされ、北条時宗が執権となる。

文永の役がおこる。（蒙古軍が引きかえす。）

弘安の役がおこる。（蒙古の兵船が海底にしづむ。）

安達氏一族が内管領平頼綱にうたれる。



1279 ● 1271 ● 1260 ● 1258 ● 1241 ● 1234 ● 1219 ● 1215 ● 1206

蒙古でチンギス＝ハンが即位する。

イギリスで大憲章ができる。

蒙古軍の西方への遠征が始まる。



蒙古が金をほろぼす。

ハンザ同盟が成立する。

蒙古軍がバグダードを占領する。

フビライ＝ハンが即位する。

蒙古が元となる。

南宋が元（蒙古）にほろぼされる。

はじめに

# 武家政権の誕生と新しい社会の変動

## ◆一所懸命!?



みなさん、いま、なにか一生懸命にやっていることがありますか。スポーツとか趣味とか……それとも、勉強でしょうか。

じつは、この「一生懸命」というのは、もとは「一所懸命」と書いて、鎌倉時代に生まれたことばなのです。

平氏をほろぼした源頼朝と、配下の武士たち（御家人）との間には、深い結びつきが見られました。

頼朝は御家人に領地をわけあたえ、御家人はこれに対し、心から頼朝の命令にしたがうことをちかいました。

そして、御家人は、じぶんたちの領地をいのちがけで（「一所懸命」に）守ろうとしたのです。頼朝の政治は、こうした武士たちによつてささえられていました。

## ◆武士の政権

12世紀のすえ、頼朝は鎌倉に幕府をひらき、ここに初めて武士の政権が生まれました。それから約百五十年間を、「鎌倉時代」といいます。頼朝がなくなると、



幕府の実権は、源氏から北条氏へとうつっていきました。

しかし、武士が政権をにぎったといつても、朝廷がなくなつたわけではありません。

せん。

この時代の日本は、幕府と朝廷によつて、二重に政治がおこなわれていたのです。両方は対立していました。

13世紀初め、後鳥羽上皇が、幕府をたおそうと兵をあげましたが、すぐにつぶされてしましました。

その結果、幕府の土台は、さらにしつかりとなりました。

## ◆蒙古軍がきた！

そのころ、中國大陸には、蒙古人が巨大な国をきずいていました。13世紀の後半、その蒙古の大軍が、二度にわたつて日本をせめてきました。

さあ、大変。幕府と御家人は力を合わせ、九州で蒙古軍をむかえうちました。さいわい、幕府軍は敵を追いはらうことことができました。

ところが、幕府は御家人に恩賞（ほうび）をあたえることができません。

「いくさで、あれほど働いたのに、領地をわけてくれないなんて……」

と、御家人たちは、不満と怒りがいっぱいでした。そうして、幕府はしだいにおとろえていくのです。

——では、みなさん。第七巻も一生懸命に読んでくださいね。

# もくじ

- この巻の歴史年表
- はじめに
- おもな登場人物



第3章



第2章



第1章

大画面・日蓮の辯説法  
親鸞の布教活動  
道元、宋にわたる  
新しい仏教

和田一族ほろぶ  
源  
後鳥羽上皇、兵をあげる  
御成敗式目できる  
大画面・市のようす

承久の乱  
頼朝、征夷大将軍となる  
大画面・金剛力士像の組み立て  
重源、大仏を再建する  
義経の最期

はじめての武家政権

## 7

## 鎌倉幕府の成立

●鎌倉時代



## 第4章

## 蒙古の襲来

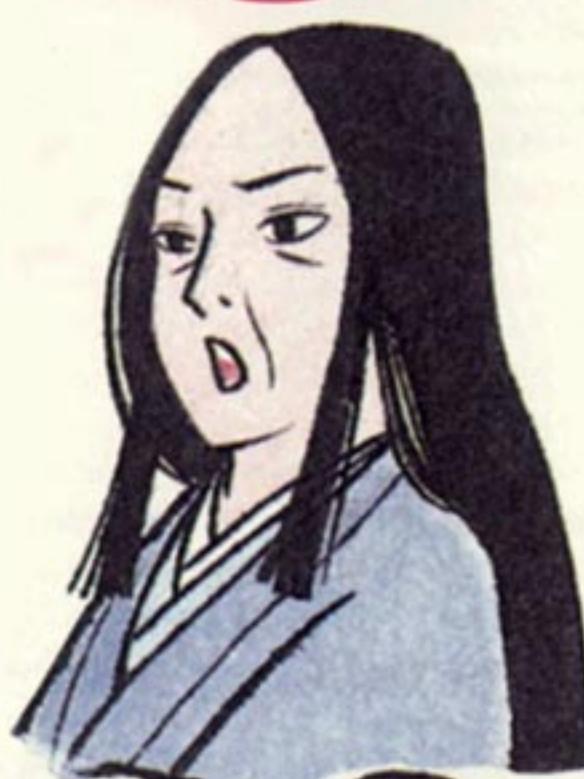
政治を非難する日蓮  
蒙古の国書とどく  
蒙古軍おしよせる  
防墨をきずく  
大画面・日本軍の夜襲  
苦しむ御家人たち

# おもな登場人物

とうじょうじんぶつ

※この巻に登場するおもな人物を紹介します。登場人物をくわしくしるための事典として、役立たせてください。

## 第2章



北条政子  
(一一五七~一二三五年)

頼朝の妻として幕府開設をたすける。承久の乱で幕府軍を勝利させ、執権体制を確立させる。



後鳥羽天皇  
(一一八〇~一二三九年)

北条政権をおそと承久の乱をおこす。藤原定家らに新古今和歌集をつくる。



源実朝  
(一一九二~一二一九年)

鎌倉三代将軍。『金槐和歌集』をのこしたすぐれた歌人。頼家の子公暁にころされる。



北条泰時  
(一一八三~一二四一年)

承久の乱で、幕府の総大将として活やく。最初の武家法『御成敗式目』をさだめる。

## 第1章



源頼朝  
(一一四七~一九九年)

鎌倉に幕府をひらき、以後の武家政治にとって偉大な基礎をつくりあげる。



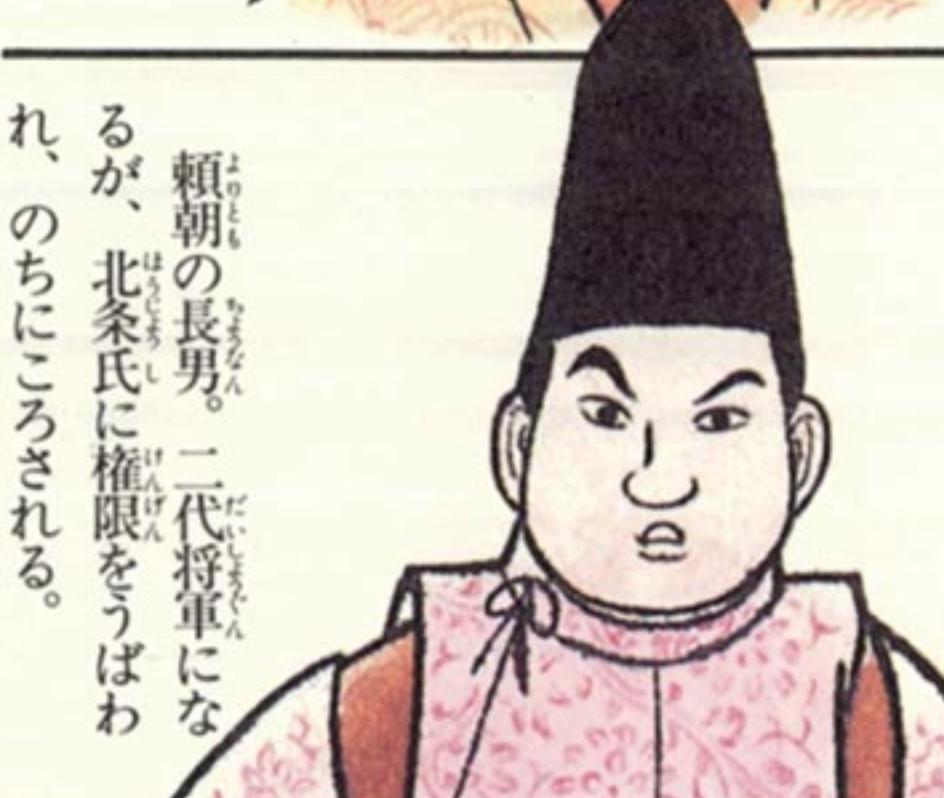
源重衡  
(一二二一~一二六六年)

鎌倉時代前期の浄土宗の僧。大火で焼けた東大寺の再建のためにつくす。



源実朝  
(一一三八~一二一五年)

北条政子の父。一代将軍頼家をしりぞけ、実朝を二代將軍につけ、初代の執権となる。



源頼家  
(一一八二~一二〇四年)

頼朝の長男。一代将軍になると、北条氏に権限をうばわれ、のちにころされる。



## 第4章

執權として一度にわたる家  
古軍の襲来をふせぐ。禪を信  
仰し、円覚寺をたてる。



北条時宗  
(一一五ー一二八四年)

文永弘安の役で活やくし  
た九州武士。『蒙古襲来絵詞』  
に活やくがえがかれてている。



竹崎季長  
(一一四六ー?年)

幕府の主要な地位にいたが  
北条貞時に攻められ、一族と  
ともに滅ぼする。



安達泰盛  
(一一三一ー一二八五年)

中央アジア、東ヨーロッパ  
までを含む大帝国蒙古の兵士。  
一度にわたり九州をせめる。



蒙古軍の兵士たち

## 第3章

人びとに念佛をといて、  
土宗をひらく。親鸞の師。



法然上人の弟子で、淨土真  
宗をひらく。『悪人正機説』を  
となえる。



(一一三三ー一二二二年)

親鸞

宋で、禪による悟りをえて  
曹洞宗をひらく。永平寺をた  
て、『正法眼藏』をあらわす。



(一一〇〇ー一二五三年)

道元

日蓮示をひらく。説法で布  
教する。『立正安國論』をあら  
わし、他国の侵略を予言する。



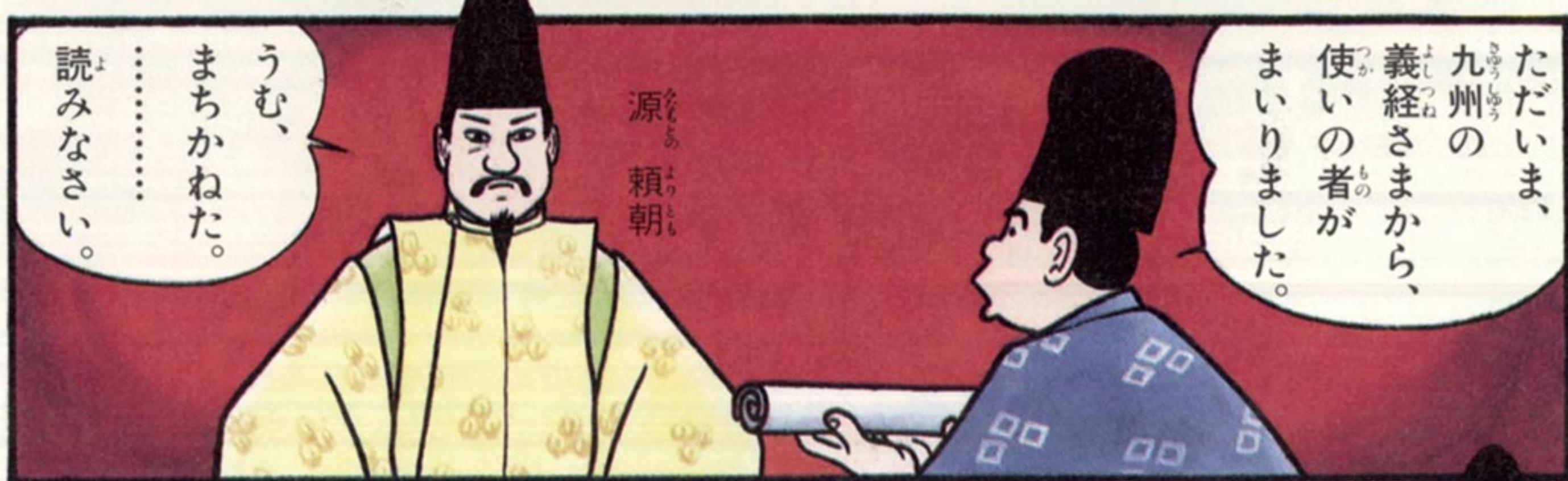
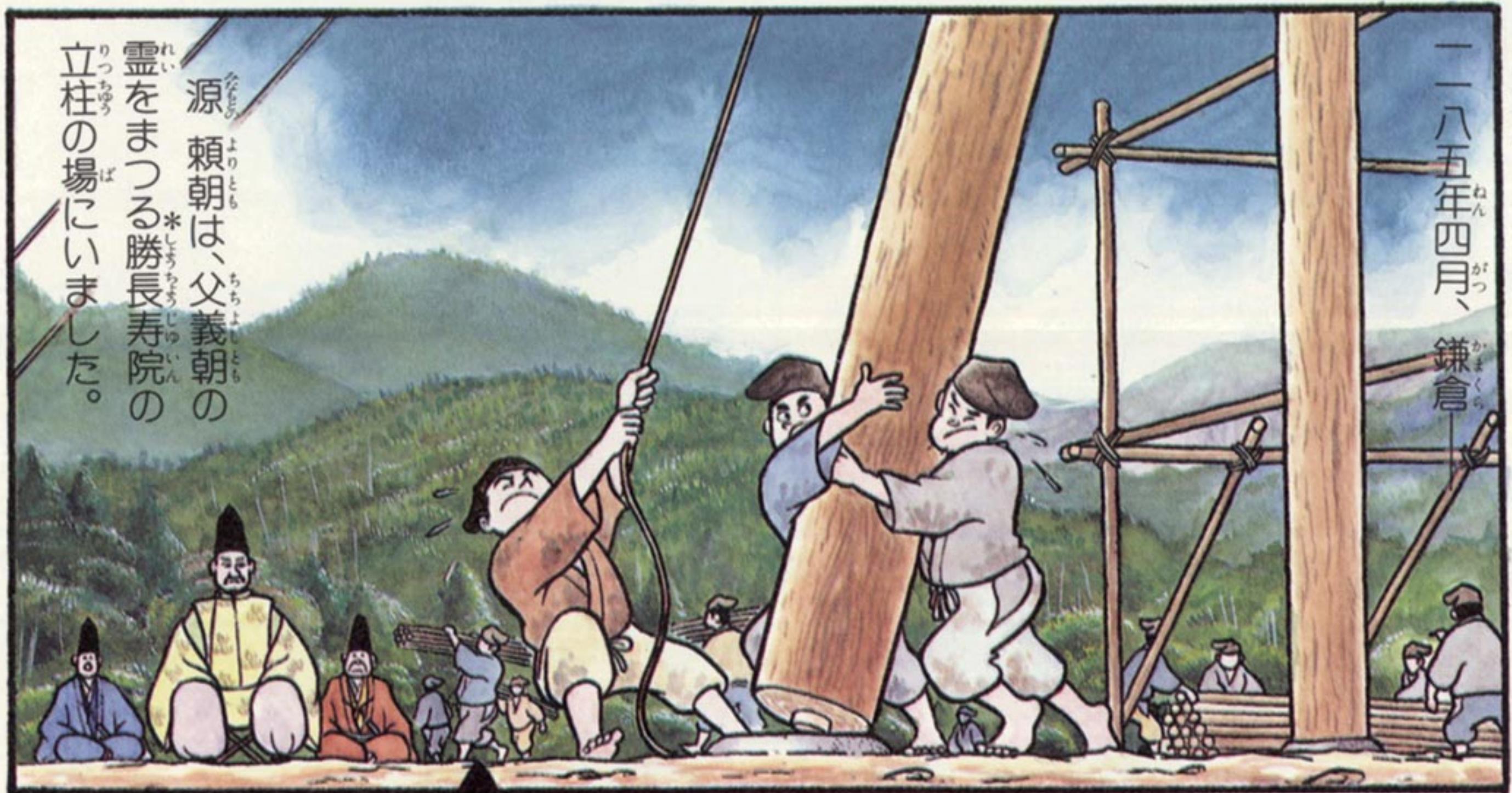
(一一三三ー一二八一年)

日蓮

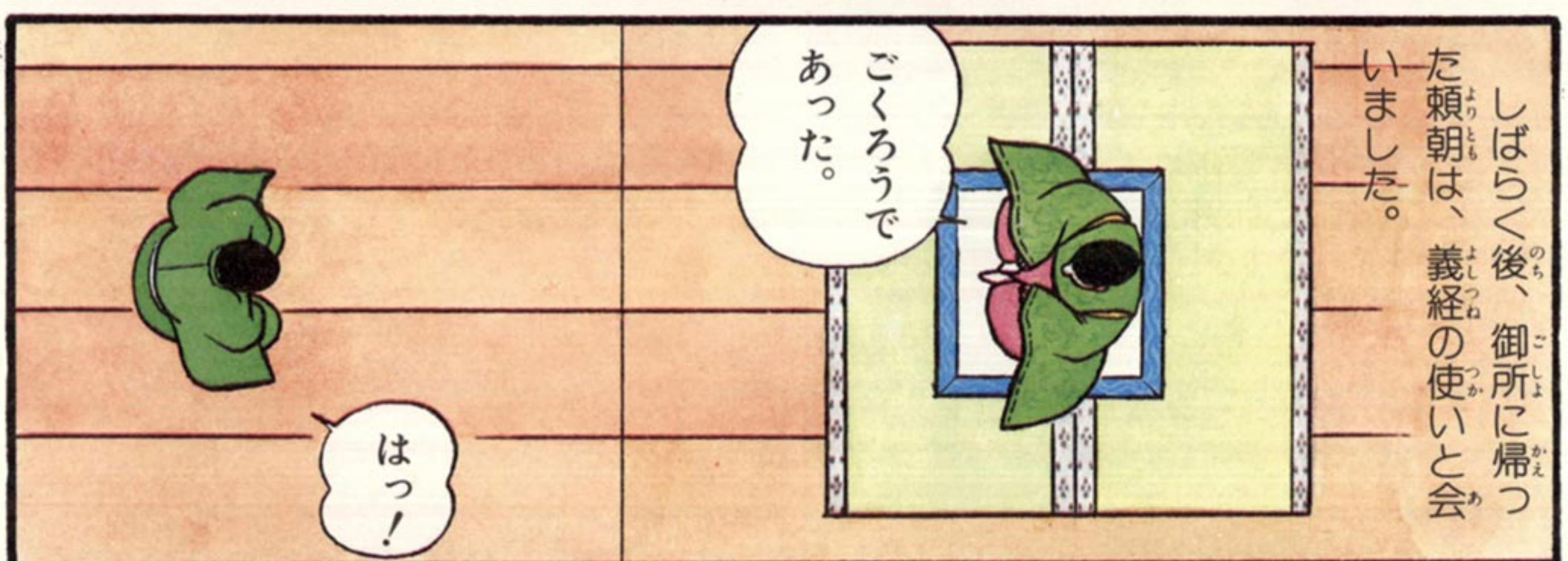
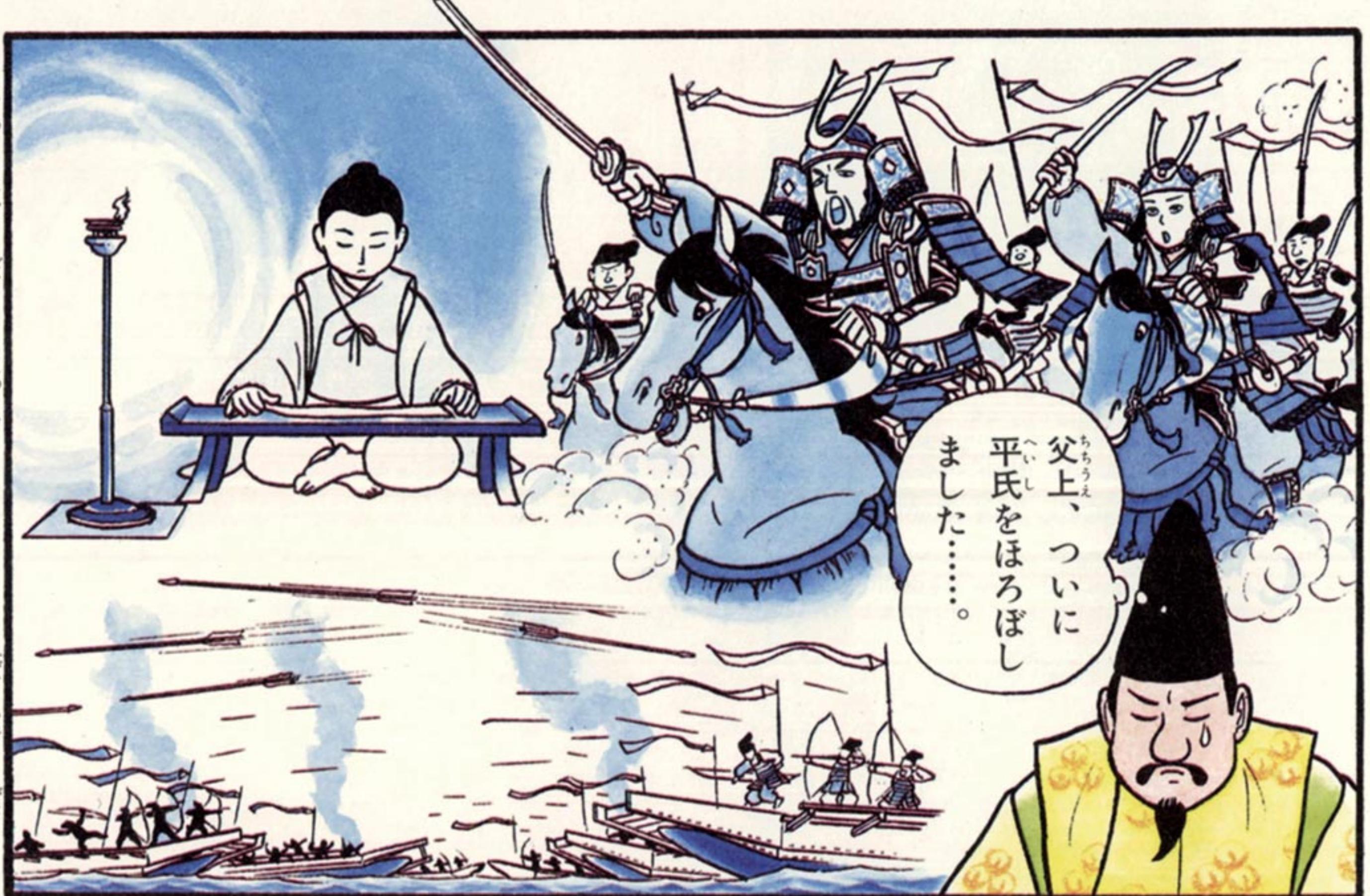
小学館 eBooks

だい しょう  
**第一章**

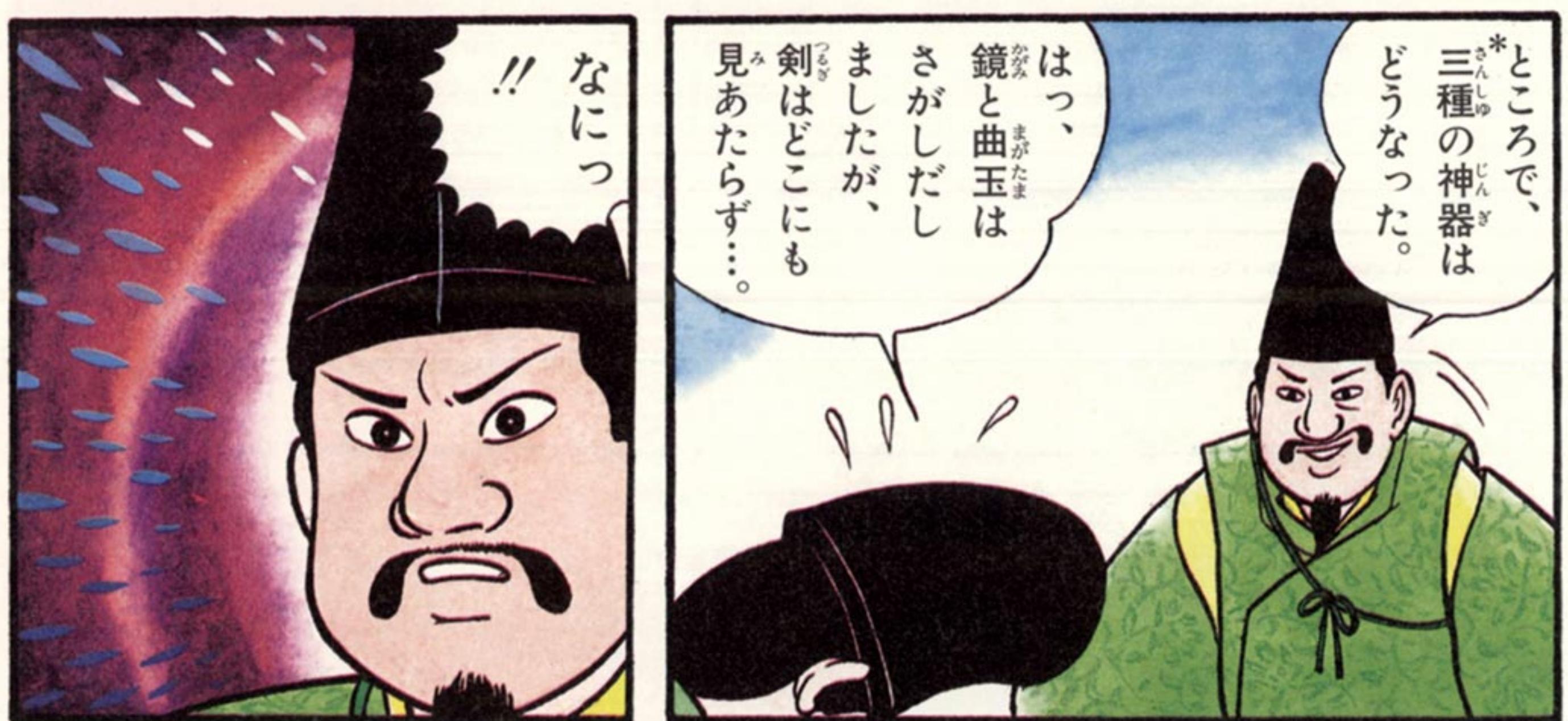
ぶ け せい けん  
**はじめての武家政権**  
かまくらじだいぜんき  
—鎌倉時代前期—

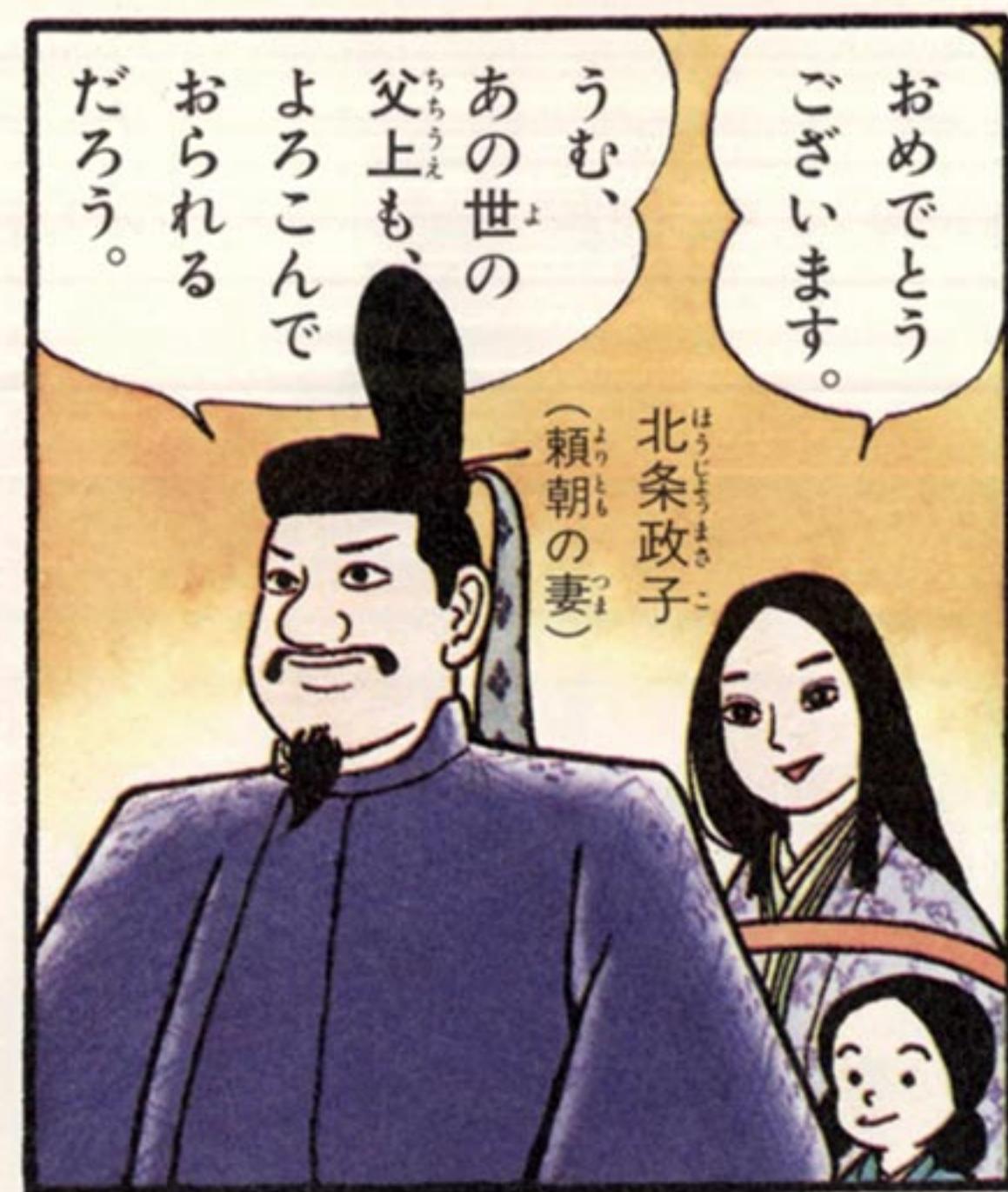
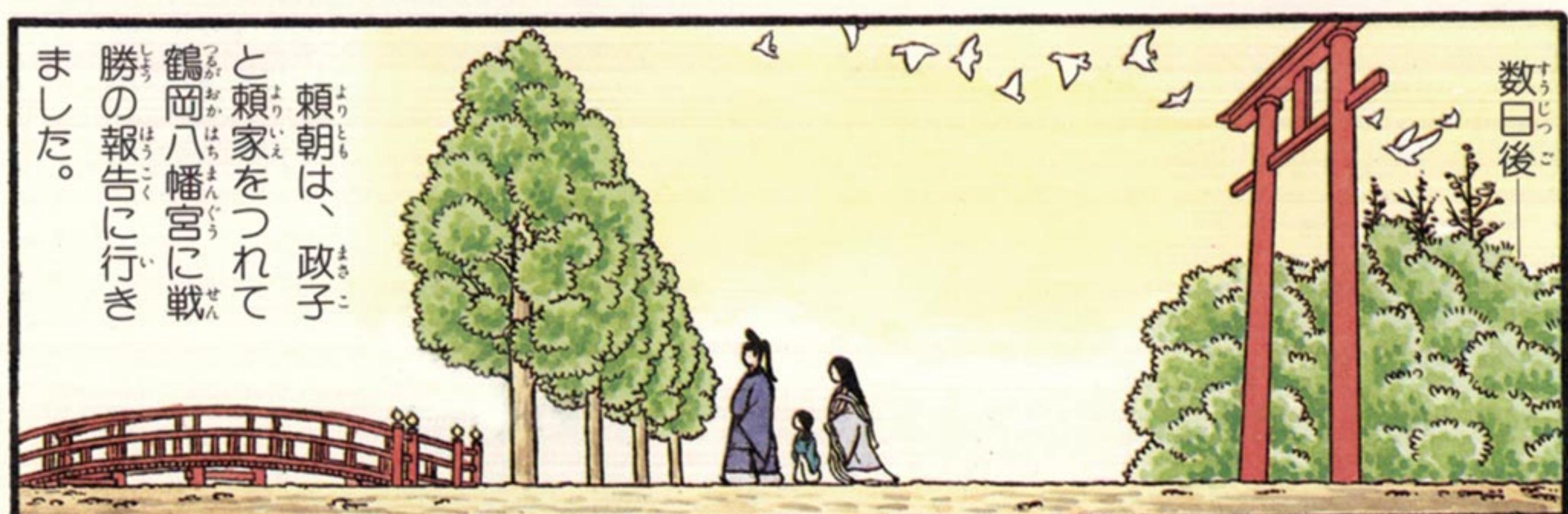
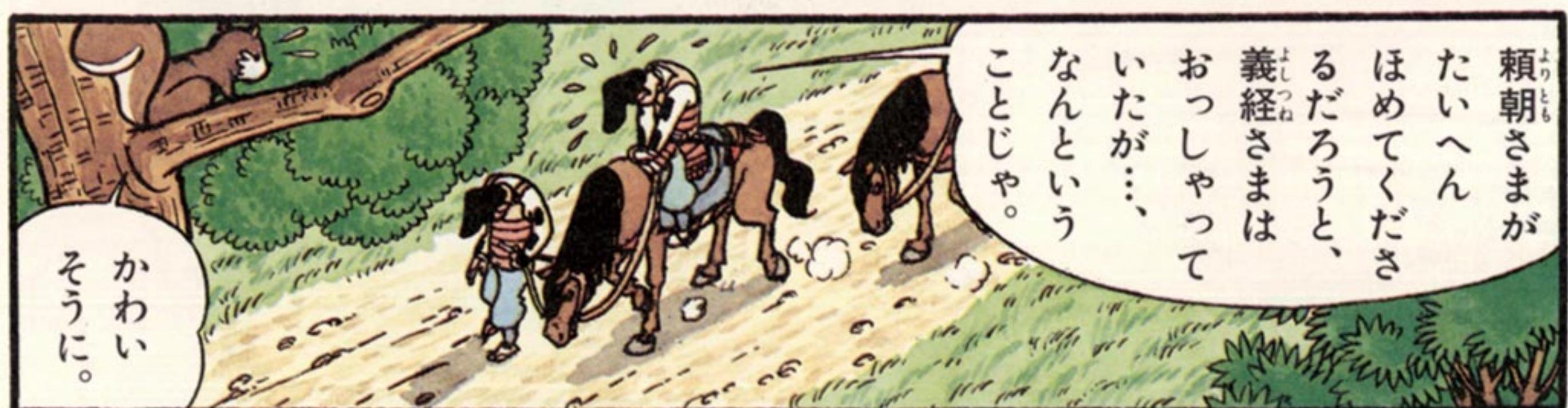


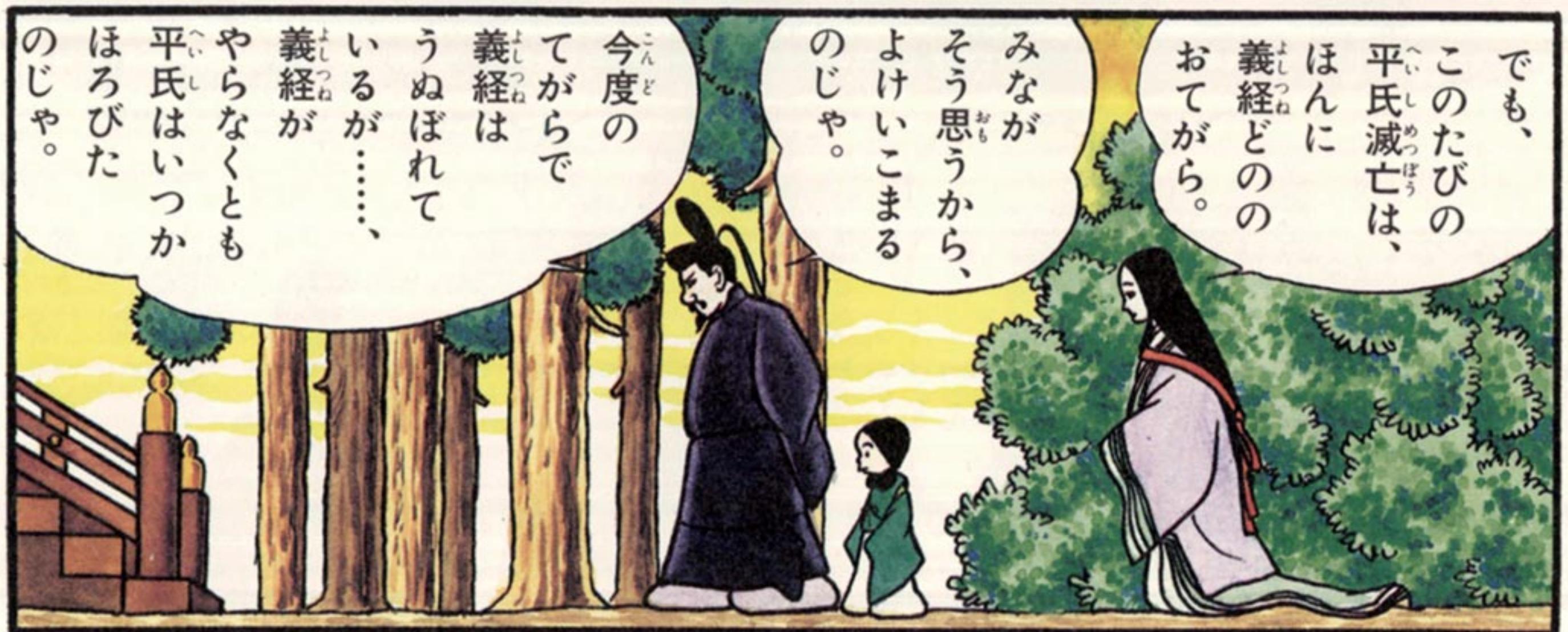
\*三種の神器：代だい天皇家につたえられた鏡、剣、曲玉の三つの宝。

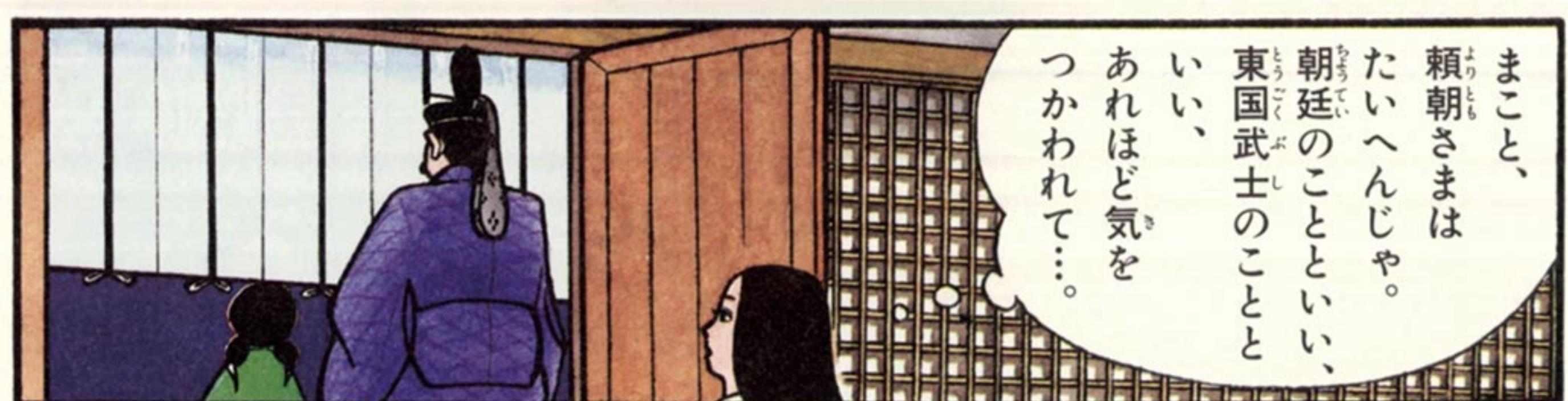


しばらく後、御所に帰つ  
た頼朝は、義経の使いと会  
いました。

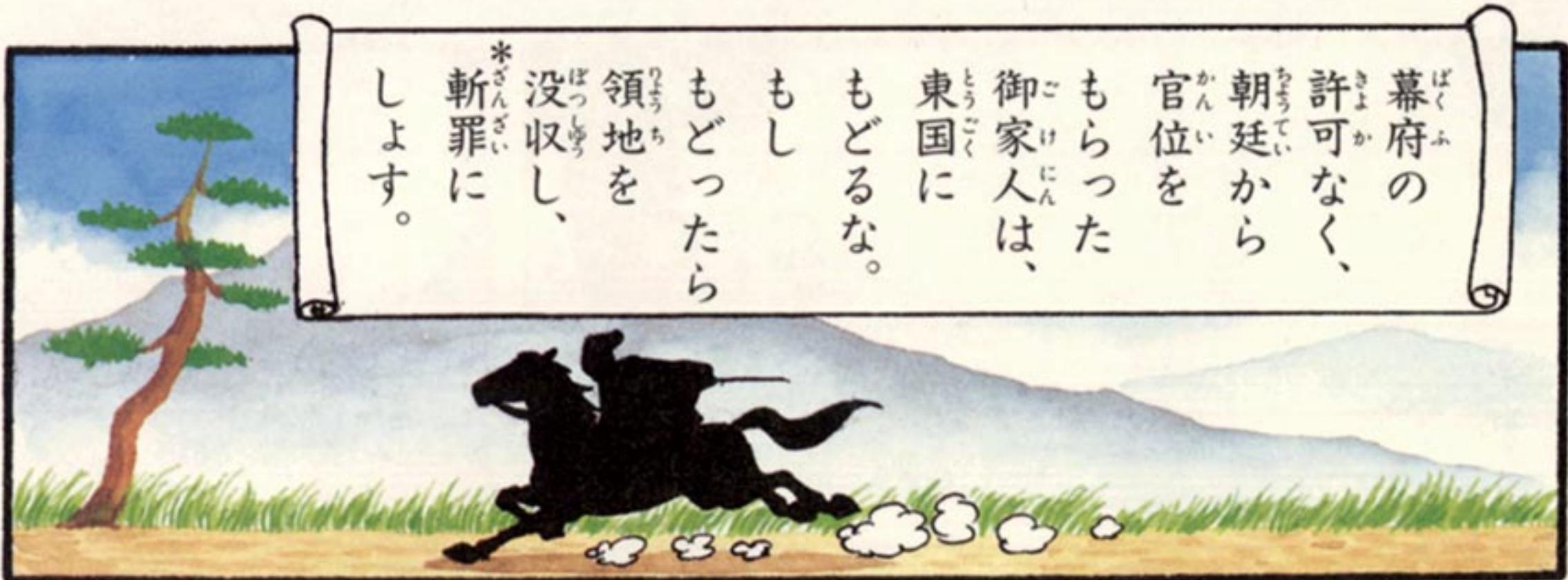








その直後、頼朝は京に命令を出しました。

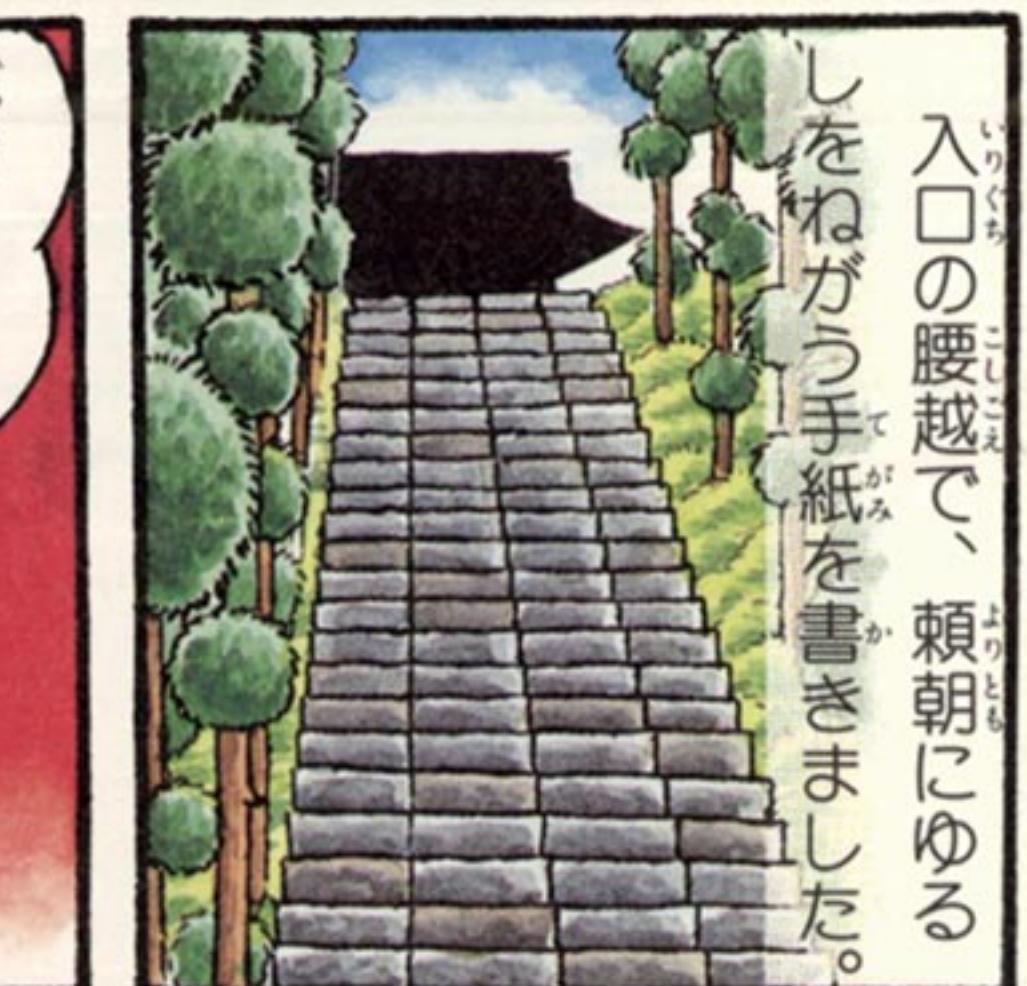


\*御家人：将軍の家来。この場合は頼朝の家臣。

\*斬罪：首を切る刑罰。

\*政所別当：政所

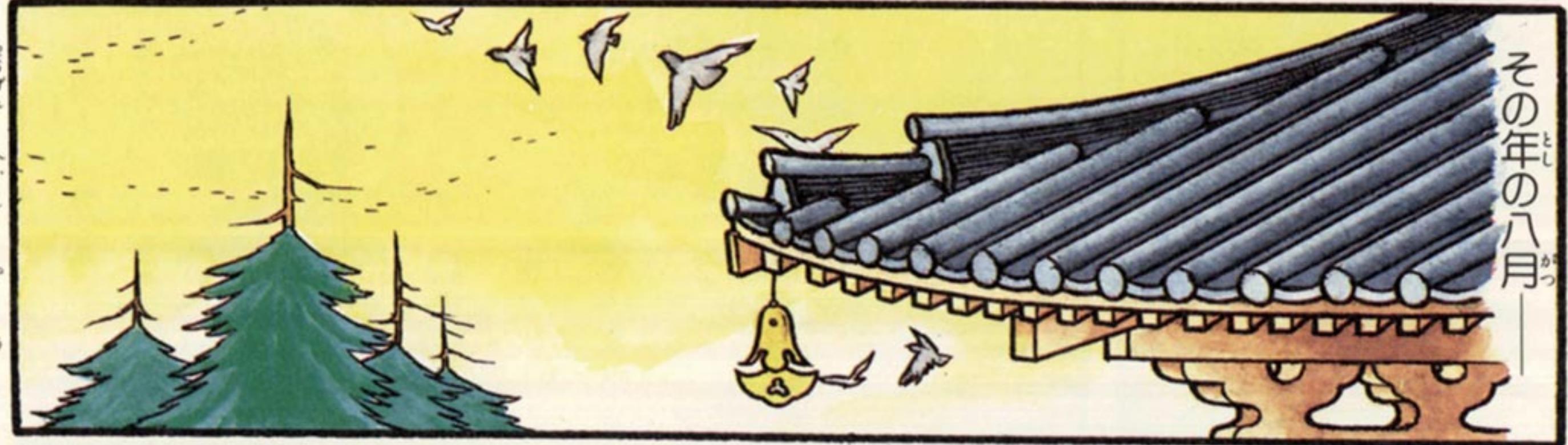
（幕府の政治を行なう役所）の長官。





\*重源：平氏に焼き打ちされた東大寺の再興につくした僧。

\*上人：徳の高い僧をうやまつてよぶときのことば。



\*奈良の東大寺では、  
重源らによつて再建された大仏の開眼供養が  
行われていました。

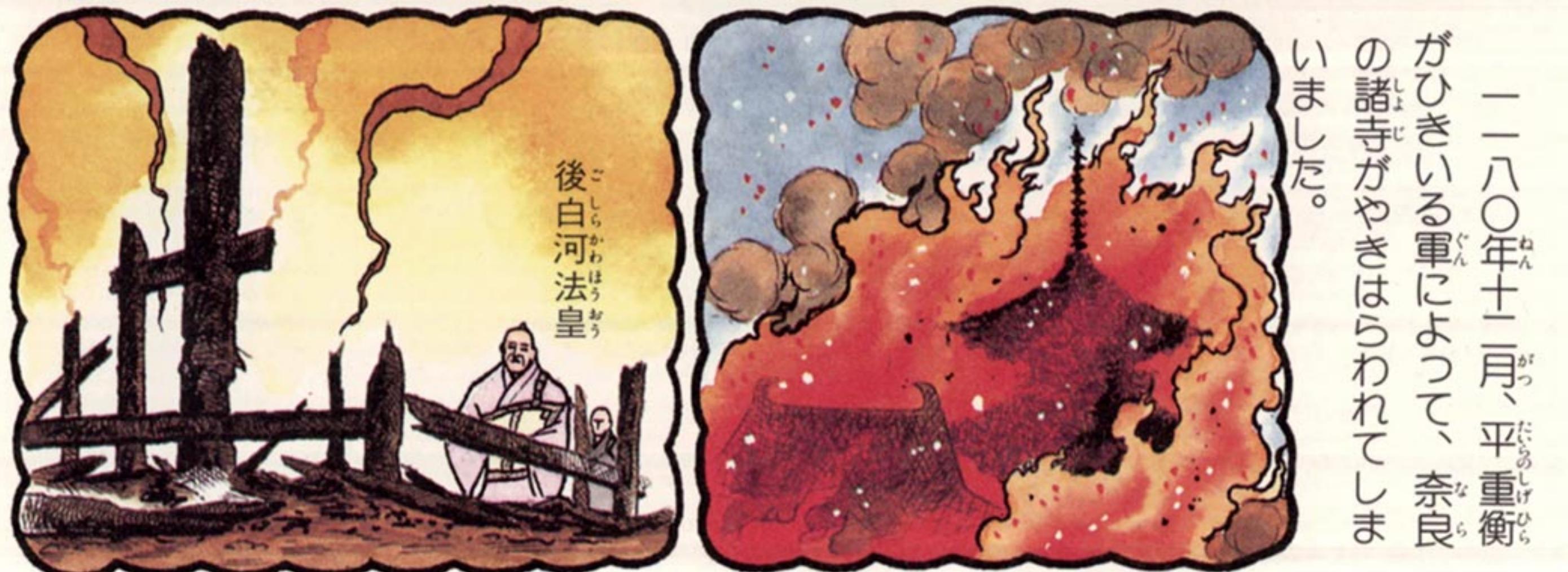
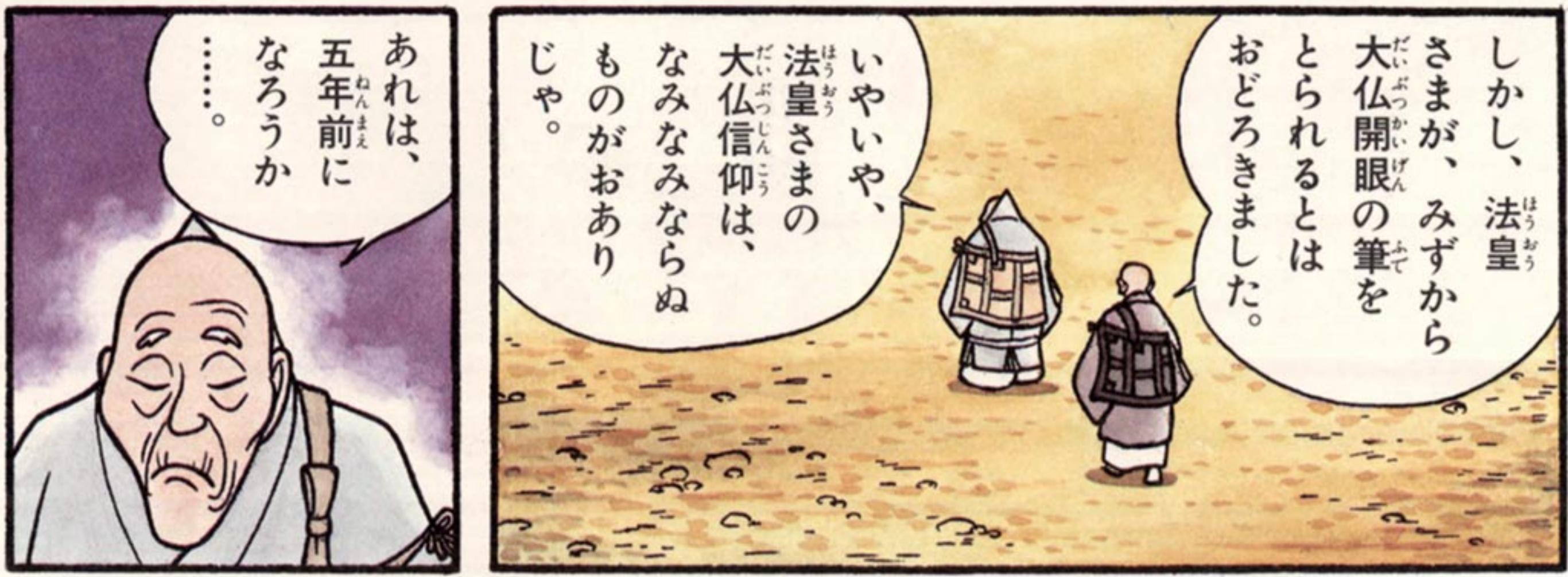
後白河法皇

いやいや、  
これからじや。  
まだ大仏殿を  
つくつたり  
しなければ…。

\*上人さま、  
おめでとう  
ございます。

重源



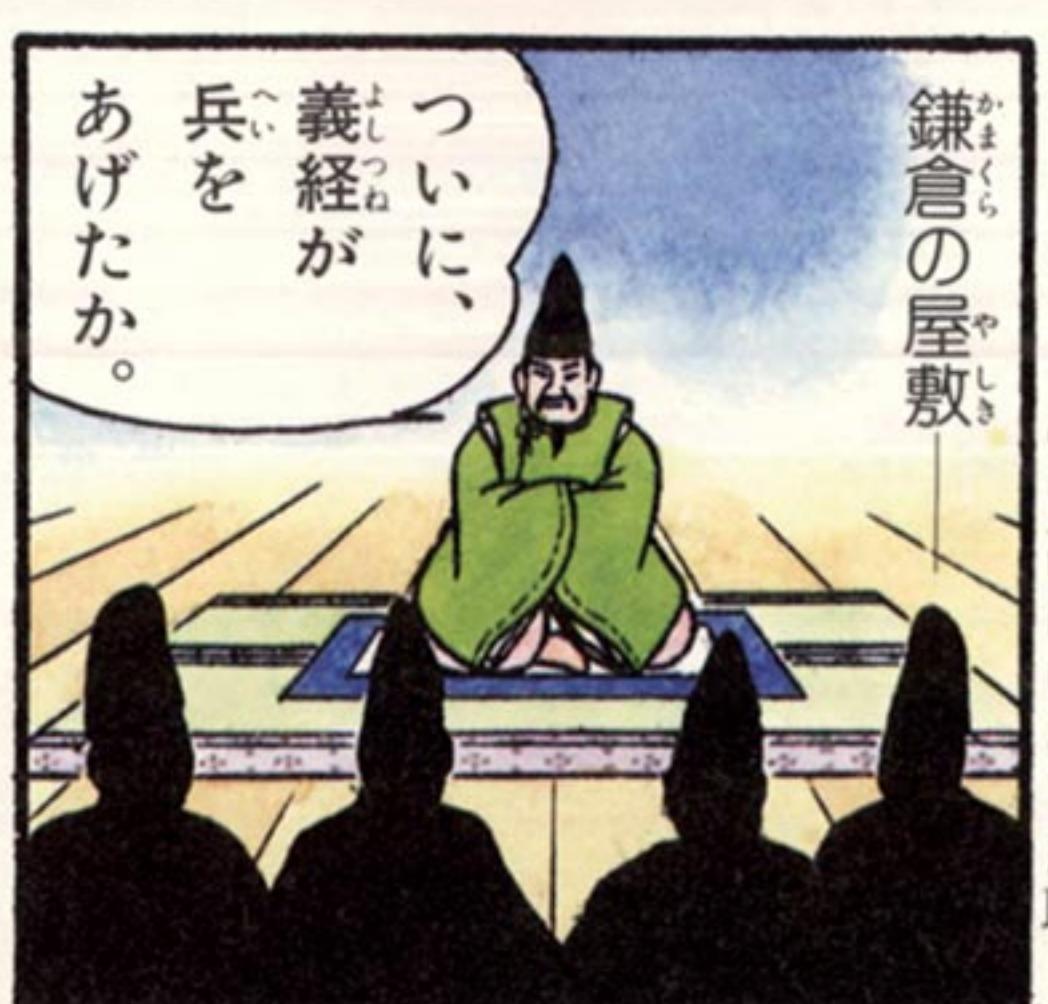
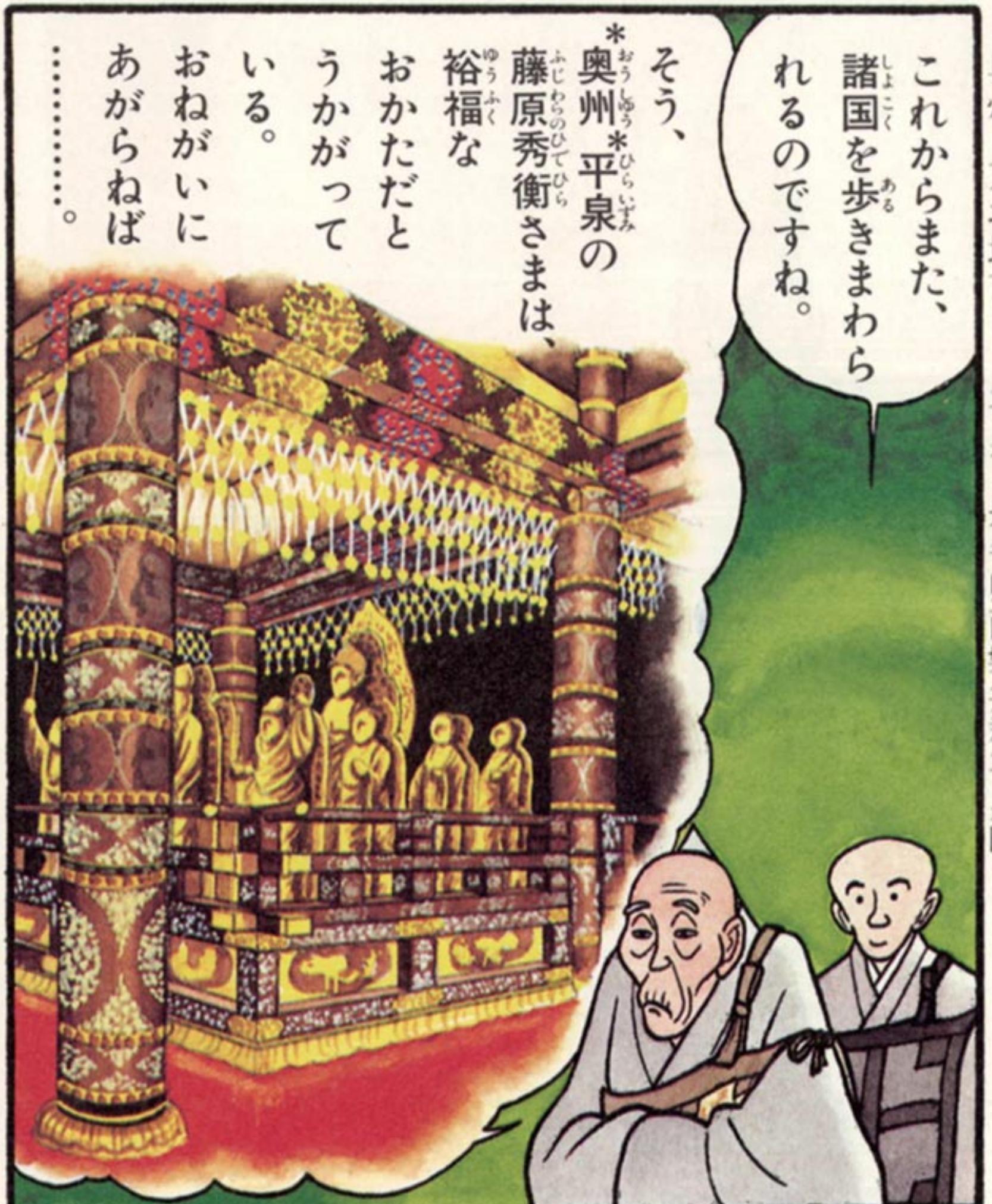
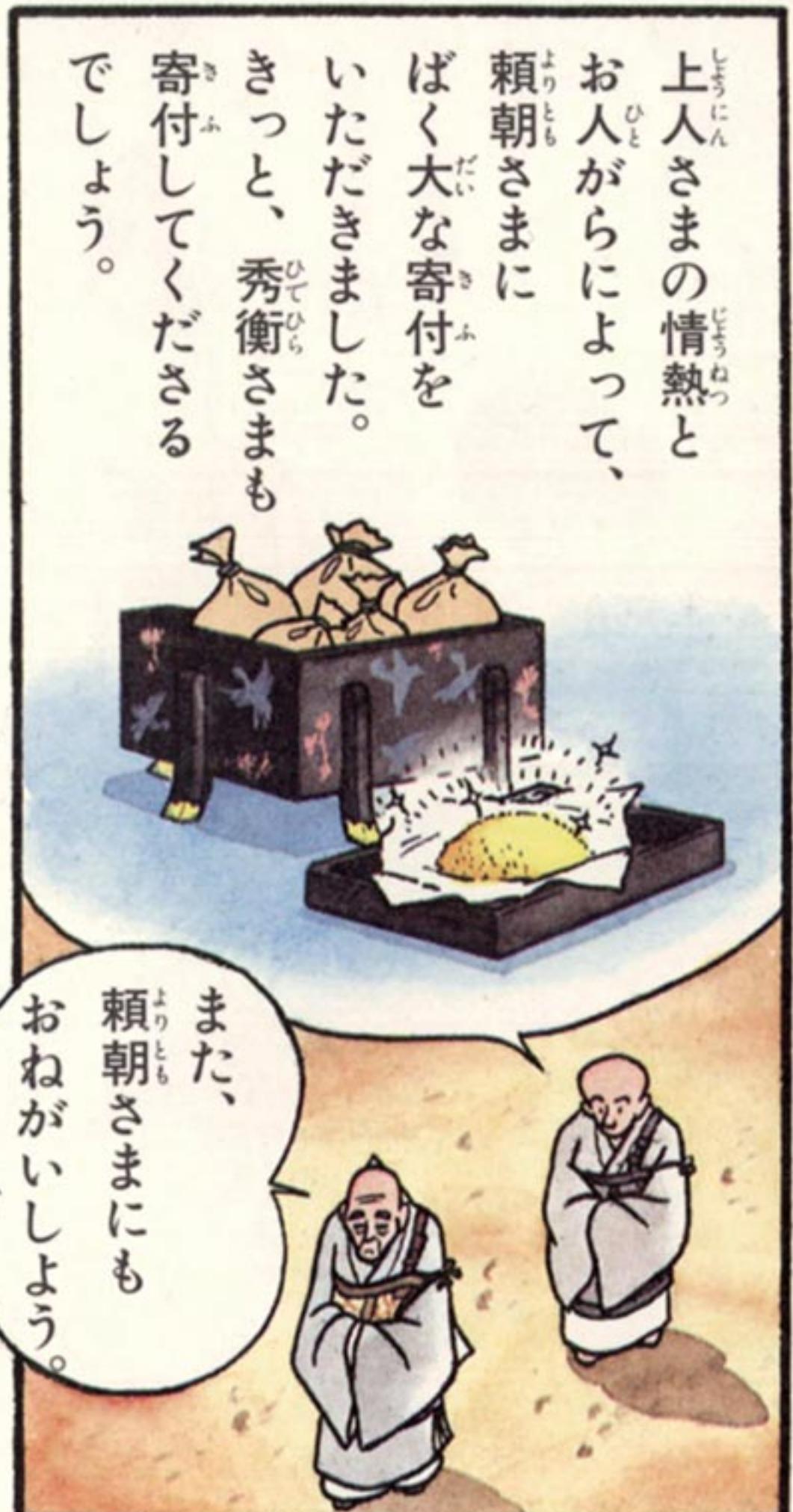


\* 奥州・東北地方

\* 平泉町

\*  
守護ご  
： よりとも  
賴朝が、  
治安をたもち、  
武士をとりしまるた

### ために諸国において職業



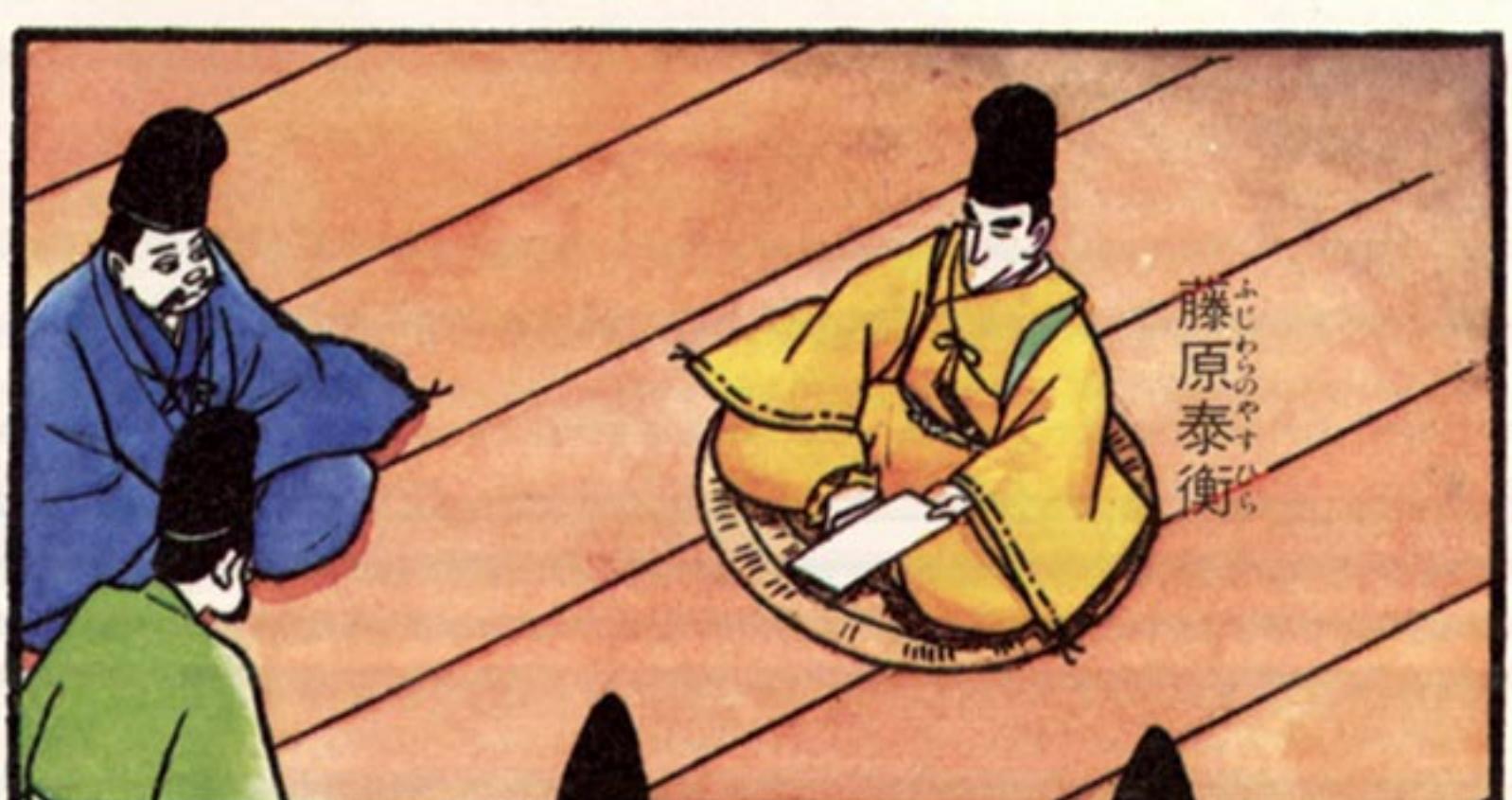


こうして、御家人の中からえらばれた  
守護、地頭が全國にあがれ、幕府のしく  
みはととのいました。



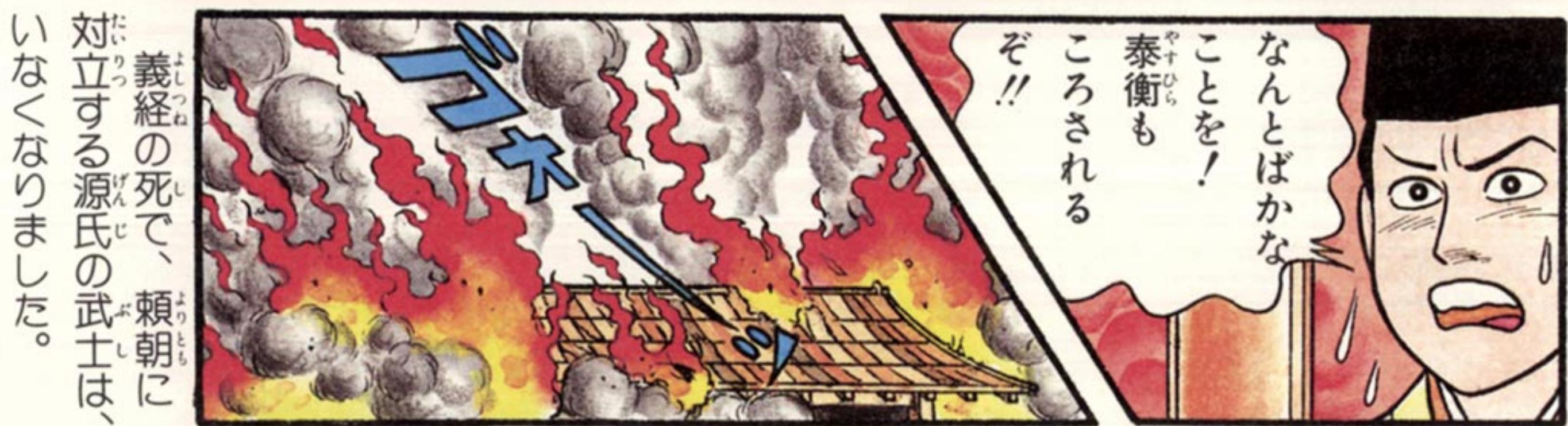


奥州  
平泉

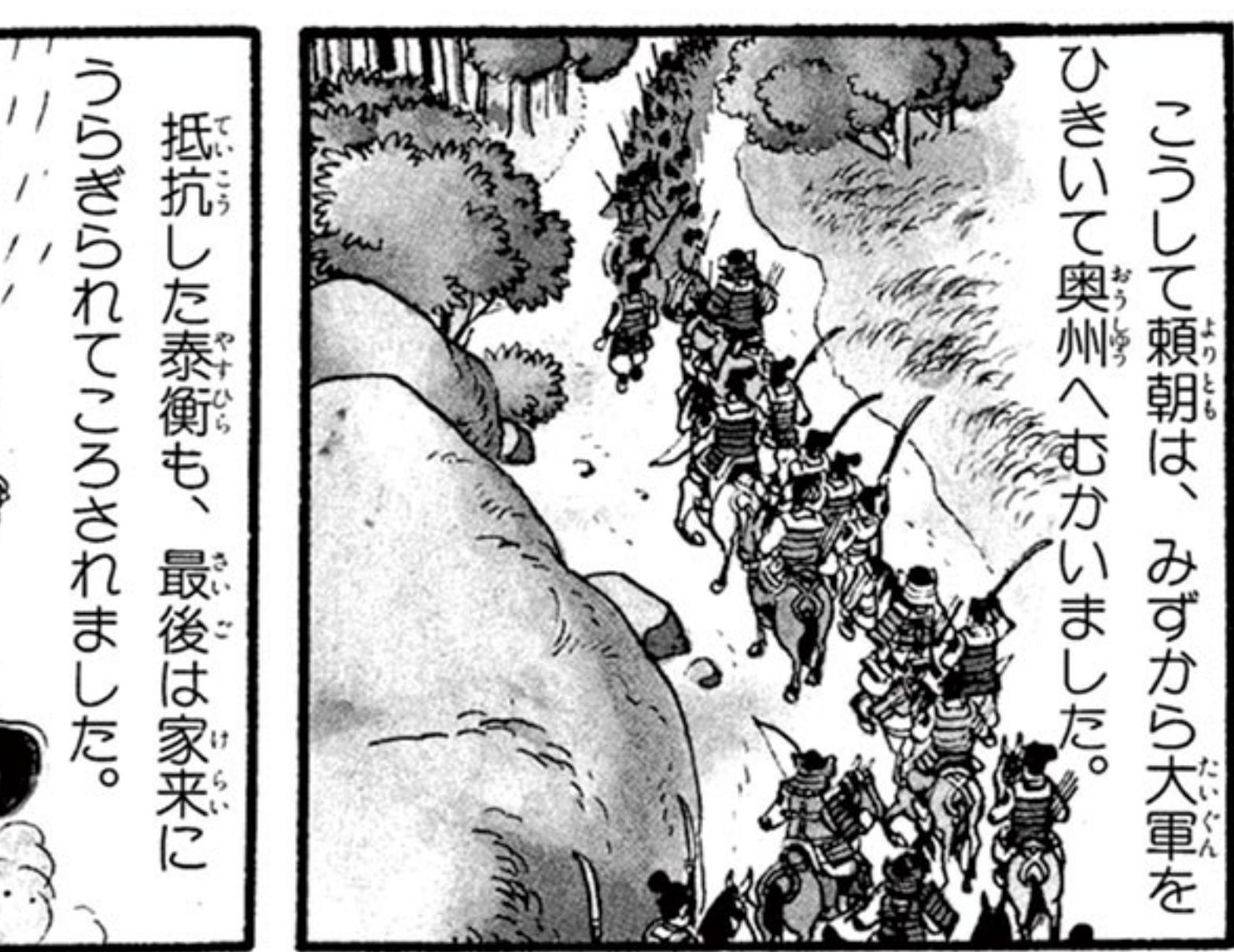
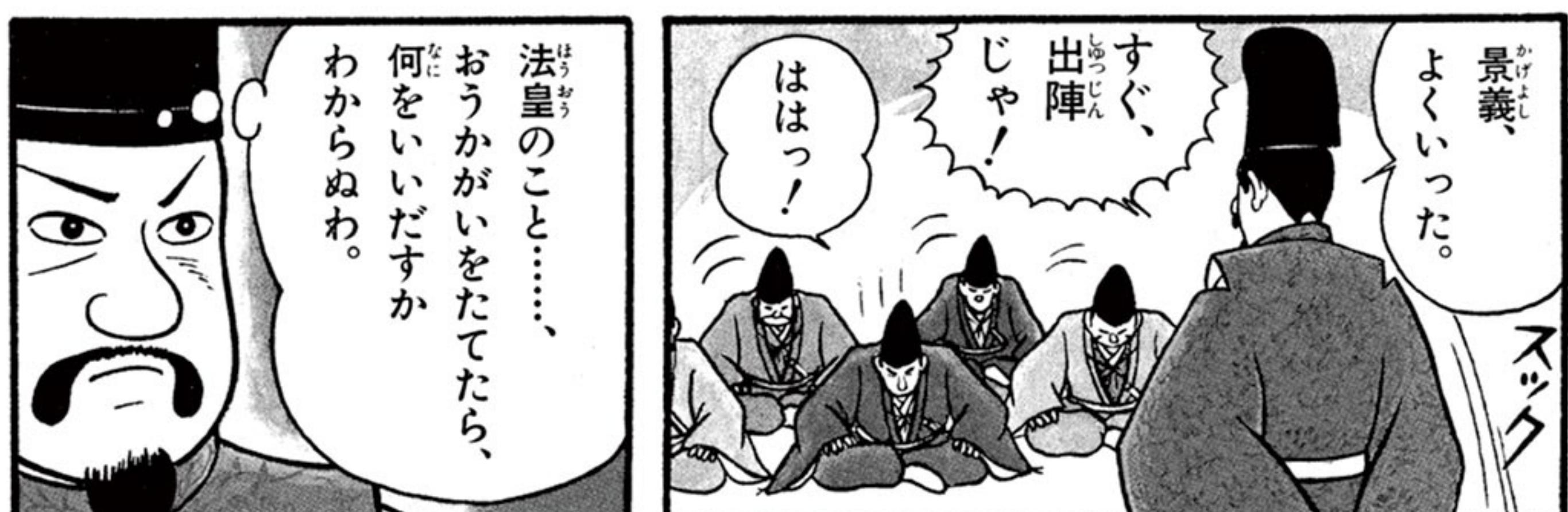
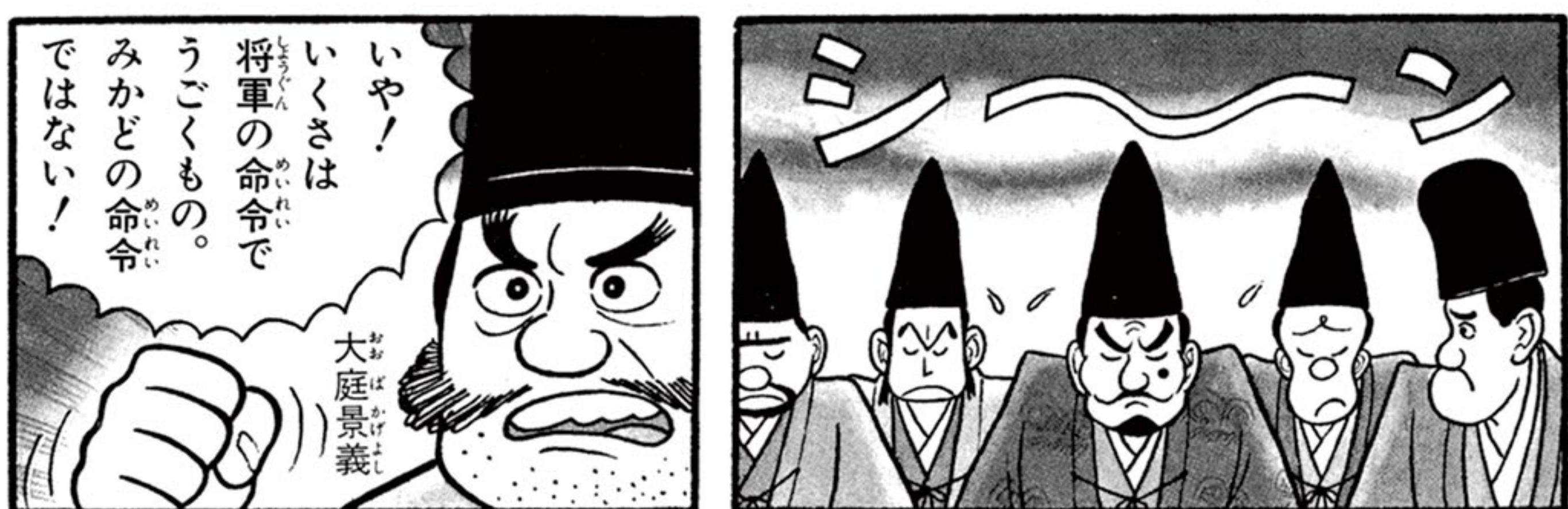


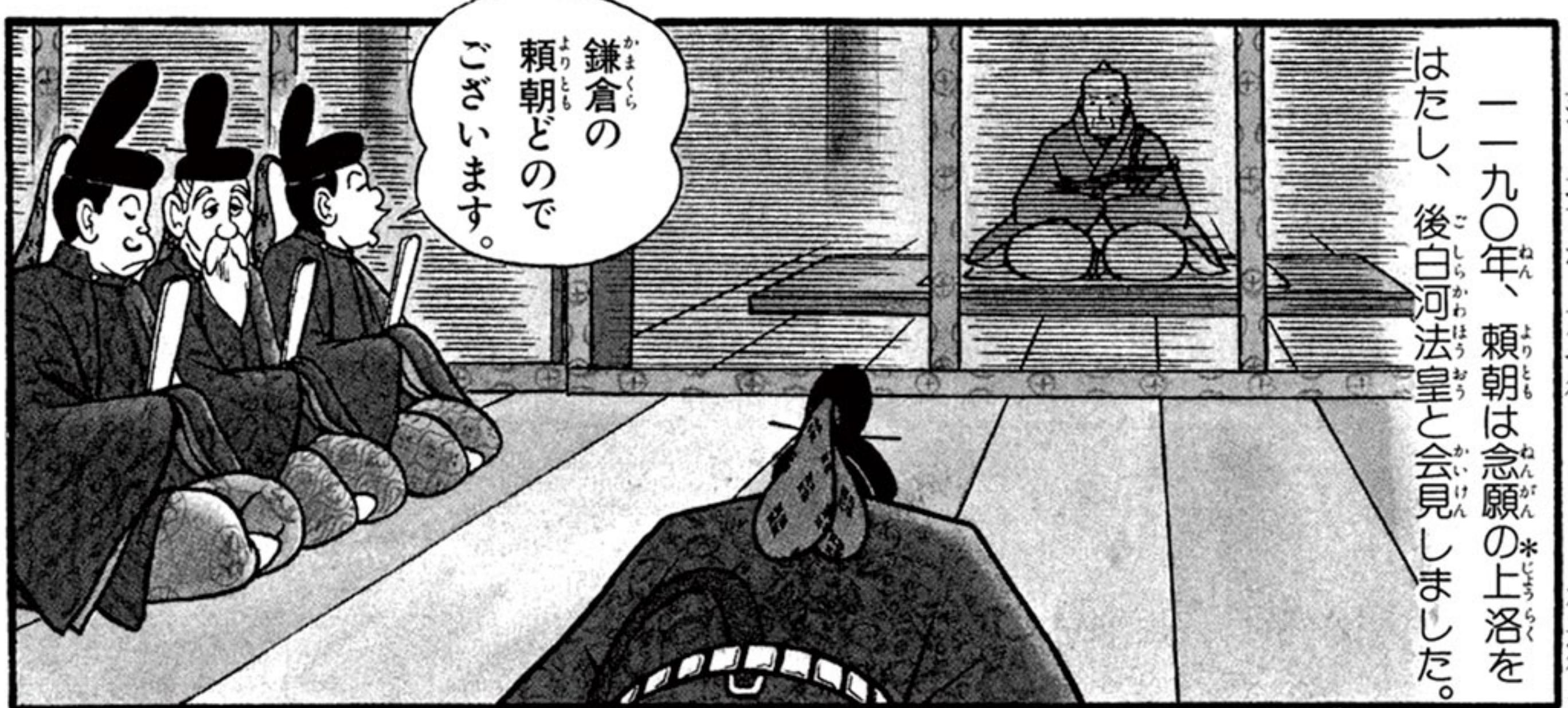
\*みちのく：東北地方

\*衣川：岩手県西磐井郡平泉町



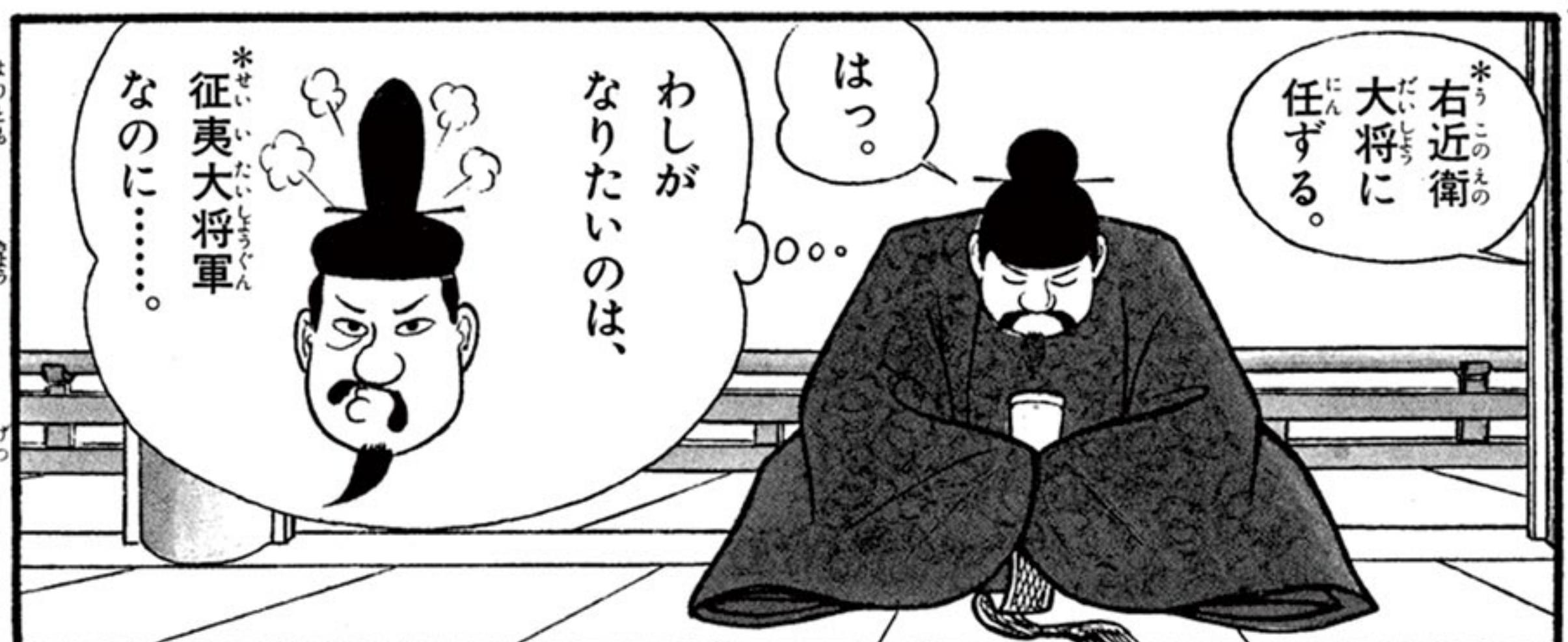
対立する源氏の武士は、義経の死で、頼朝にいなくなりました。





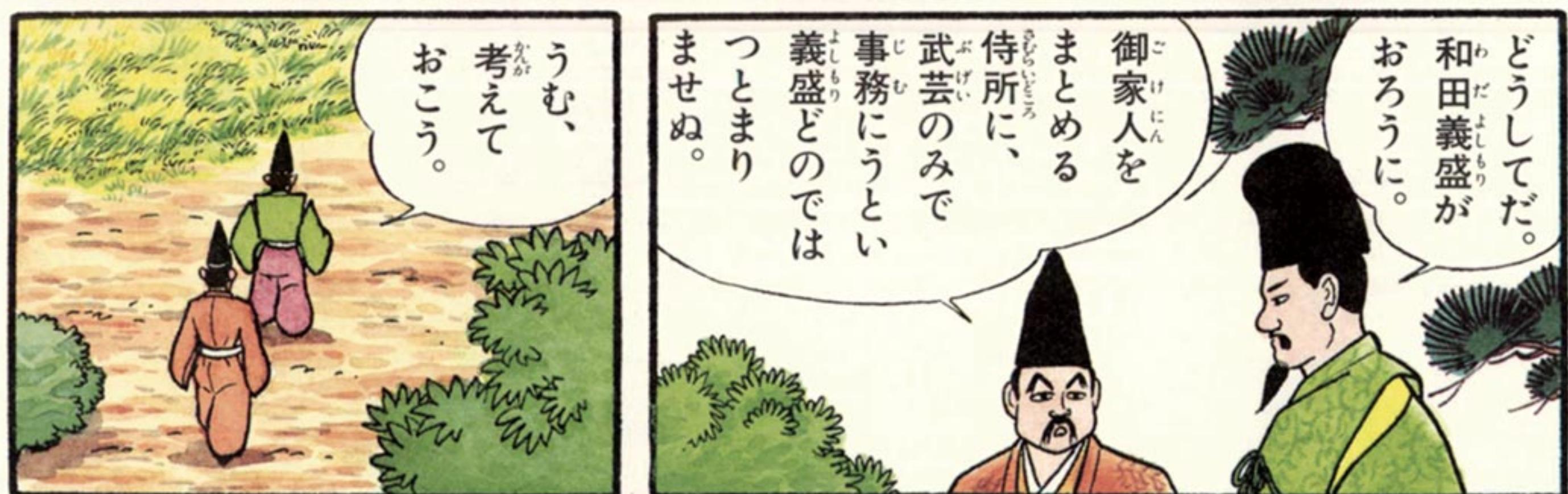
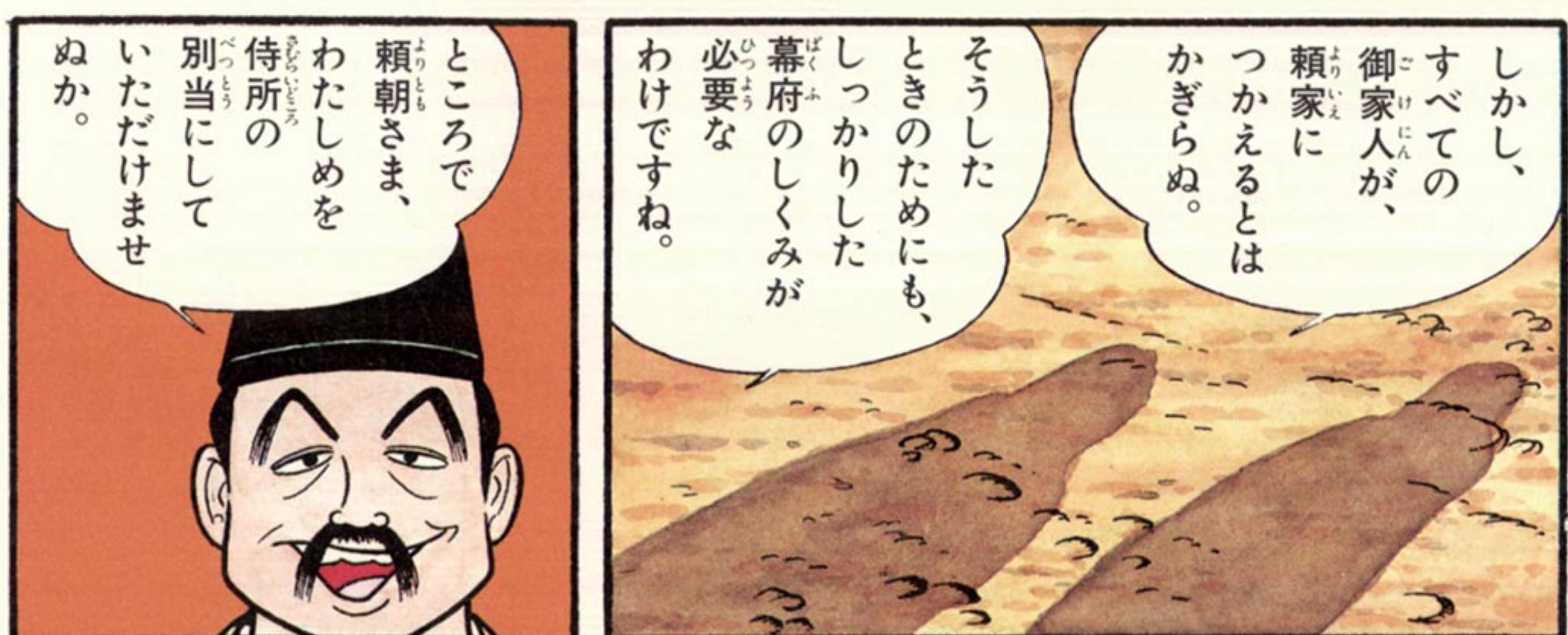
頼朝は、京に一ヶ月いました  
が、右近衛大将の官職をやめて  
鎌倉にもどりました。

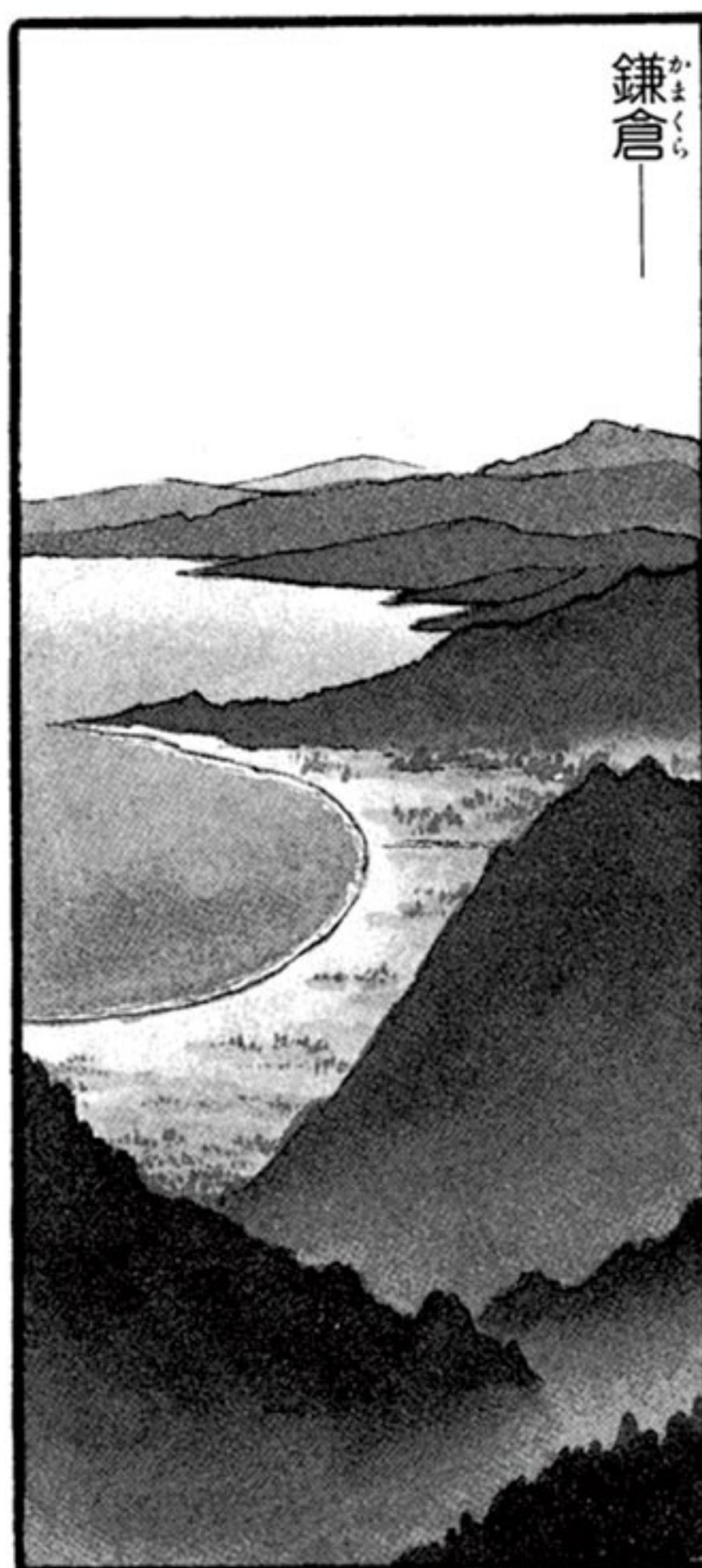
書く署名。サイン。



\*家令…事務をとる職。

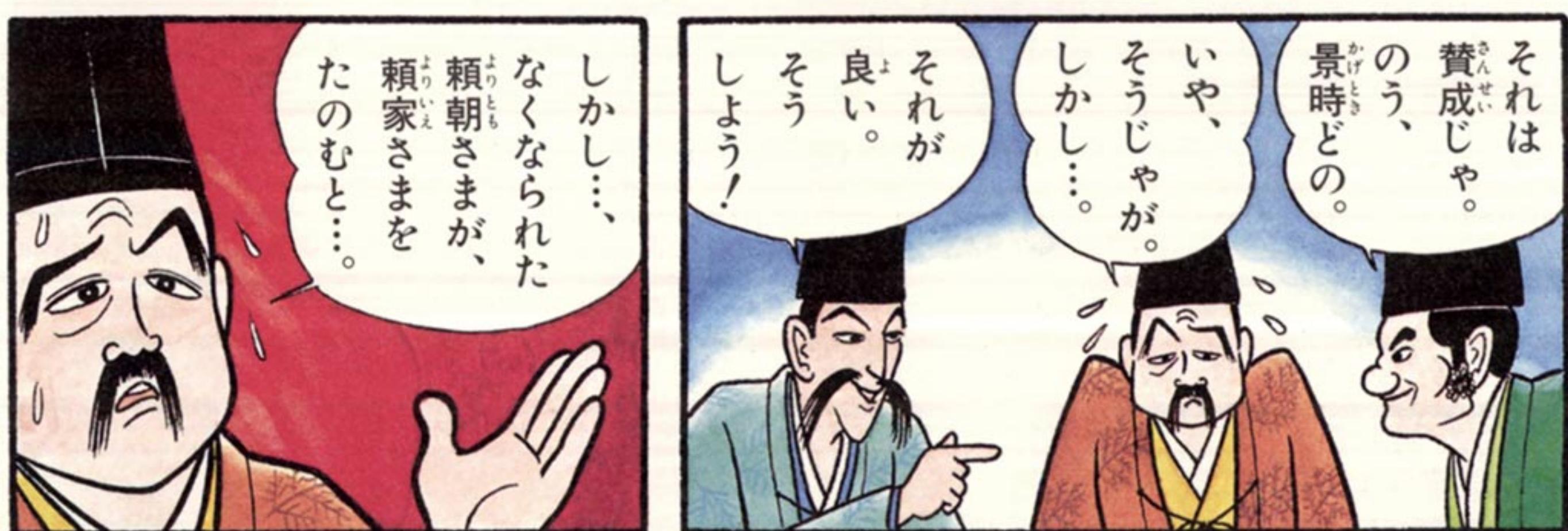






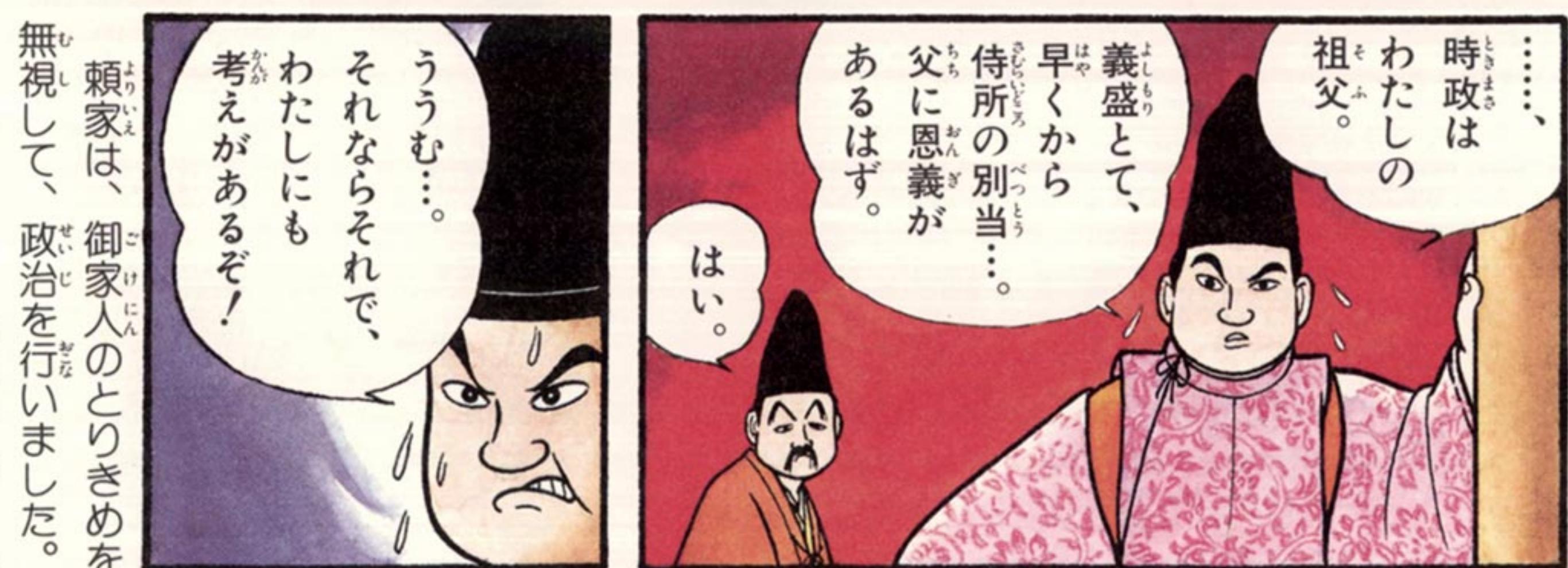
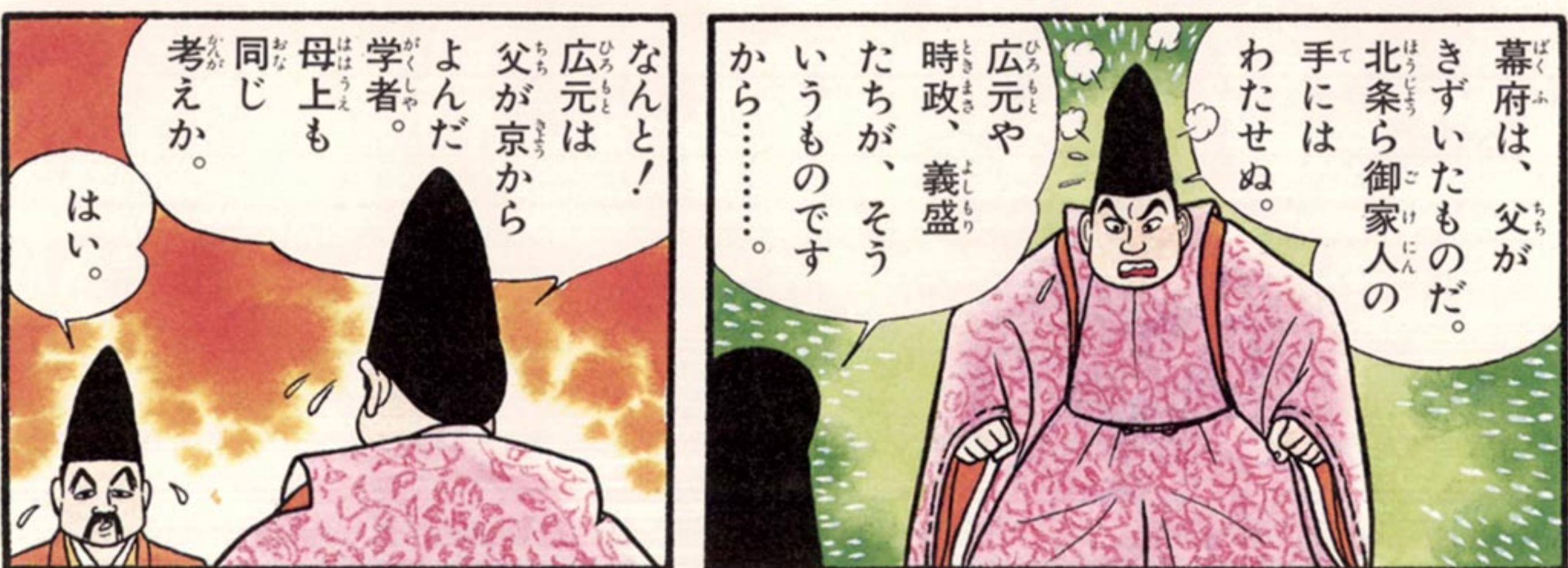


その年の四月





源 賴家  
みなもとのよりいえ



\*連判状：多くの人が名前を書き、花押をくわえた文書。



この年の十月  
かづ





東大寺南大門には、<sup>\*</sup>一王像は、約七十日ほどでつくれたといわれています。

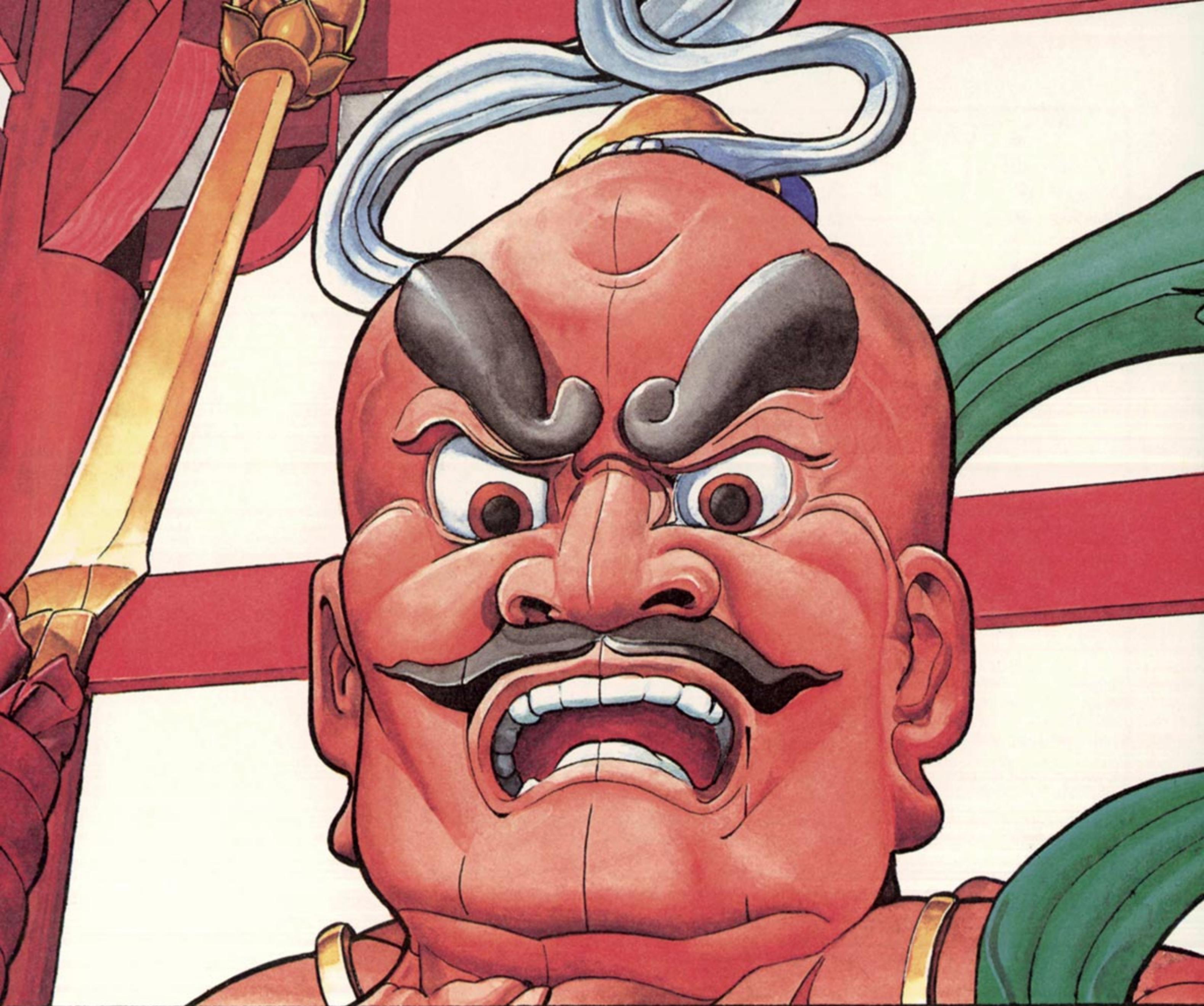
と呼ばれる二つの金剛力士像があります。

顔は  
もつと  
左だ。

模型を  
組み立てて  
いるみたい。

このように、  
たくさん  
の木を組み合  
せてつくつて  
あるんじや。

この部分は、  
この木で  
よかつた  
はずだが…。

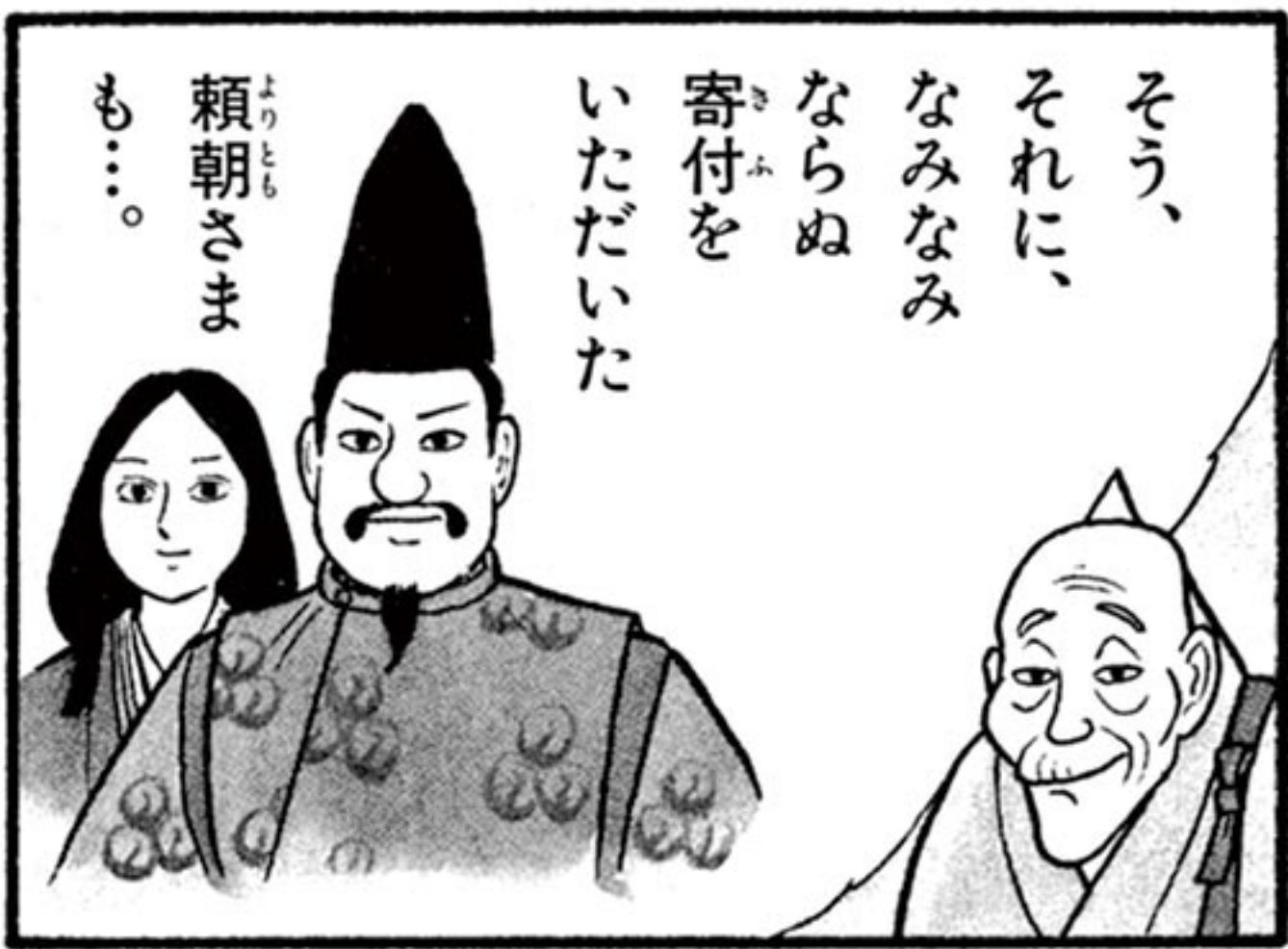


\*二王：仁王とも書く。

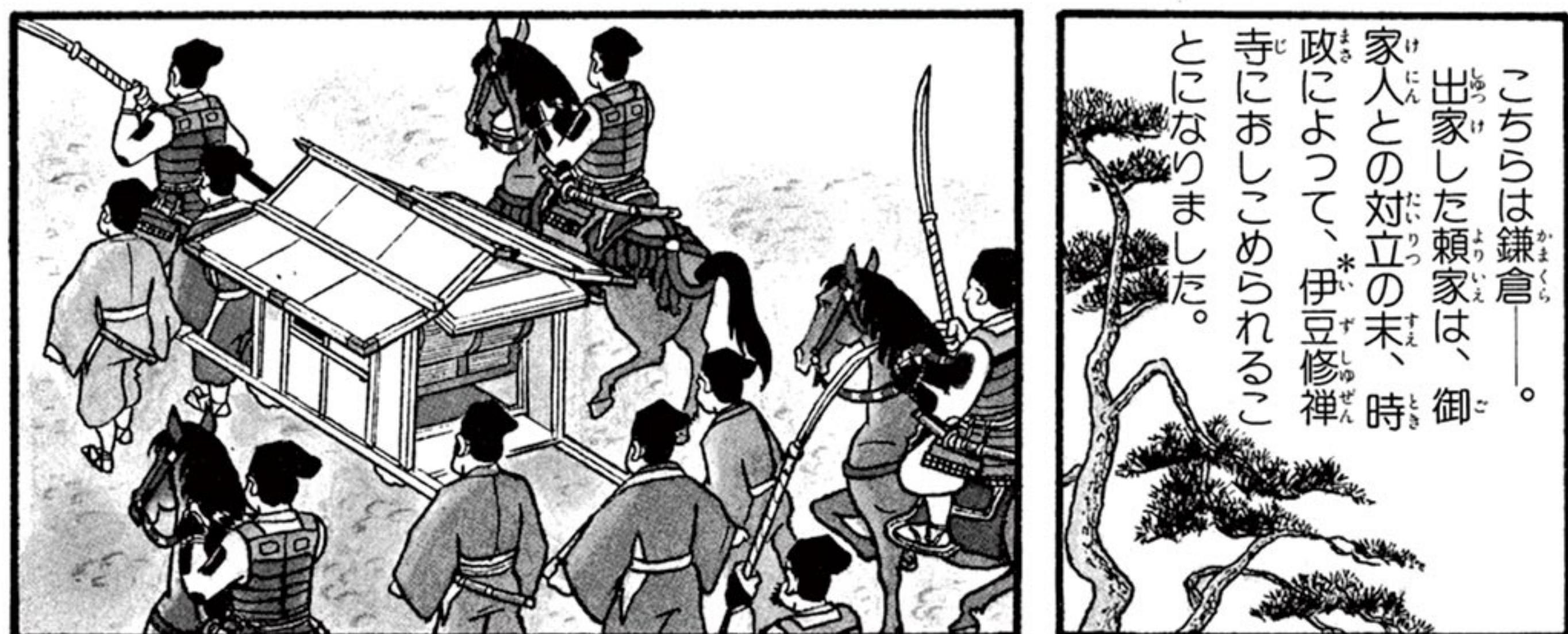
\*南都：奈良。



\* 上皇……ここでは後鳥羽上皇のこと。

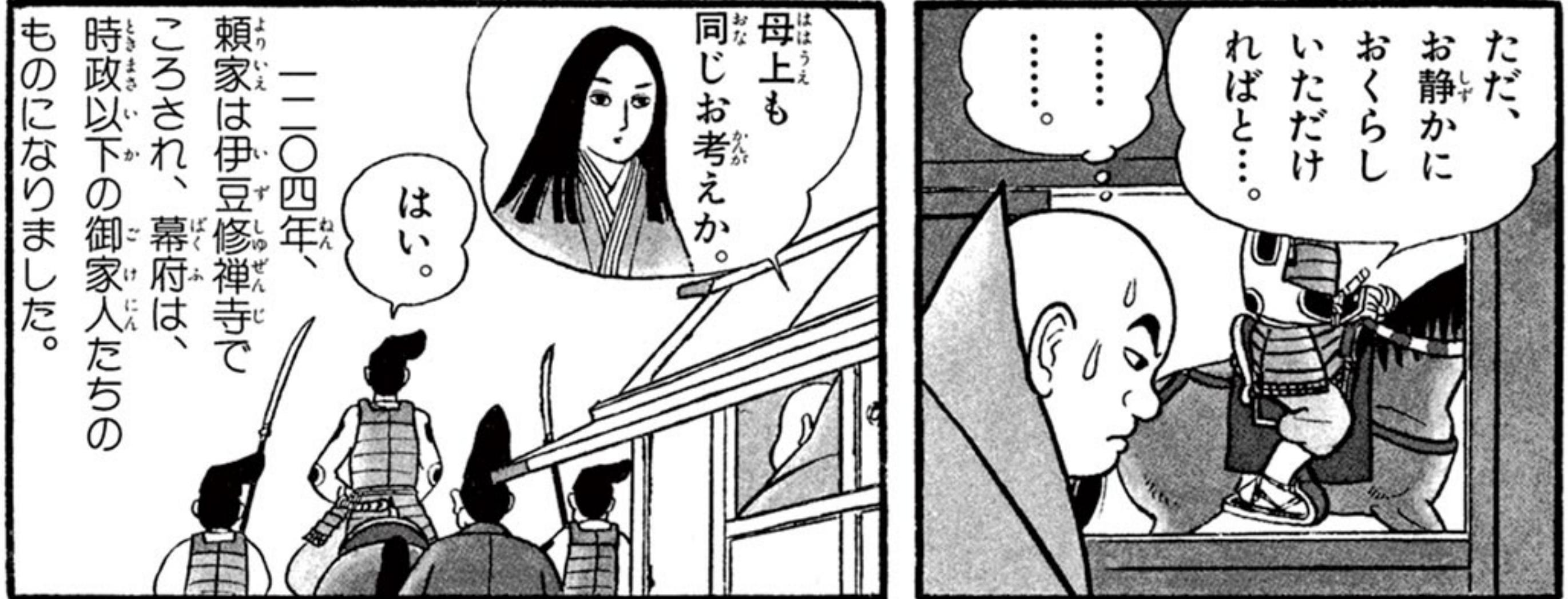


\* 後白河法皇の孫で、高倉天皇の子。

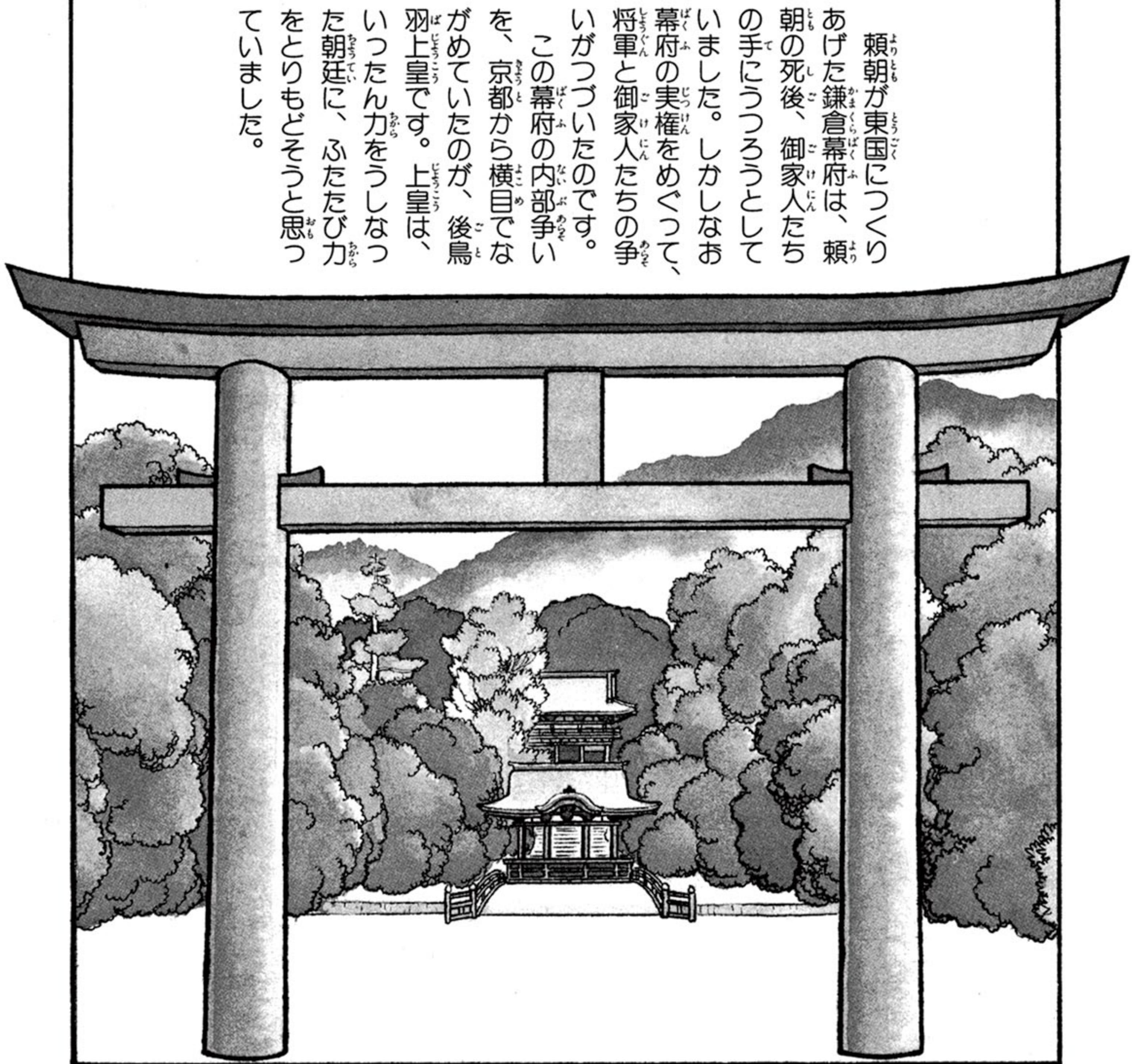


\* 伊豆修善寺：静岡県伊豆市修善寺にある寺。





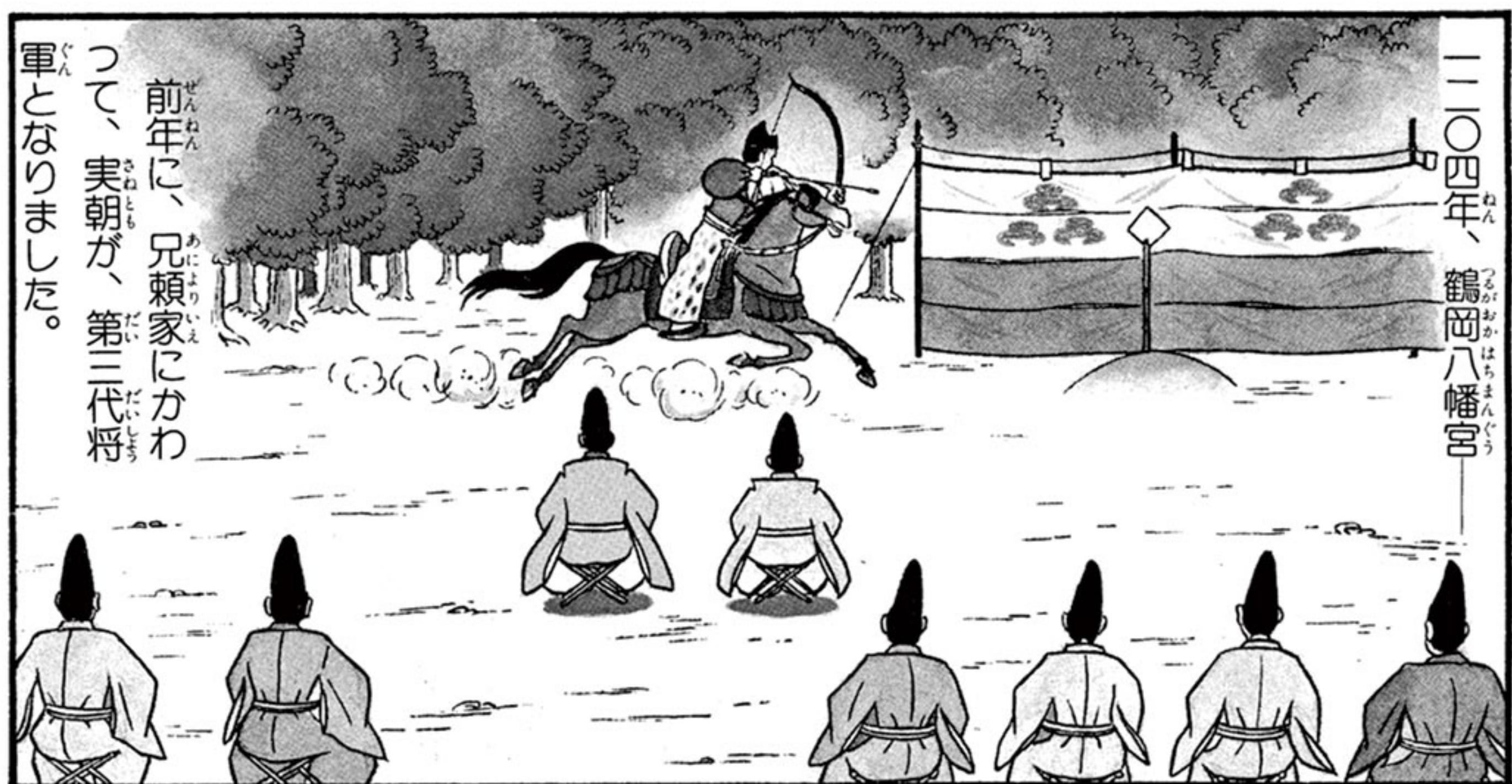
頼朝が東国につくり  
あげた鎌倉幕府は、頼  
朝の死後、御家人たち  
の手にうつろうとして  
いました。しかしながら  
幕府の実権をめぐつて、  
将軍と御家人たちの争  
いがつづいたのです。  
この幕府の内部争い  
を、京都から横目でな  
がめていたのが、後鳥  
羽上皇です。上皇は、  
いつたん力をうしなつ  
た朝廷に、ふたたび力  
をとりもどそうと思つ  
ていました。



小学館 eBooks

だい しょう  
**第二章**

じよう きゆう らん  
**承久の乱**  
かまくらじだいぜんき  
—鎌倉時代前期—

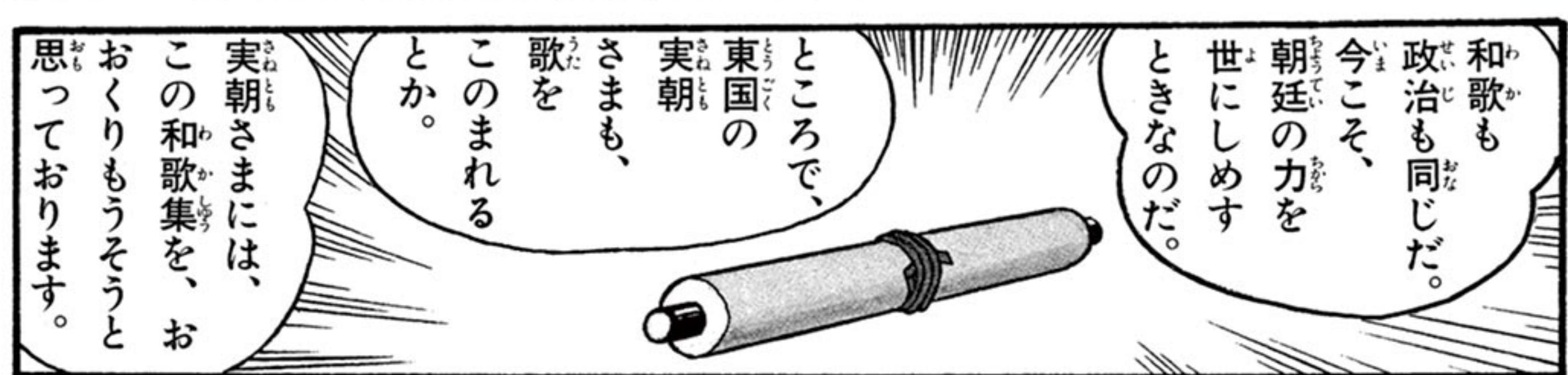
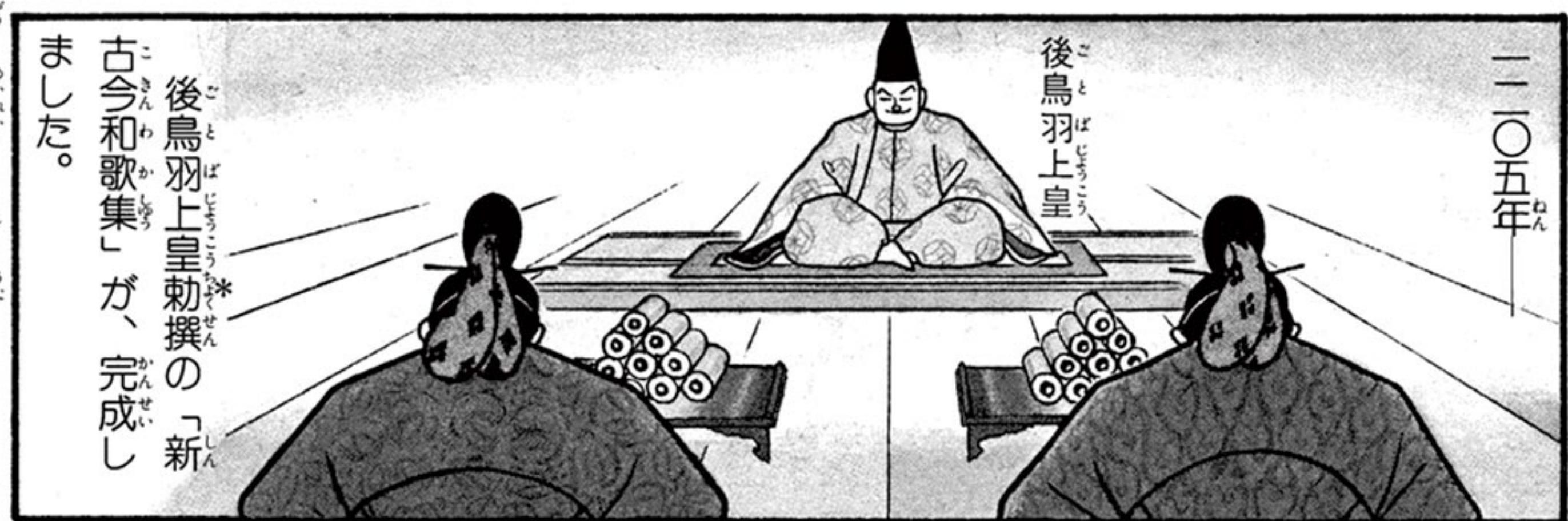
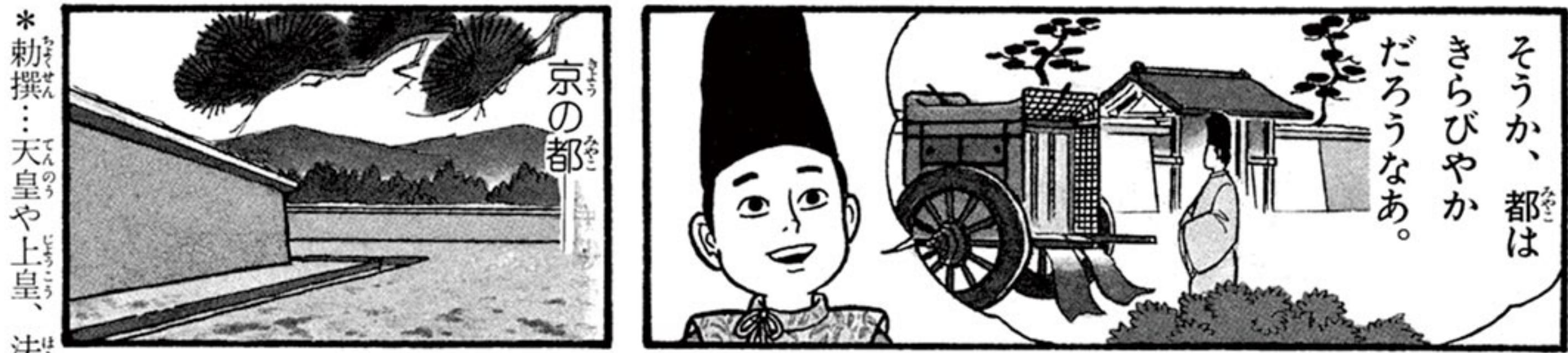


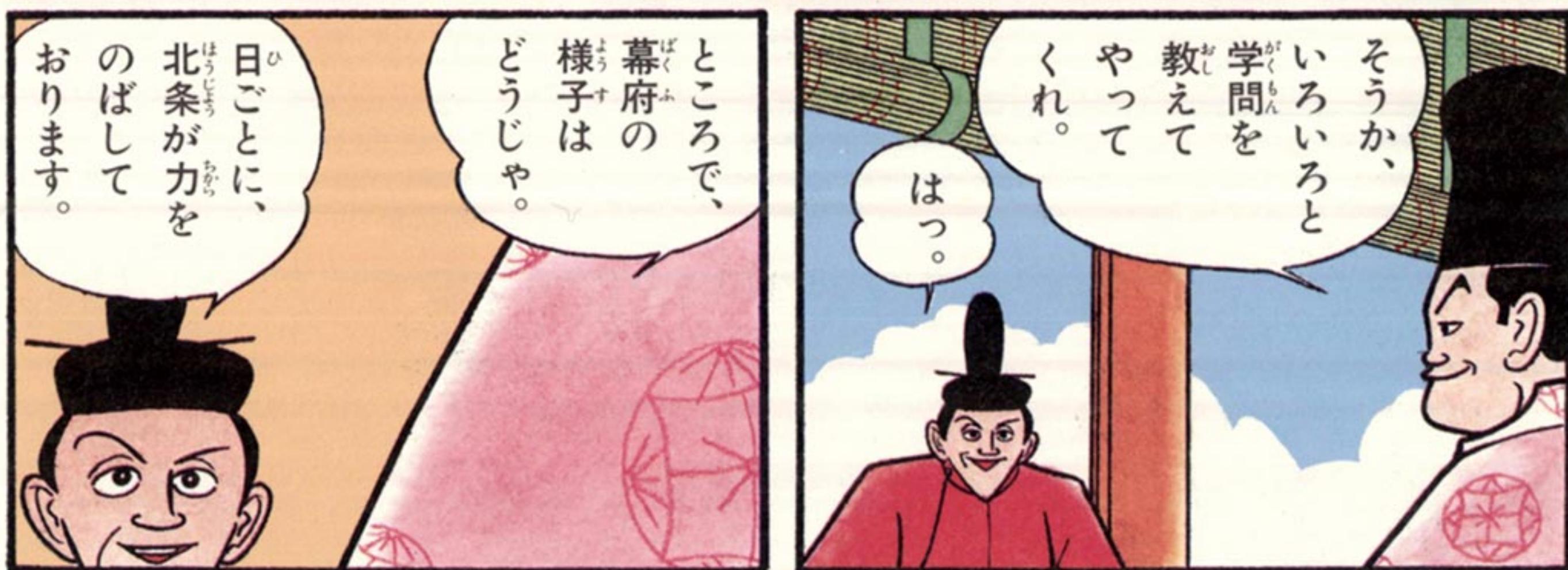
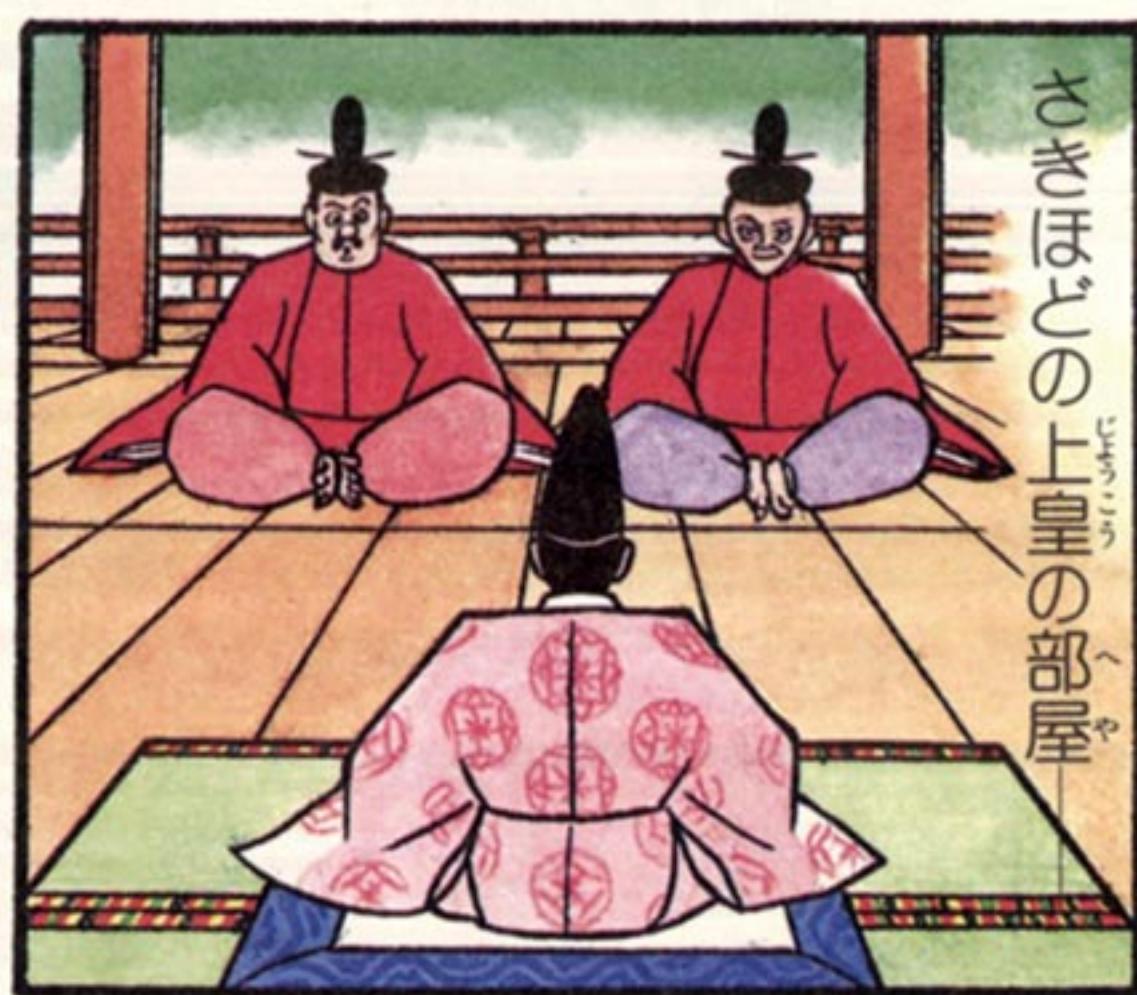
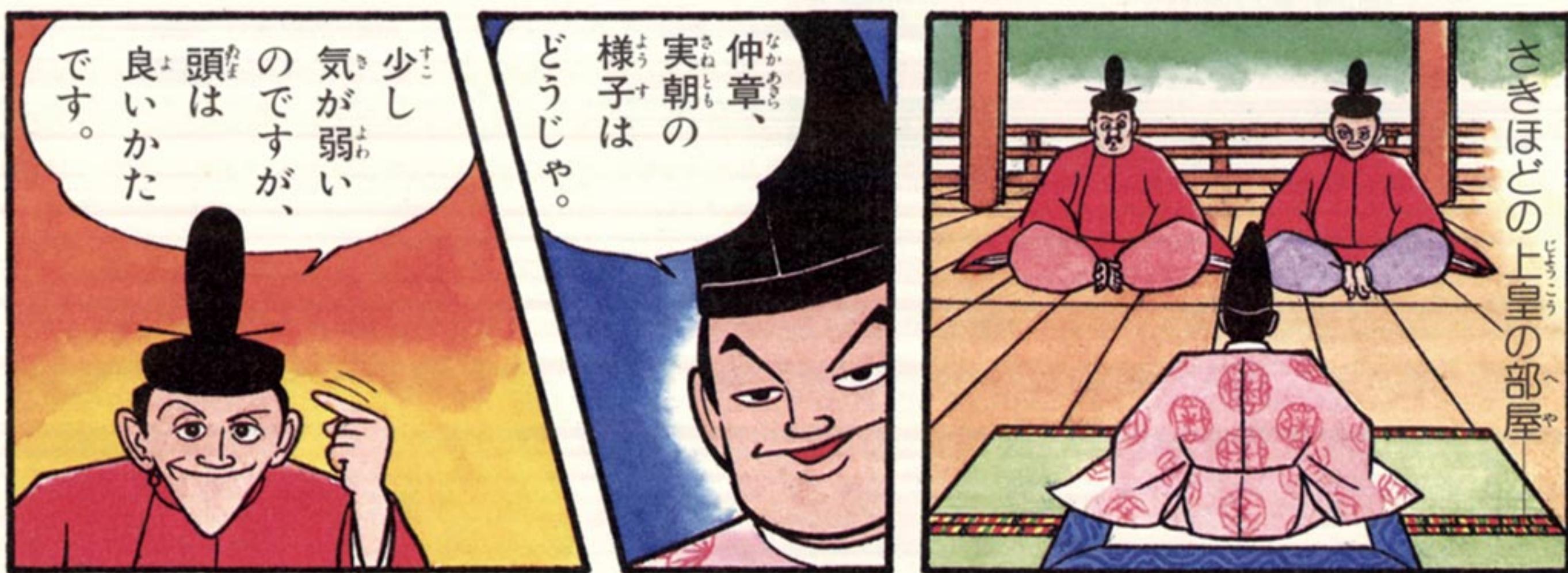
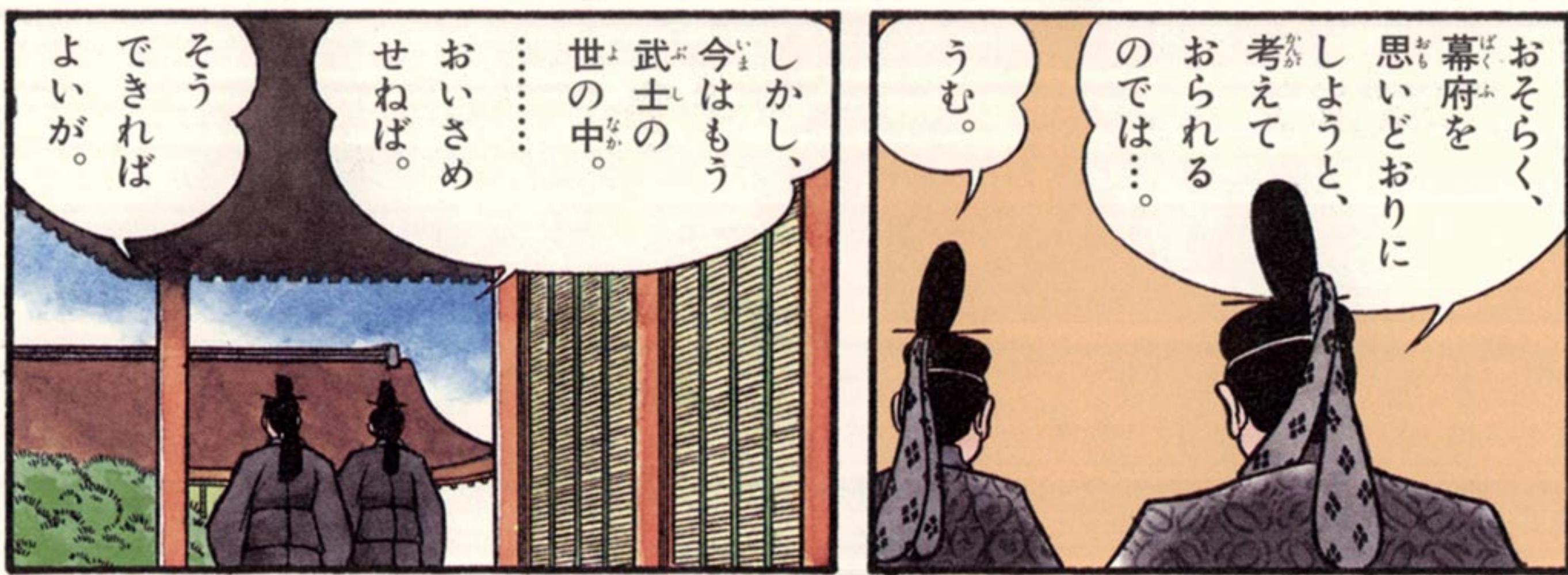
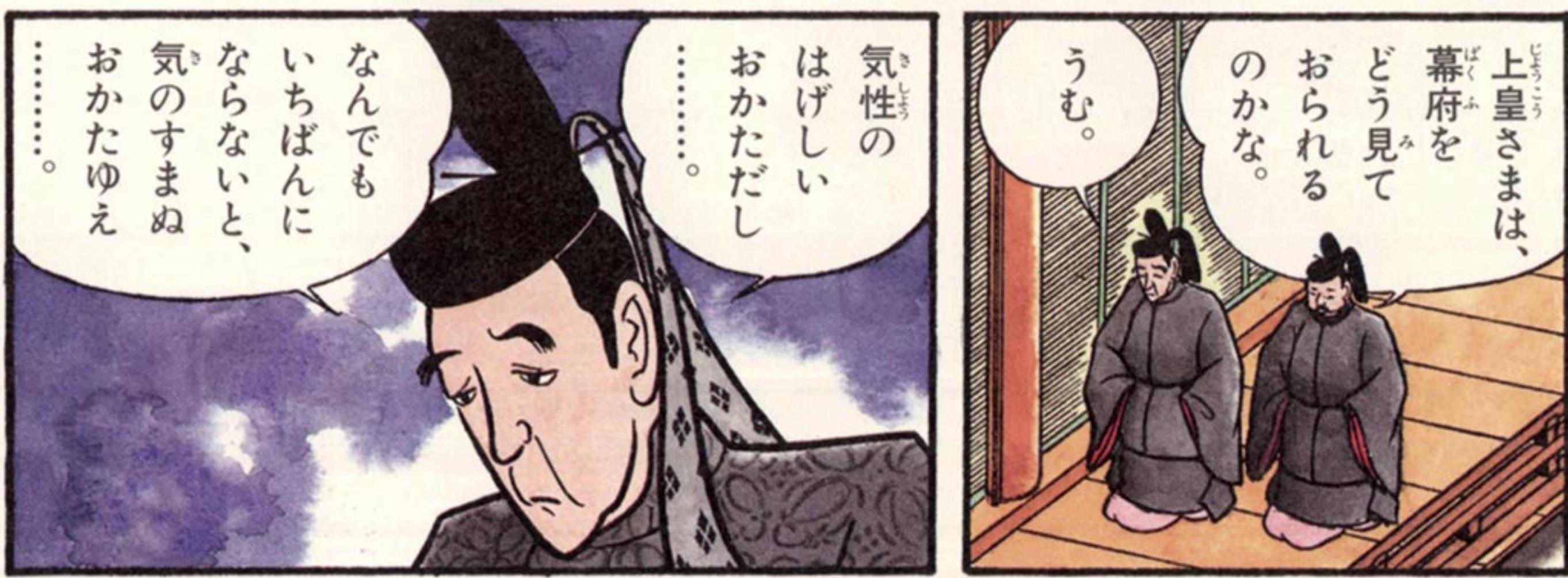
\*外戚  
：母方の親類。

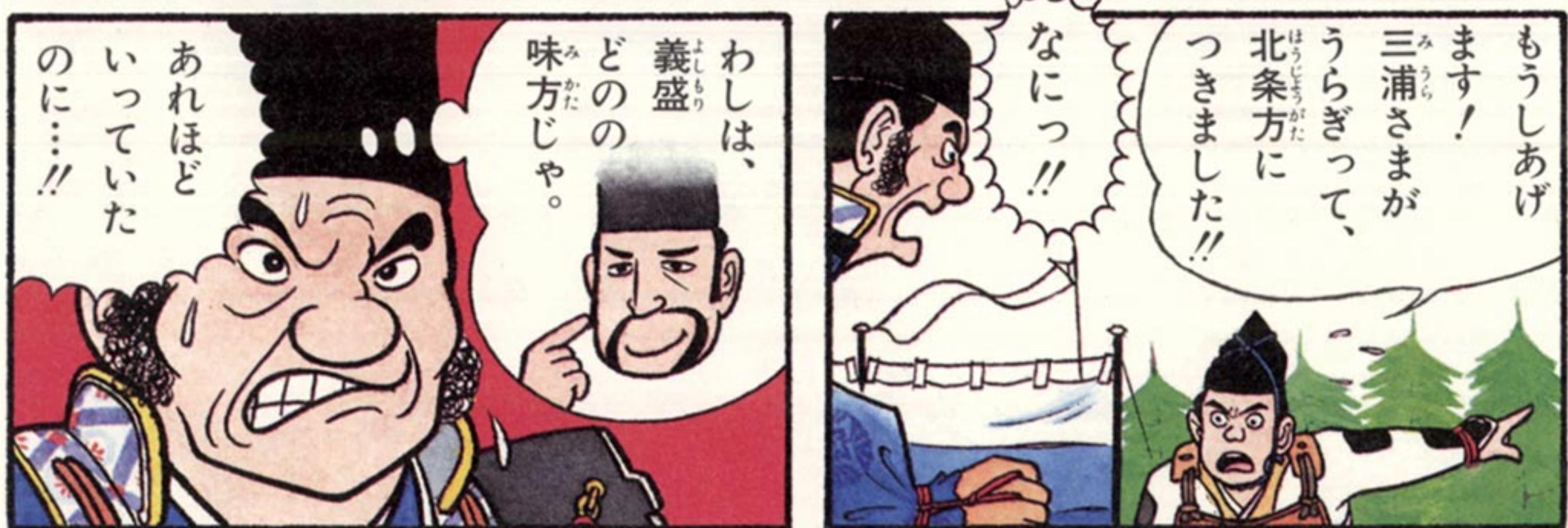
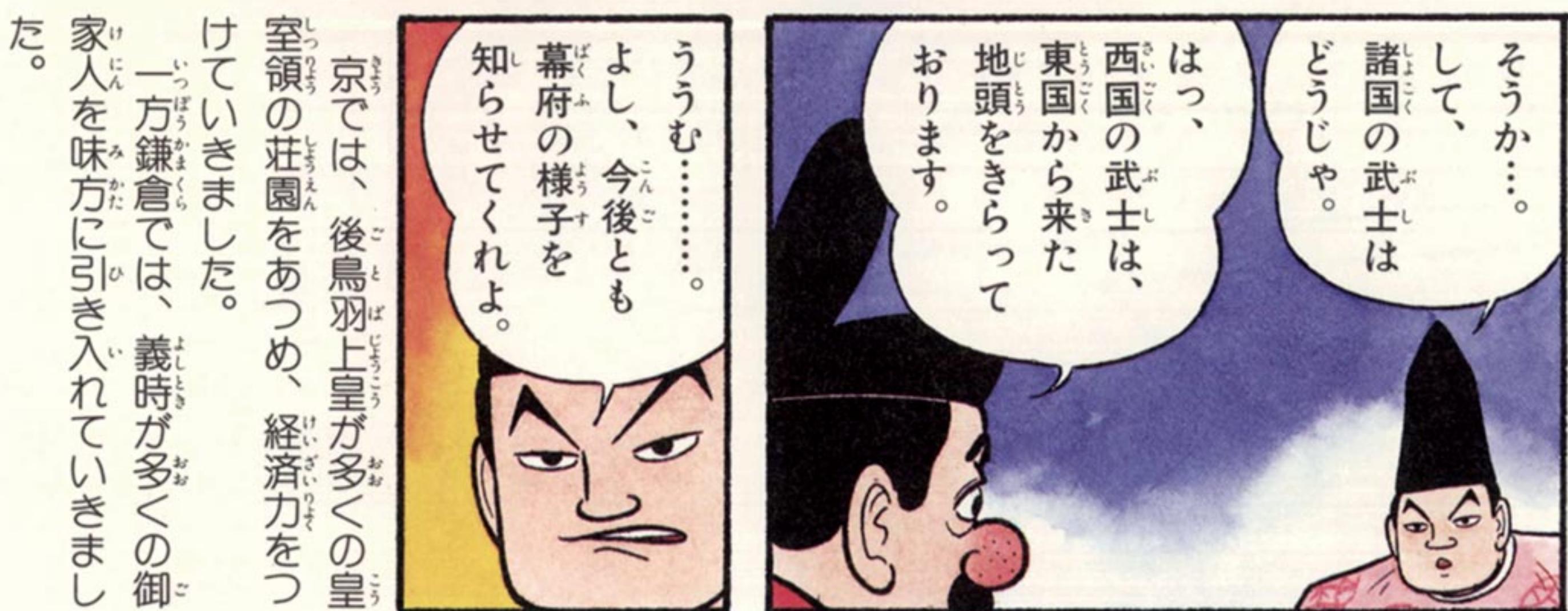
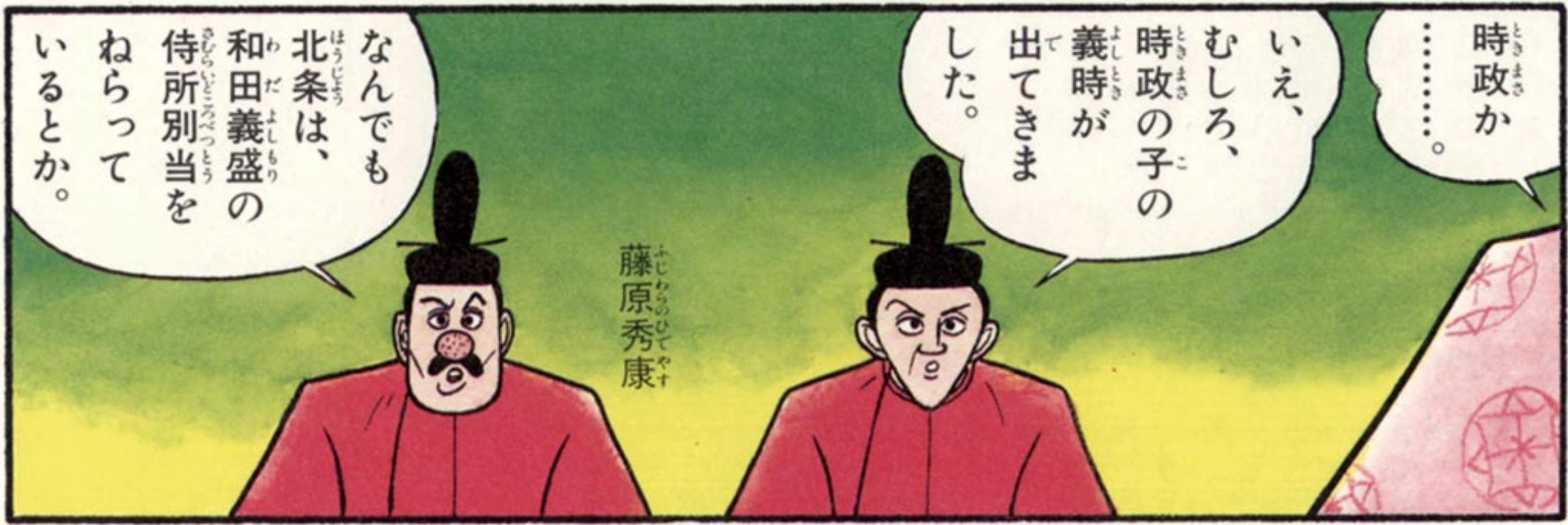
\*執権  
：将軍をたすけて政治を行ふ幕府の役職。

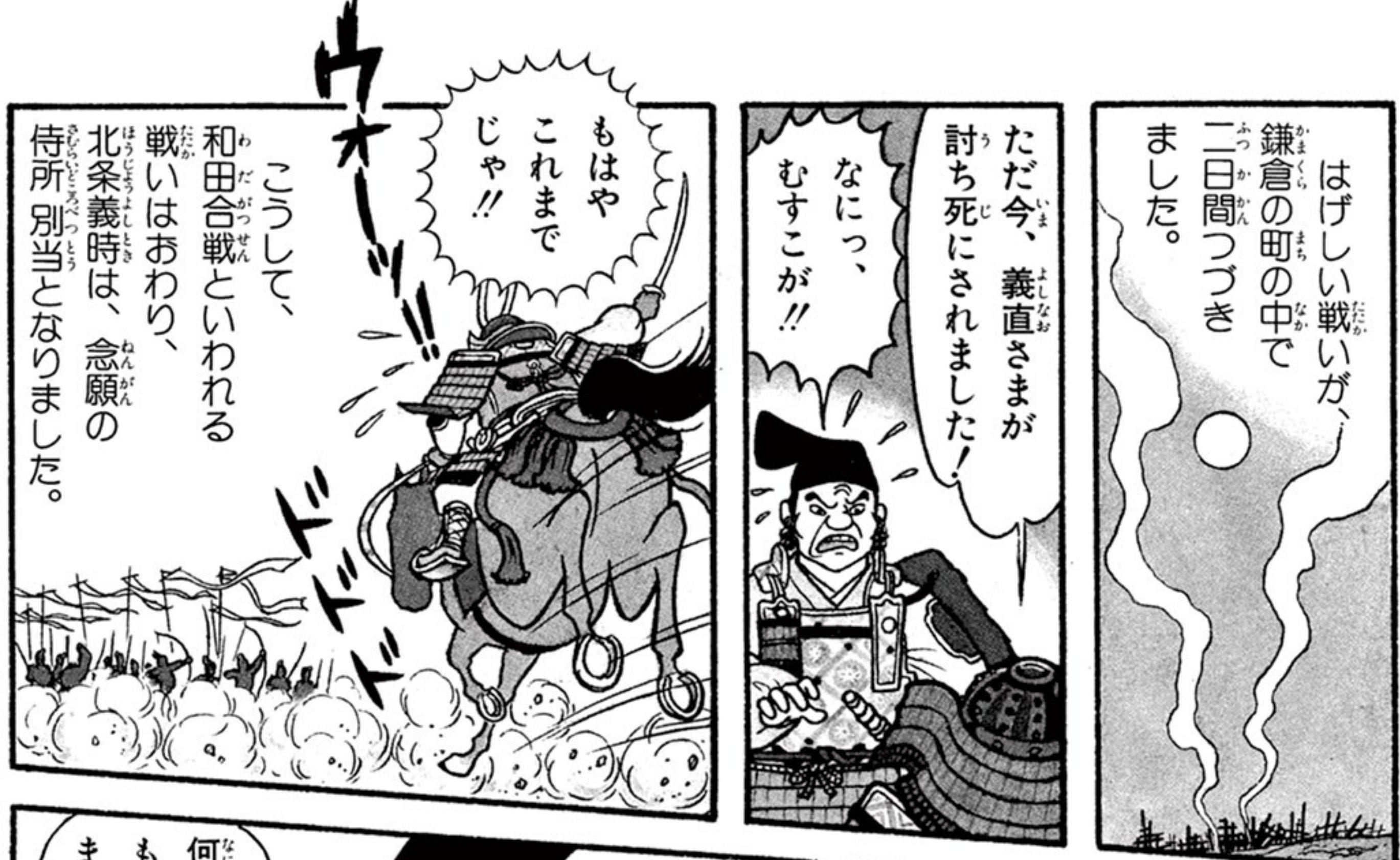
\*源  
：仲章

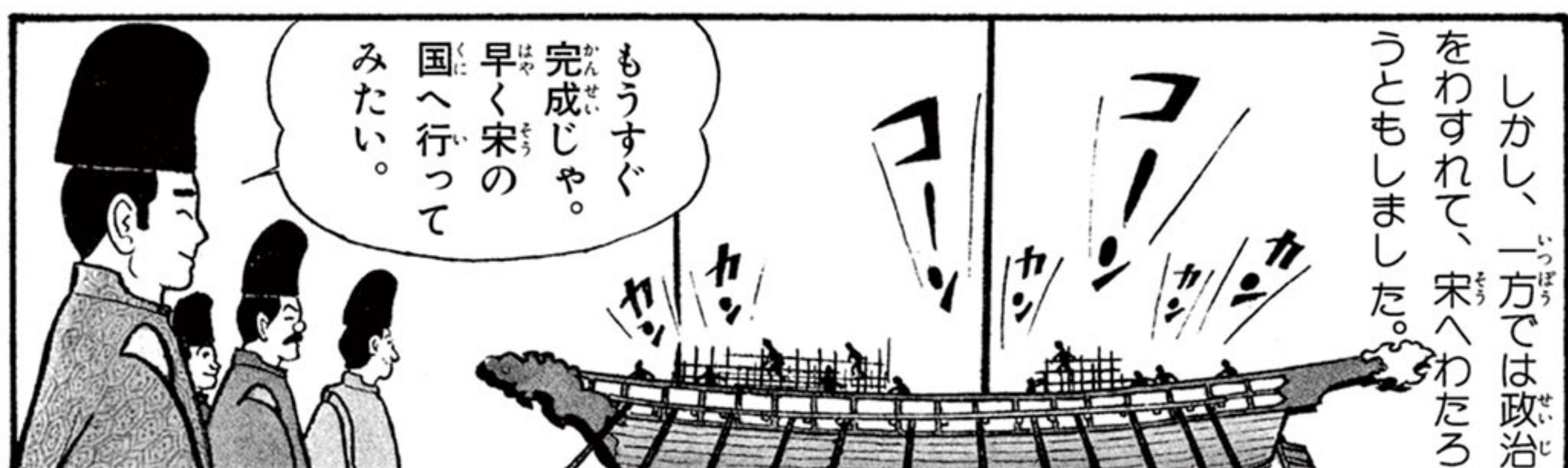
：源実朝の学問の先生。



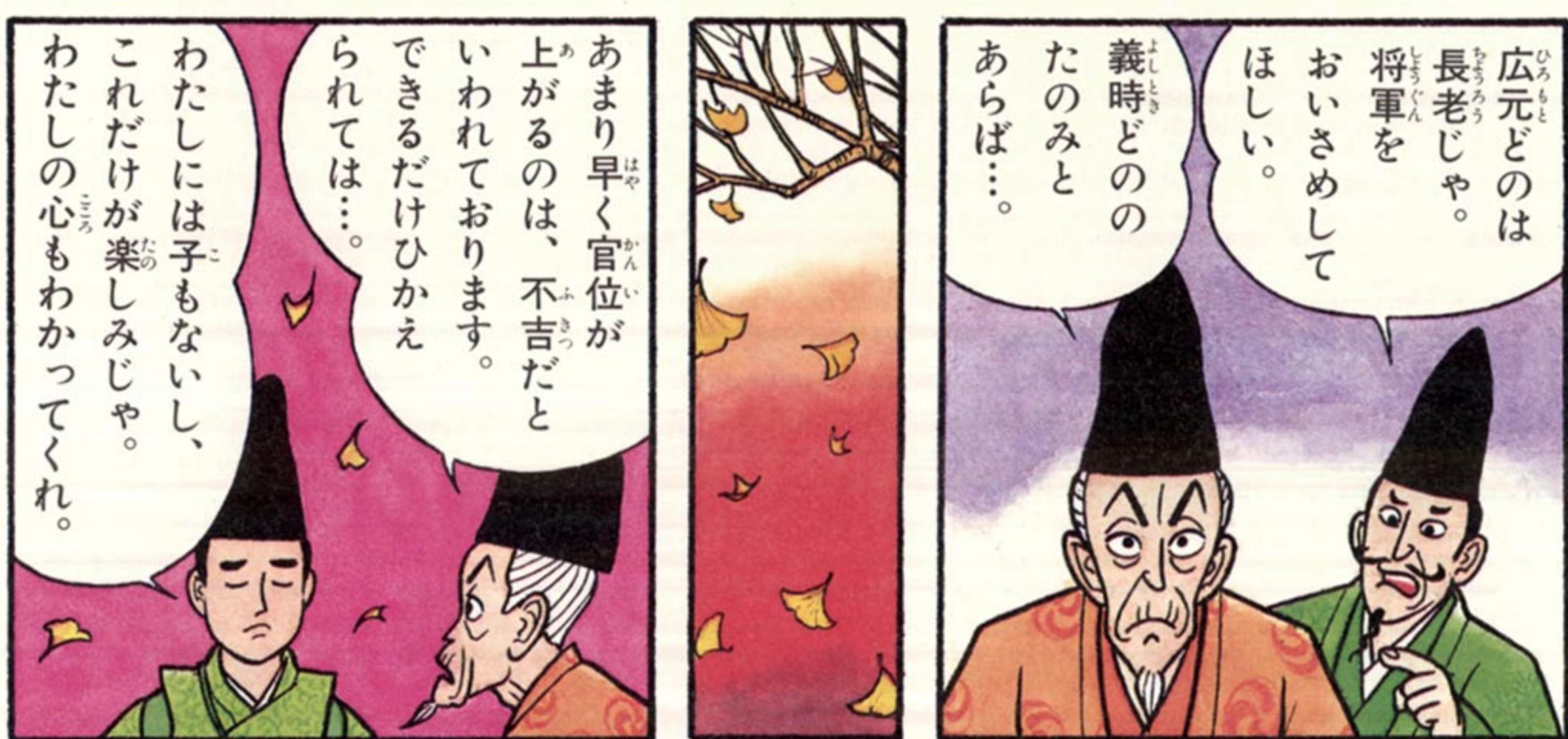
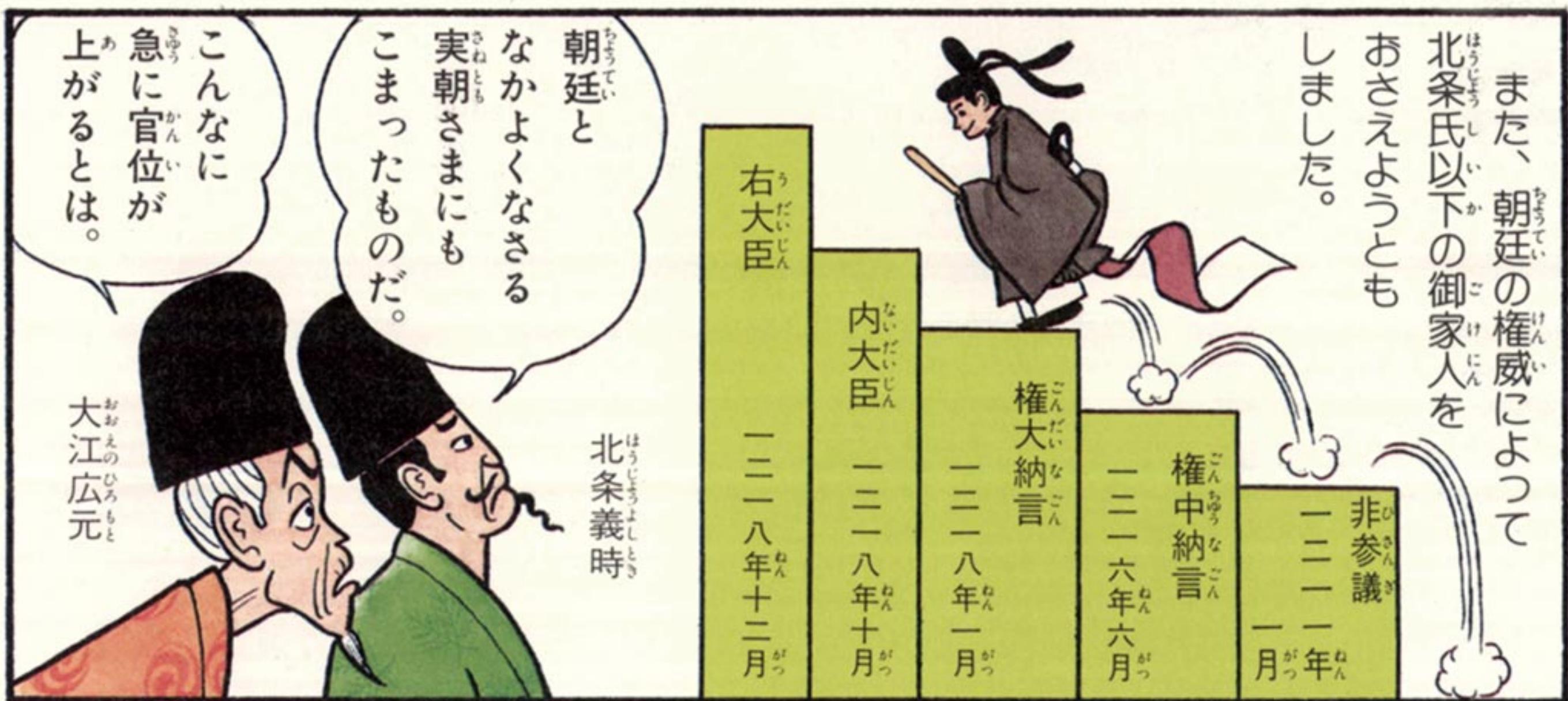


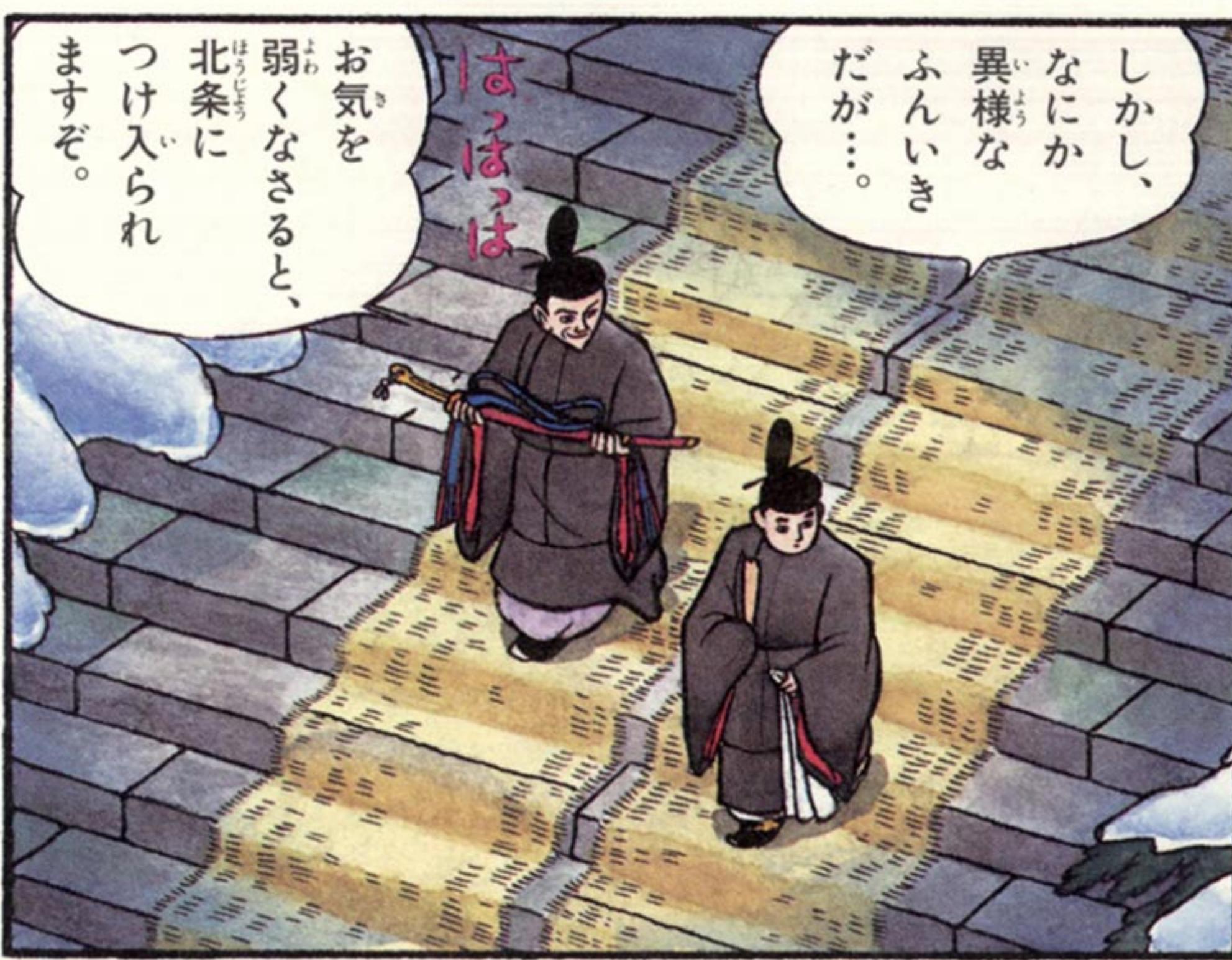
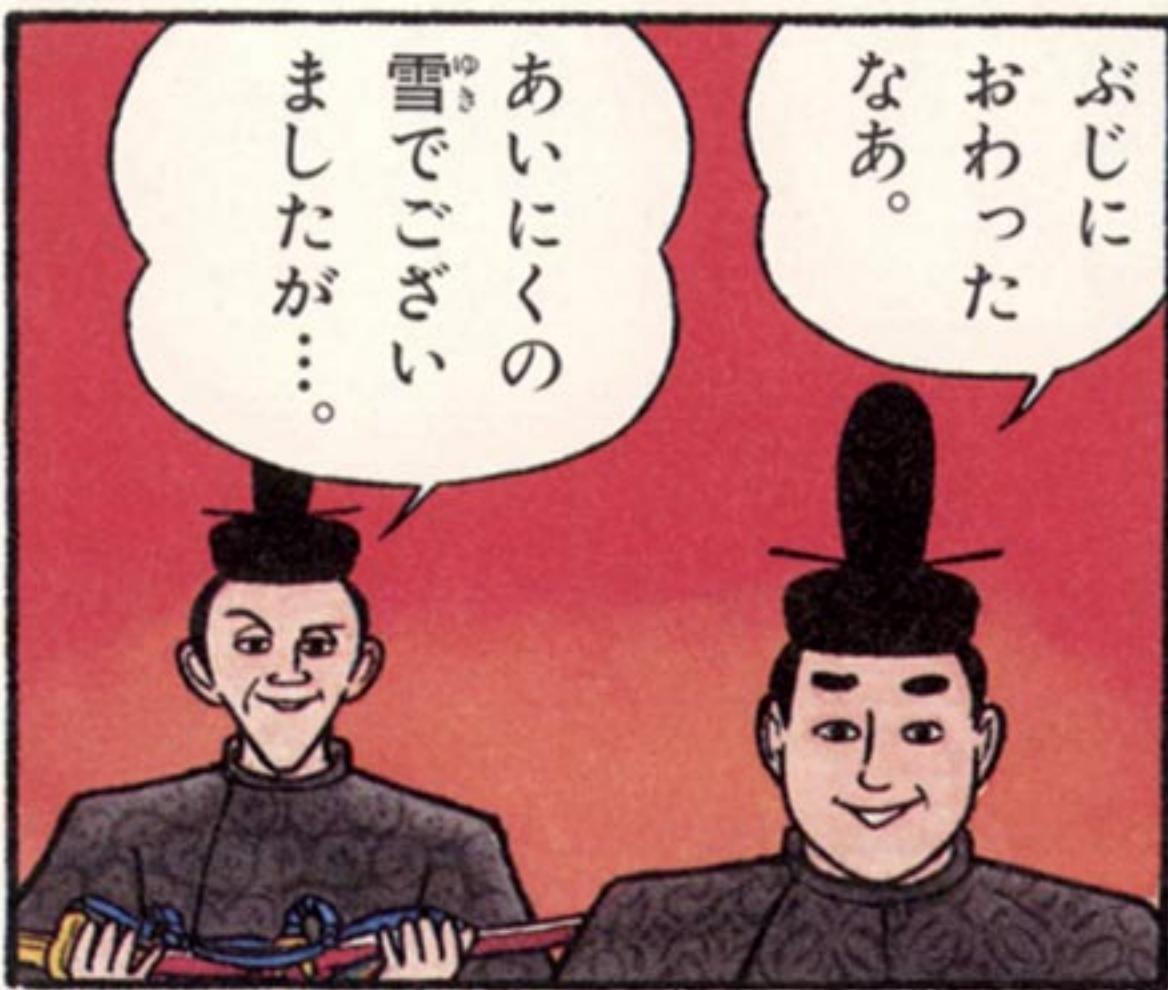


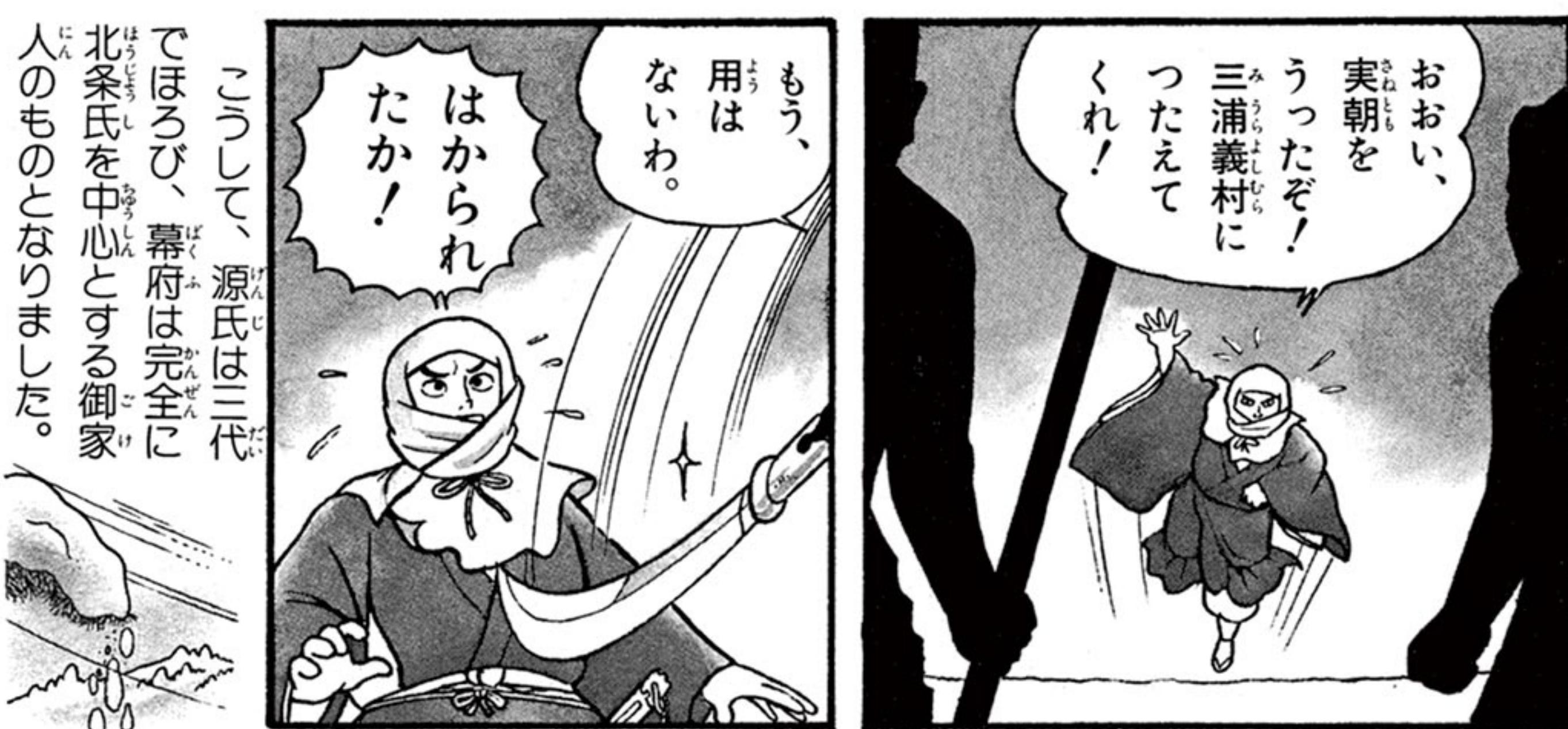




\*拝賀：官職についたり、位をさずけられたときに、お札をもつしあげること。





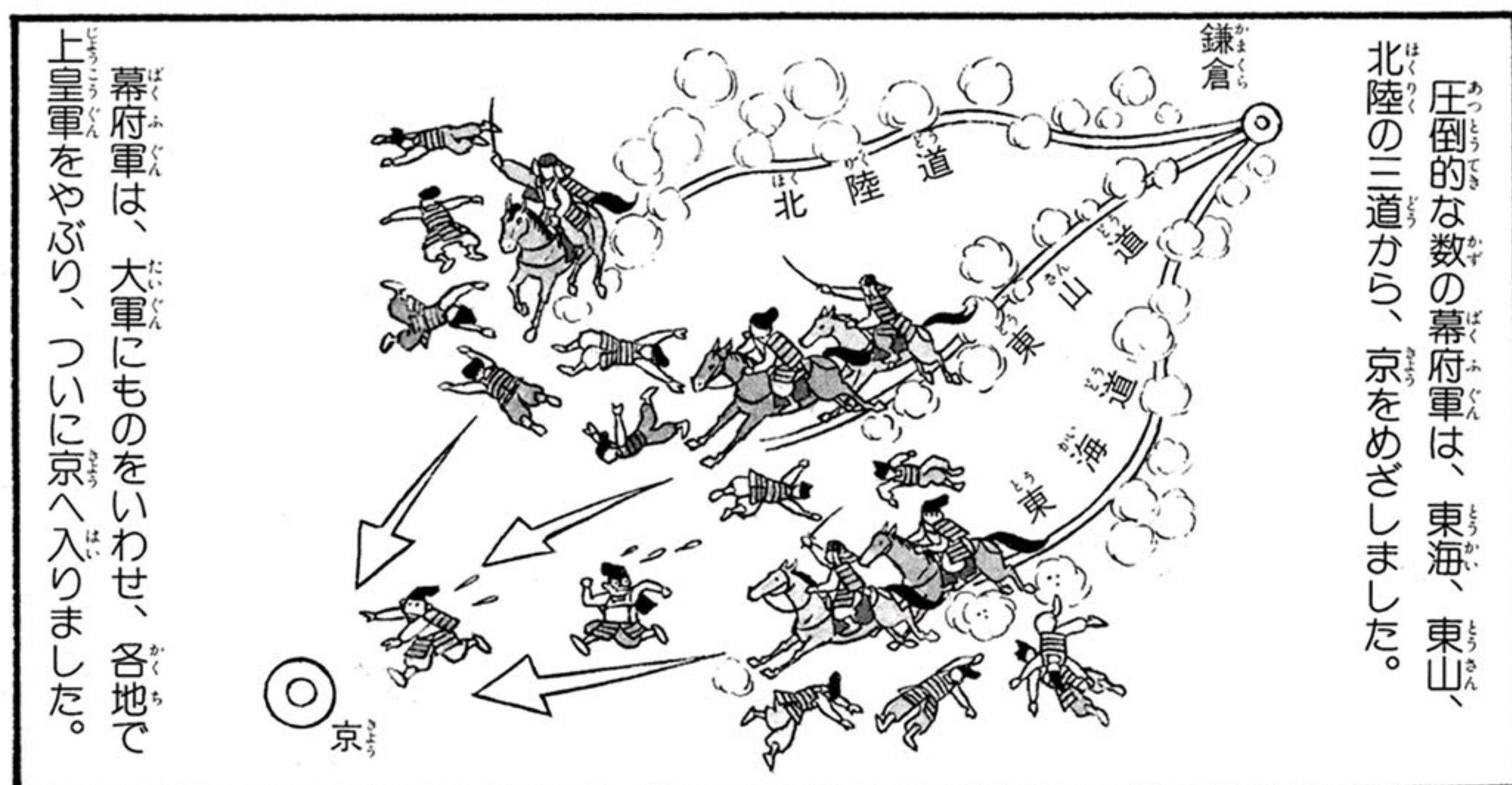
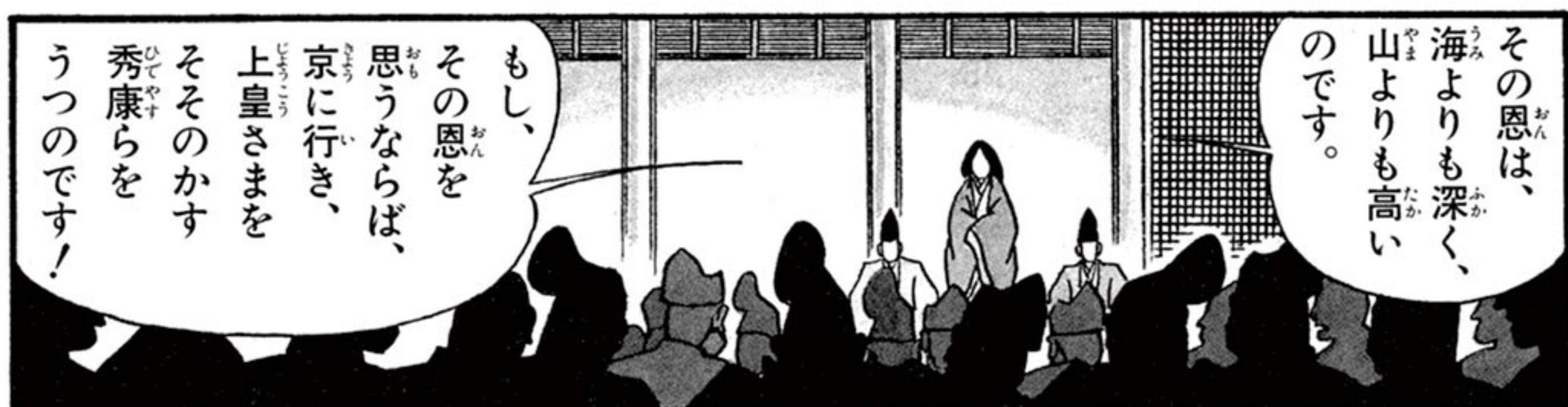


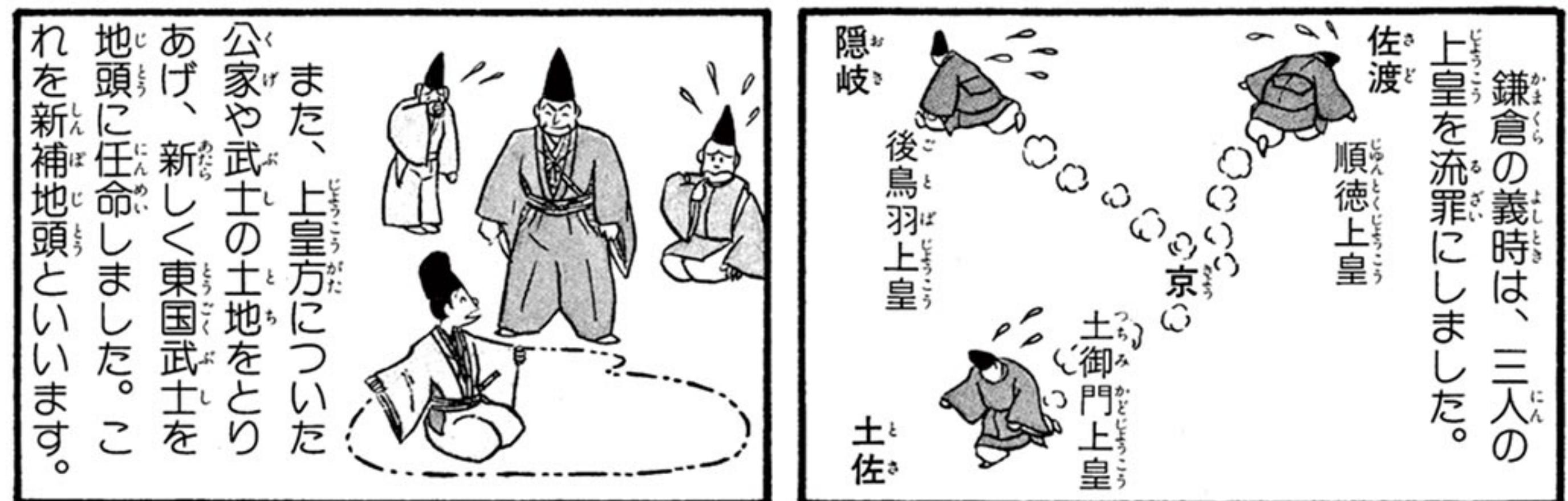


\*三寅……後の將軍、藤原(九条)頼經。

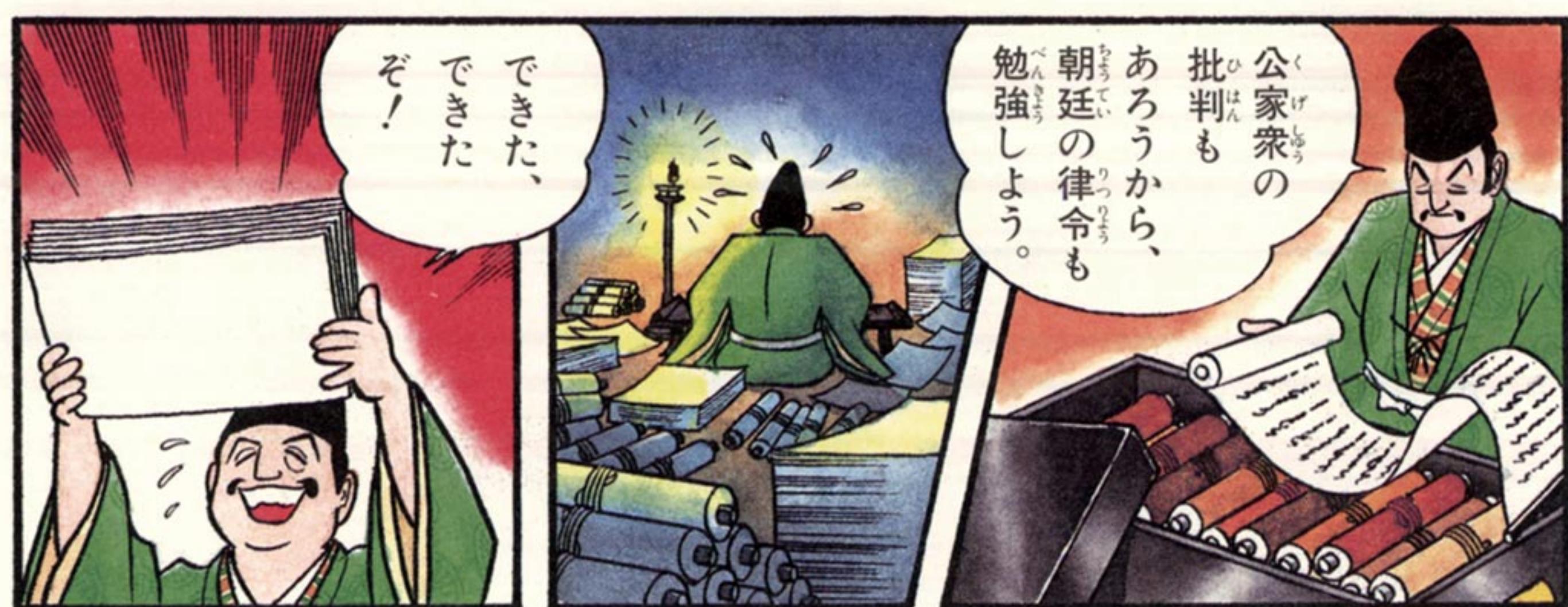
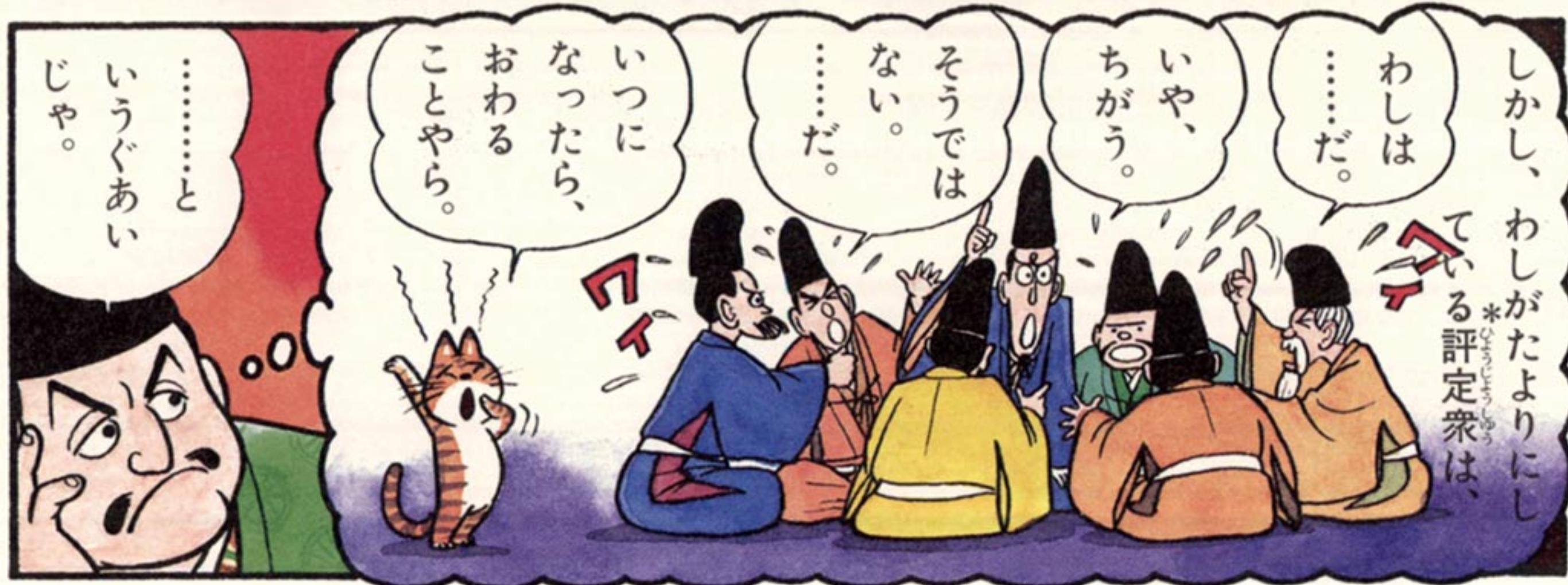
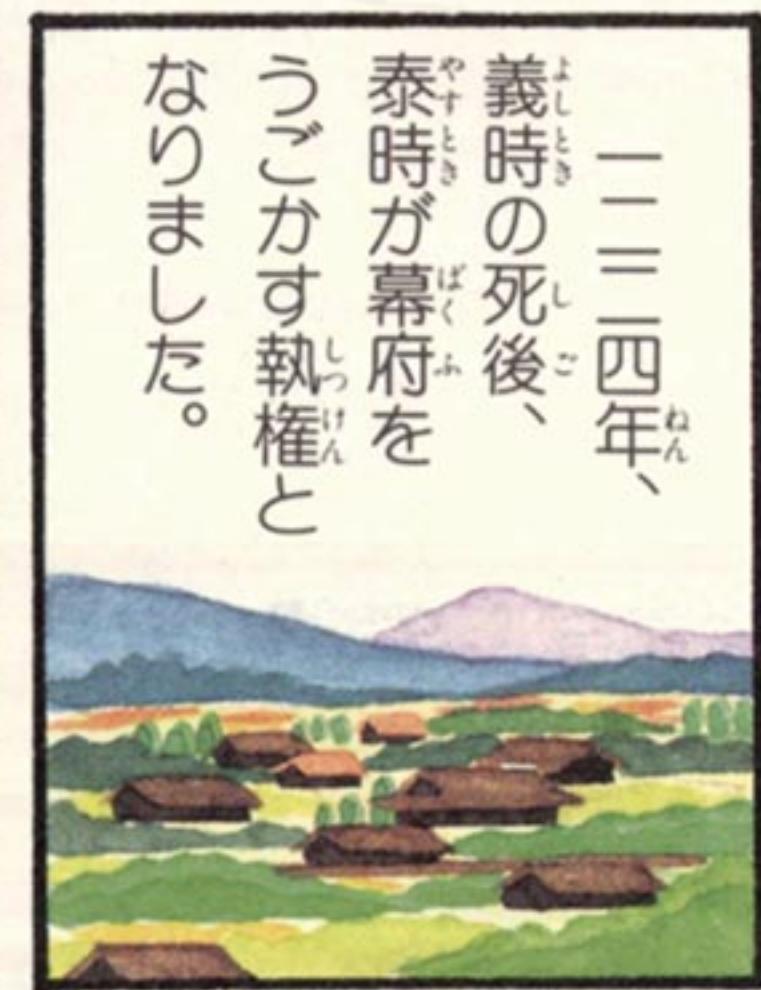


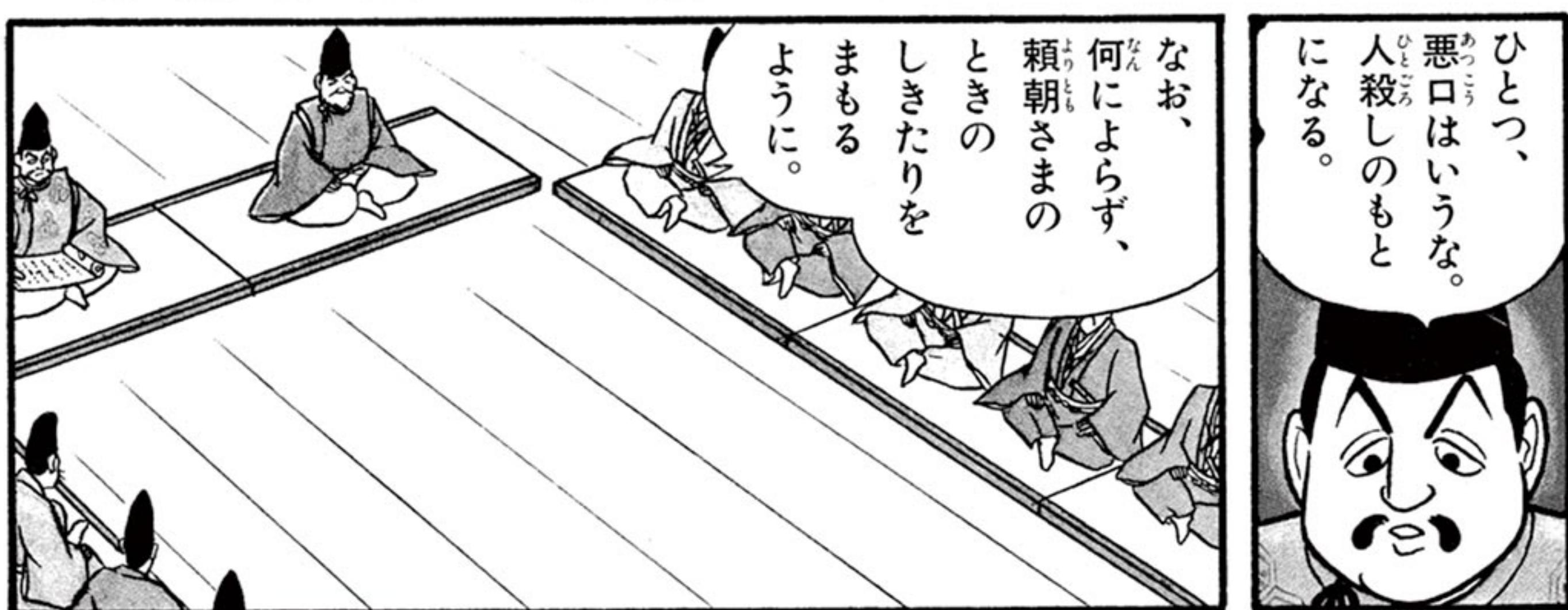




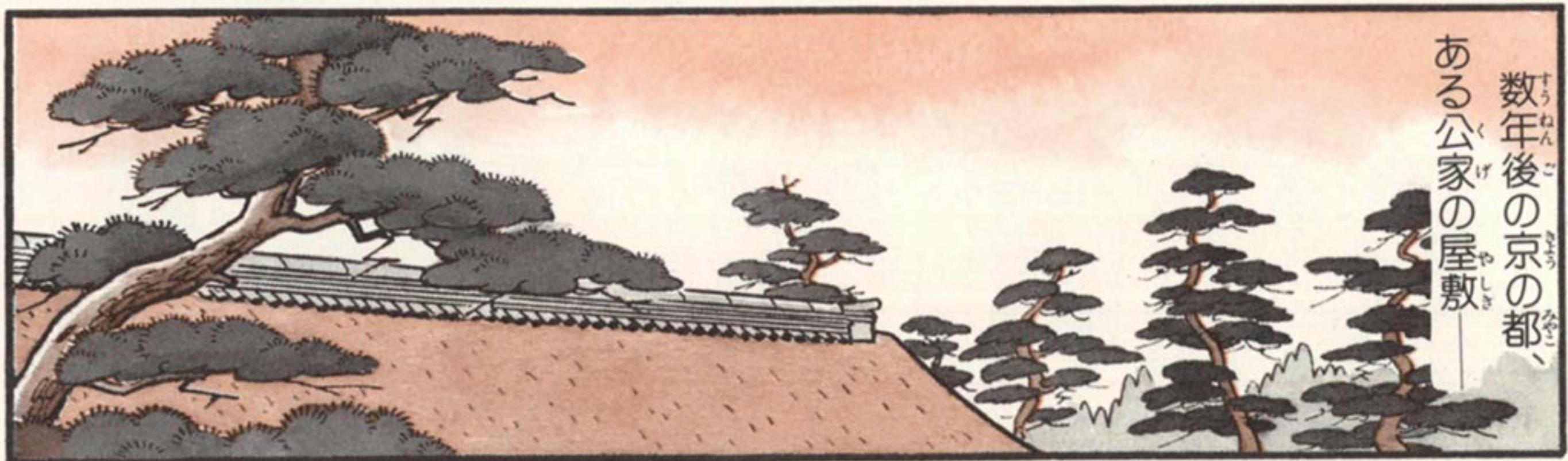


\*評定衆…一二二五年、北条泰時がもつけた幕府最高の職名。

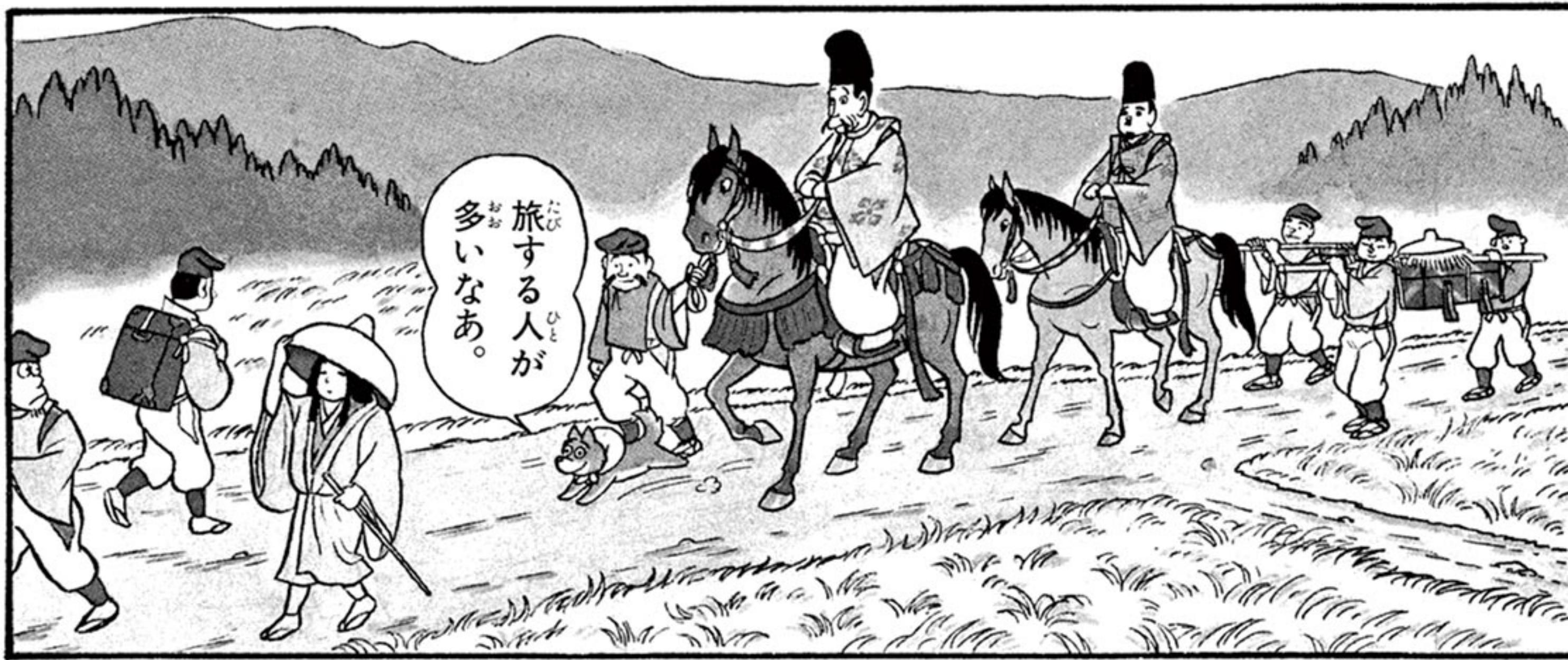




数年後の京の都、  
ある公家の屋敷











しかし、  
この市も、市日  
をすぎますと、  
だれもいなくなり、  
カラスのねぐらに  
なります。

いなかの  
市にしては、  
なかなか  
にぎわって  
おるのう。

とり  
たての  
魚  
だよ。

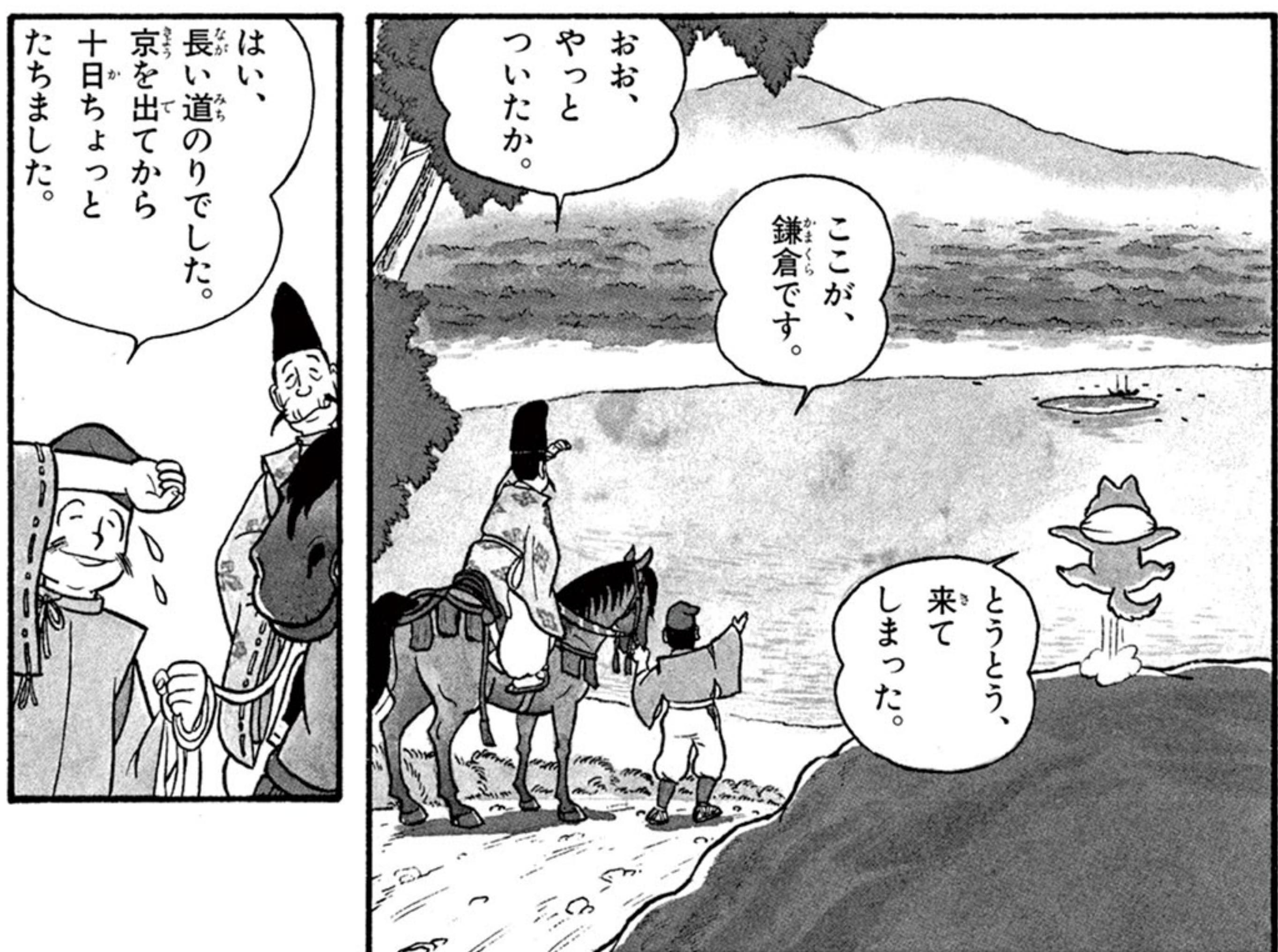
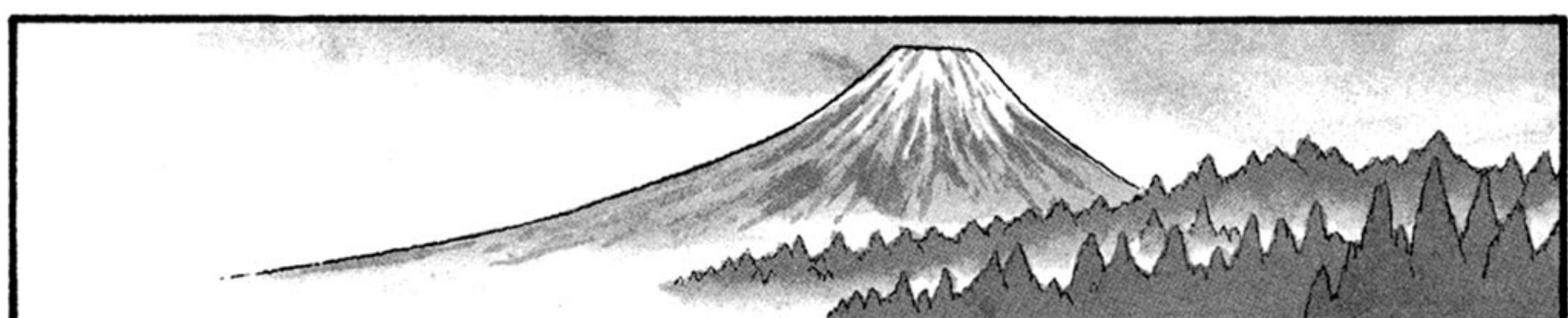
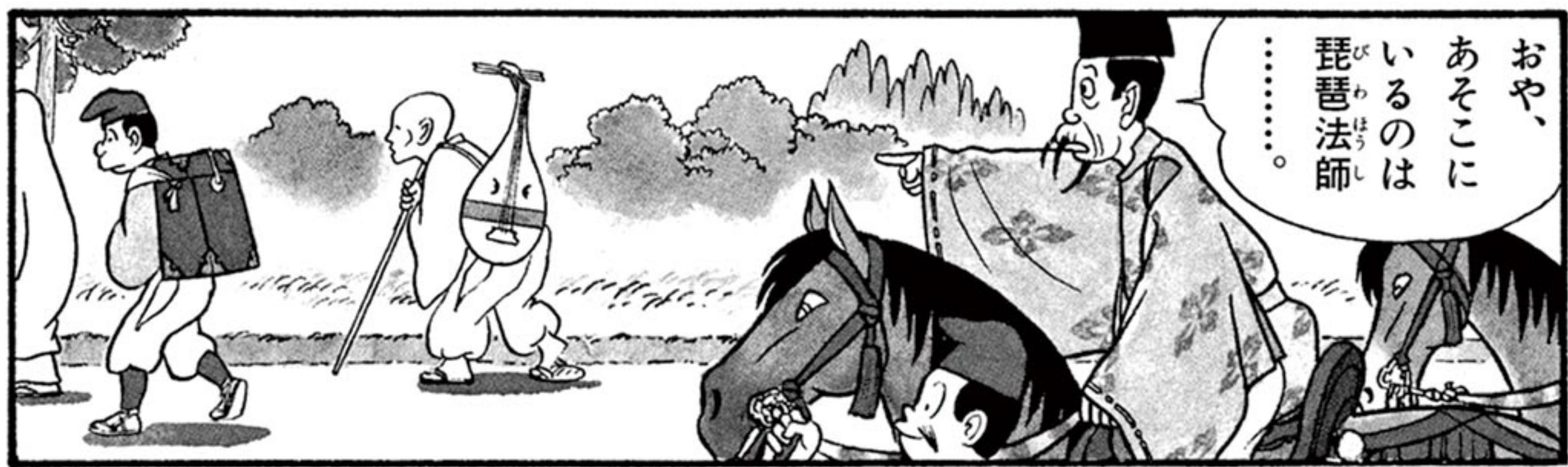
いくさやききんがあ  
さまり、  
各地に、月一  
三回ほど市がたつよう  
になりました。  
宋銭の流入により、  
この市はさらに発展し  
ました。

今日の  
収かくは  
これだけだ。  
買つて  
くれるかい。

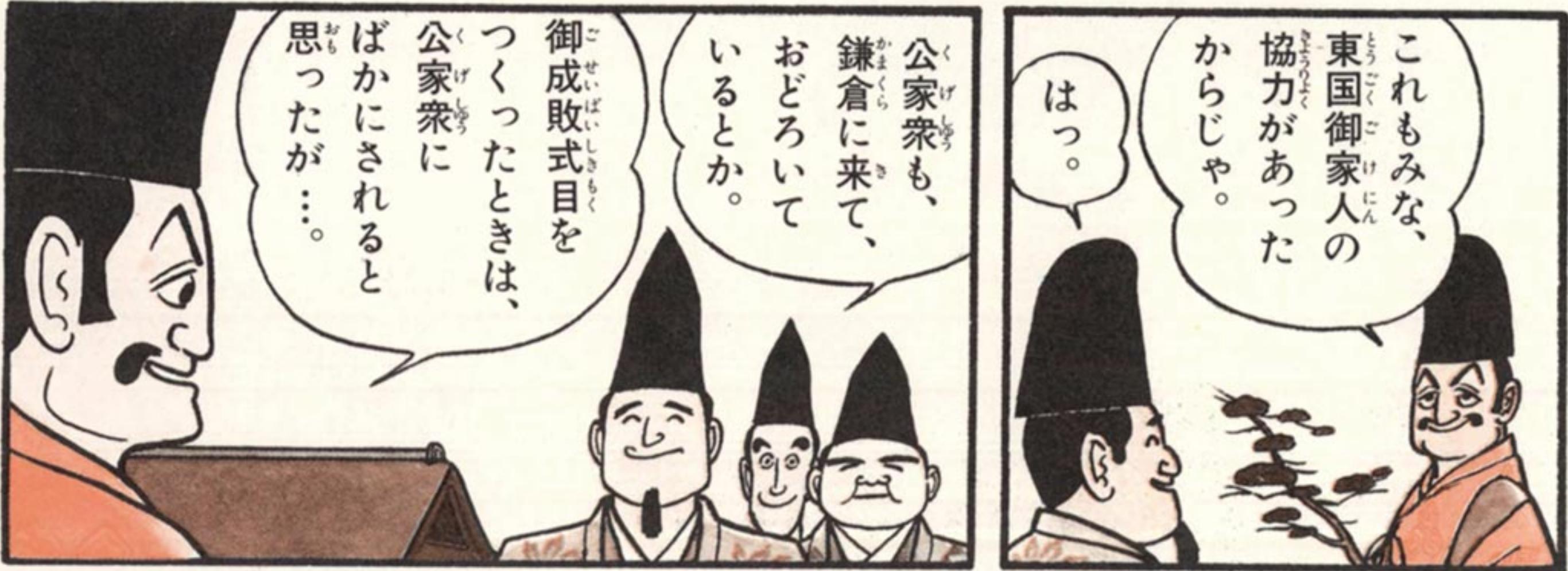
市女笠は  
いらんか  
ねえ！

それなら  
小袖そでが  
つくれるよ。

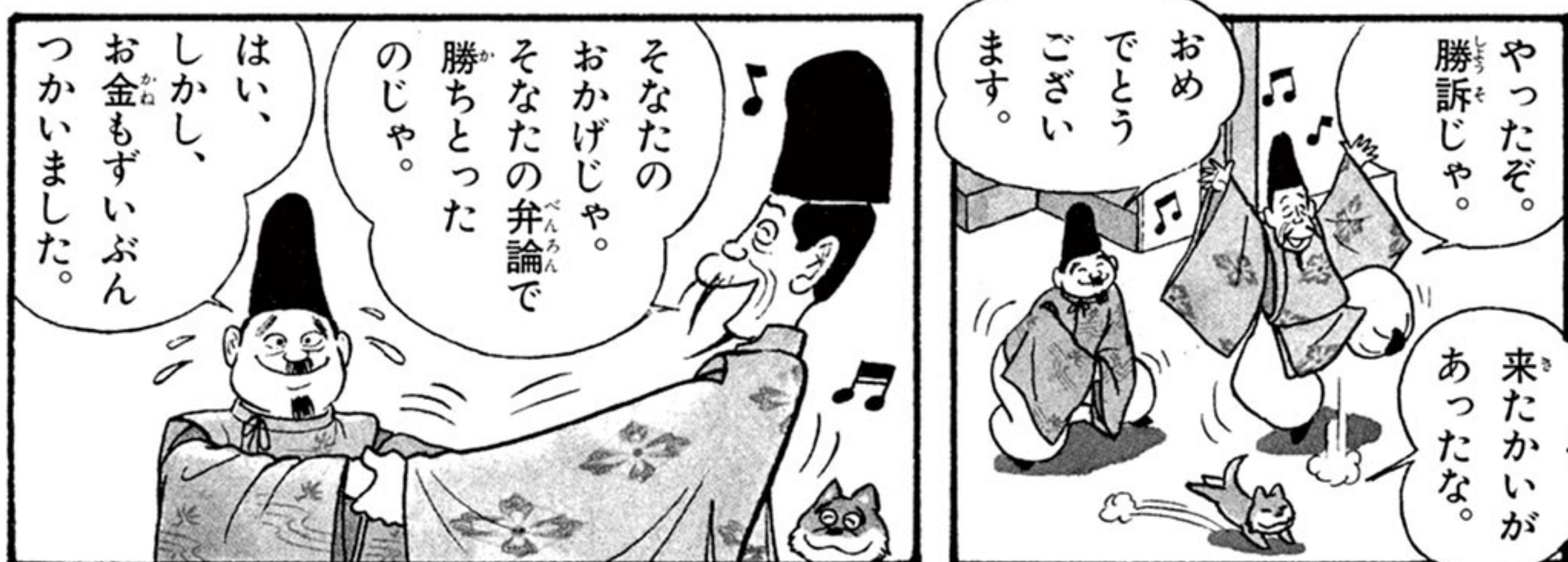
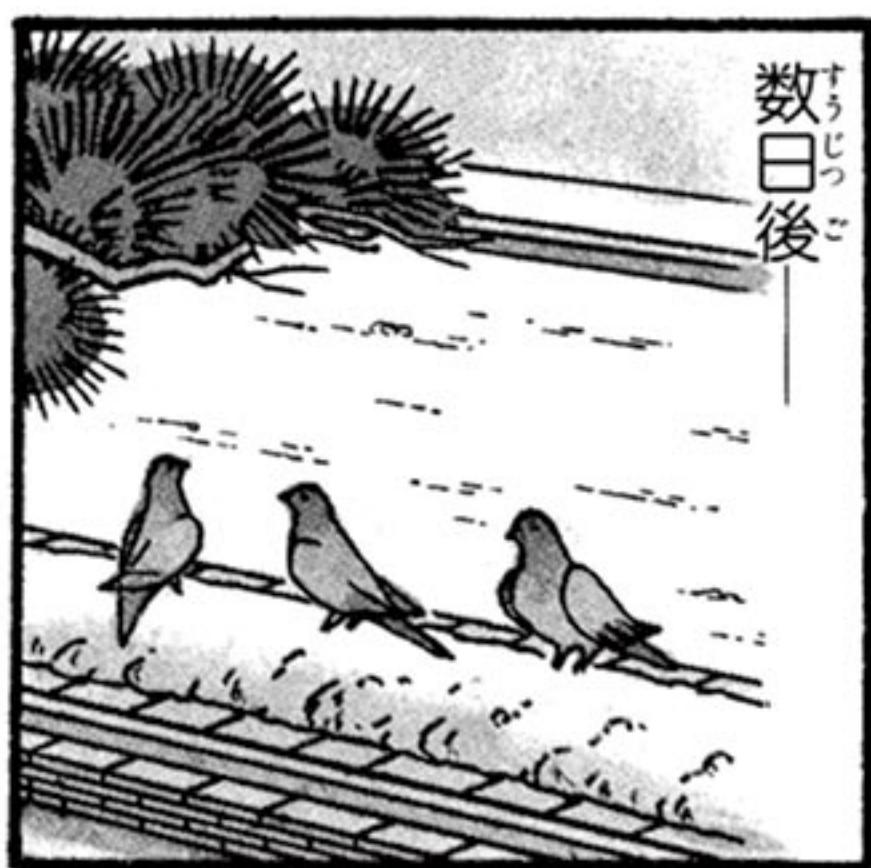
あ  
うめえ！











公家と地頭との裁判の結果は、公家の勝ちのほうが多かつたのですが、それにもかかわらず、現地で実力をふるつてゐる地頭の力がのびていくのです。



幕府の、北条氏を中心とする話し合いの政治は、しだいに成果をあげていきました。それにともなつて鎌倉は、武士たちの都として発展していくのです。

京都の貴族を中心とした社会とならんで、鎌倉の武士を中心とした社会がつくりあげられたわけです。文化も、貴族中心のものから大きくかわっていきます。



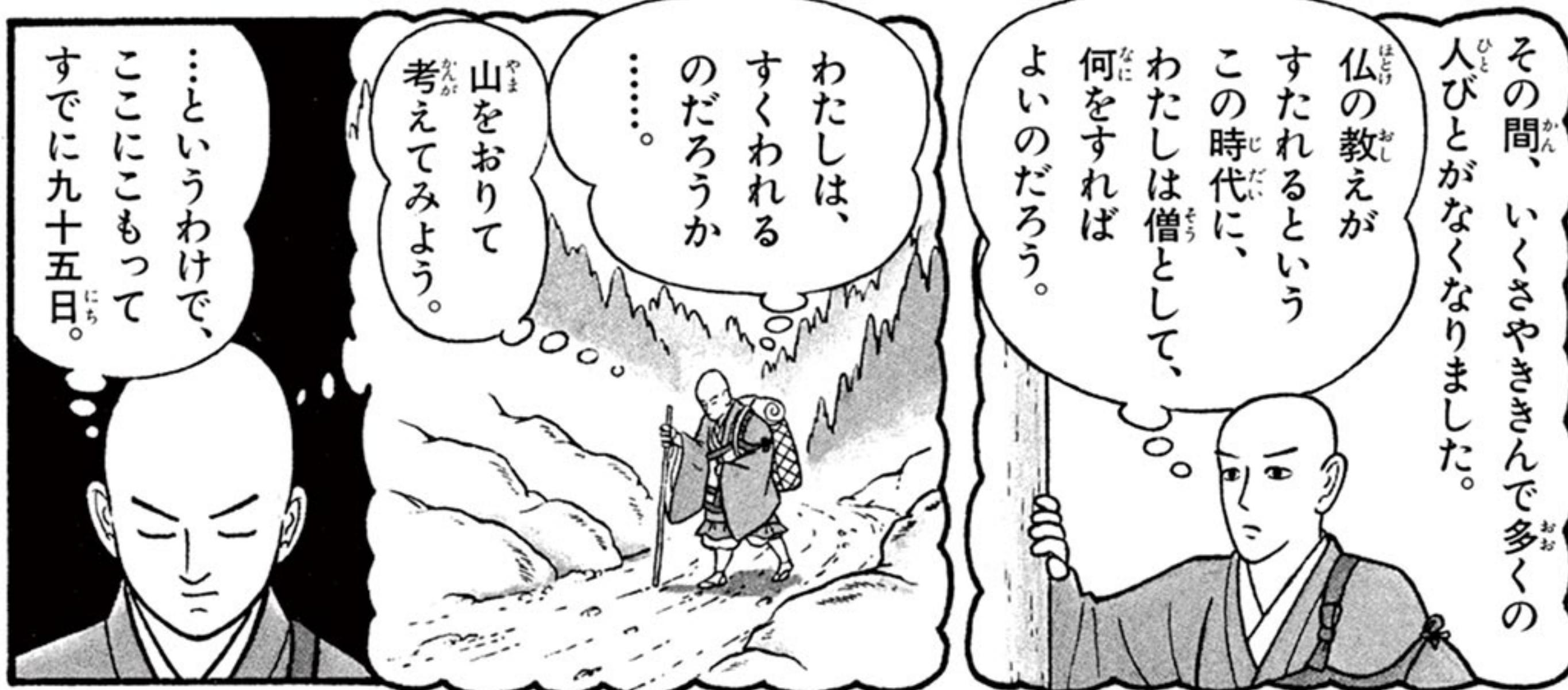
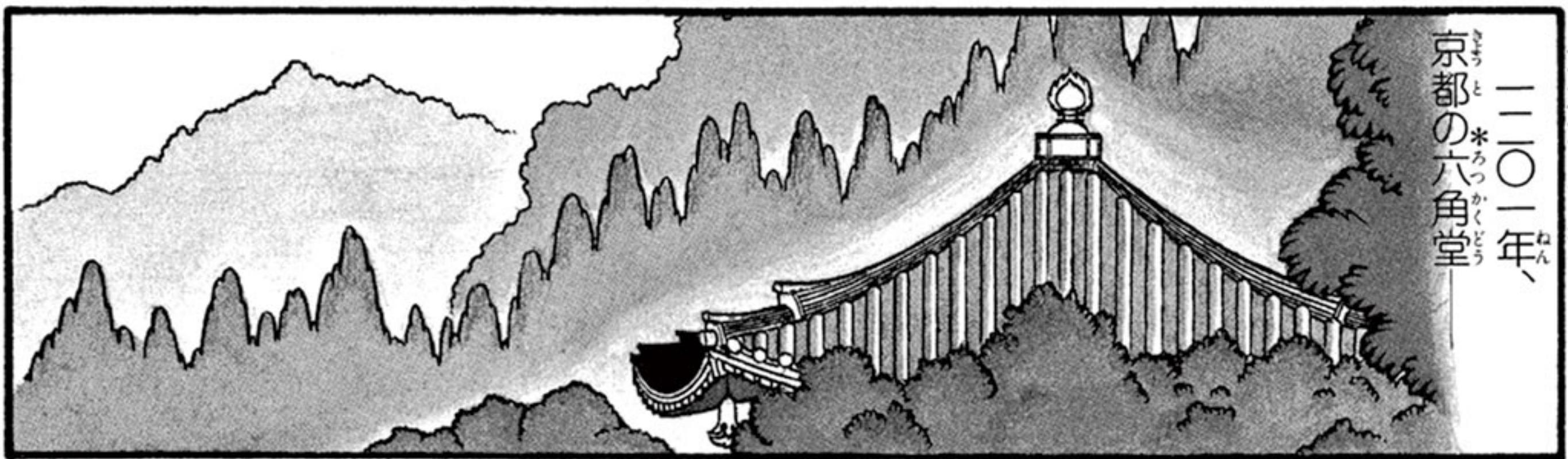
小学館 eBooks

だい しょう  
**第三章**

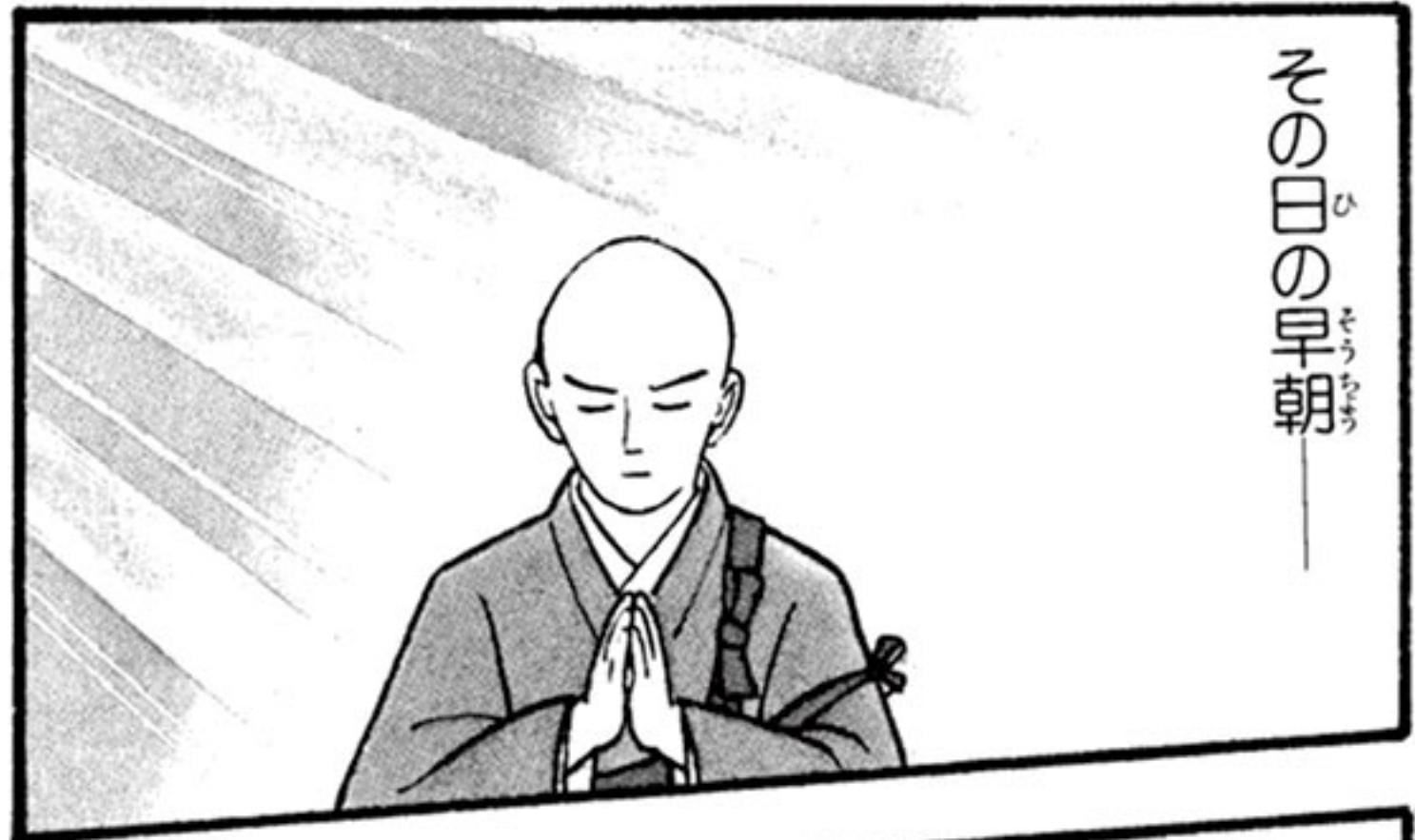
あたら ぶつ きよう  
**新しい仏教**  
かまくらじだい  
—鎌倉時代—

一〇一年、  
京都の六角堂

\* 六角堂：京都市中京区にある頂法寺。



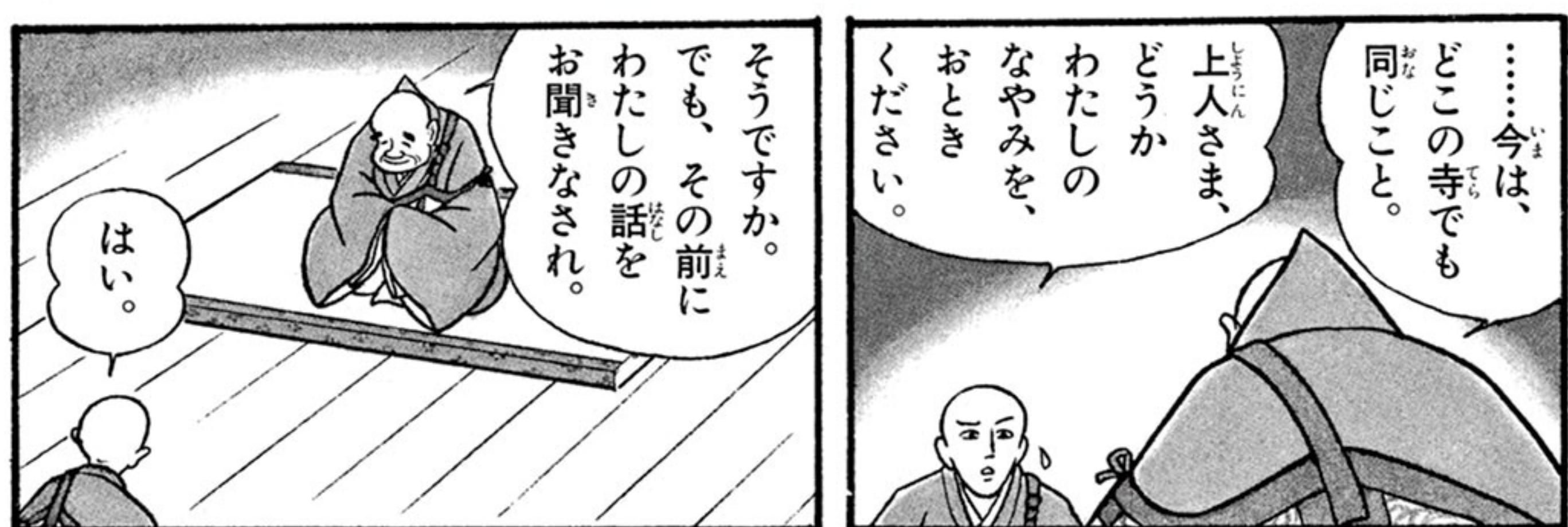
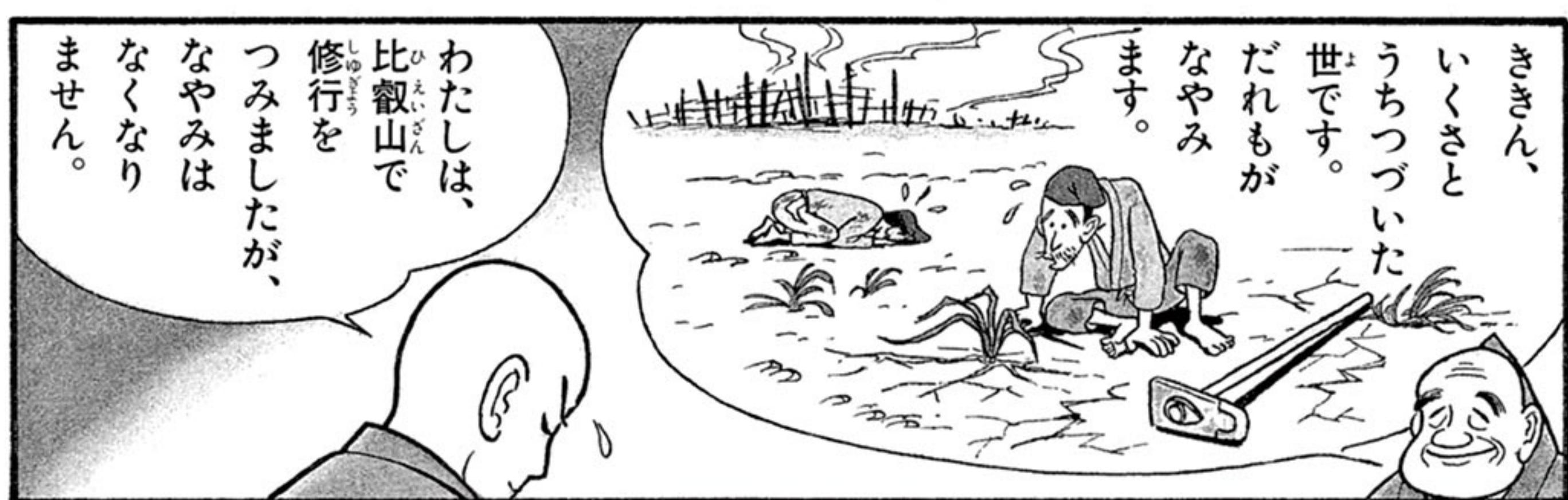
その日の早朝





\*浄土：仏や菩薩のいるところ。極楽浄土。

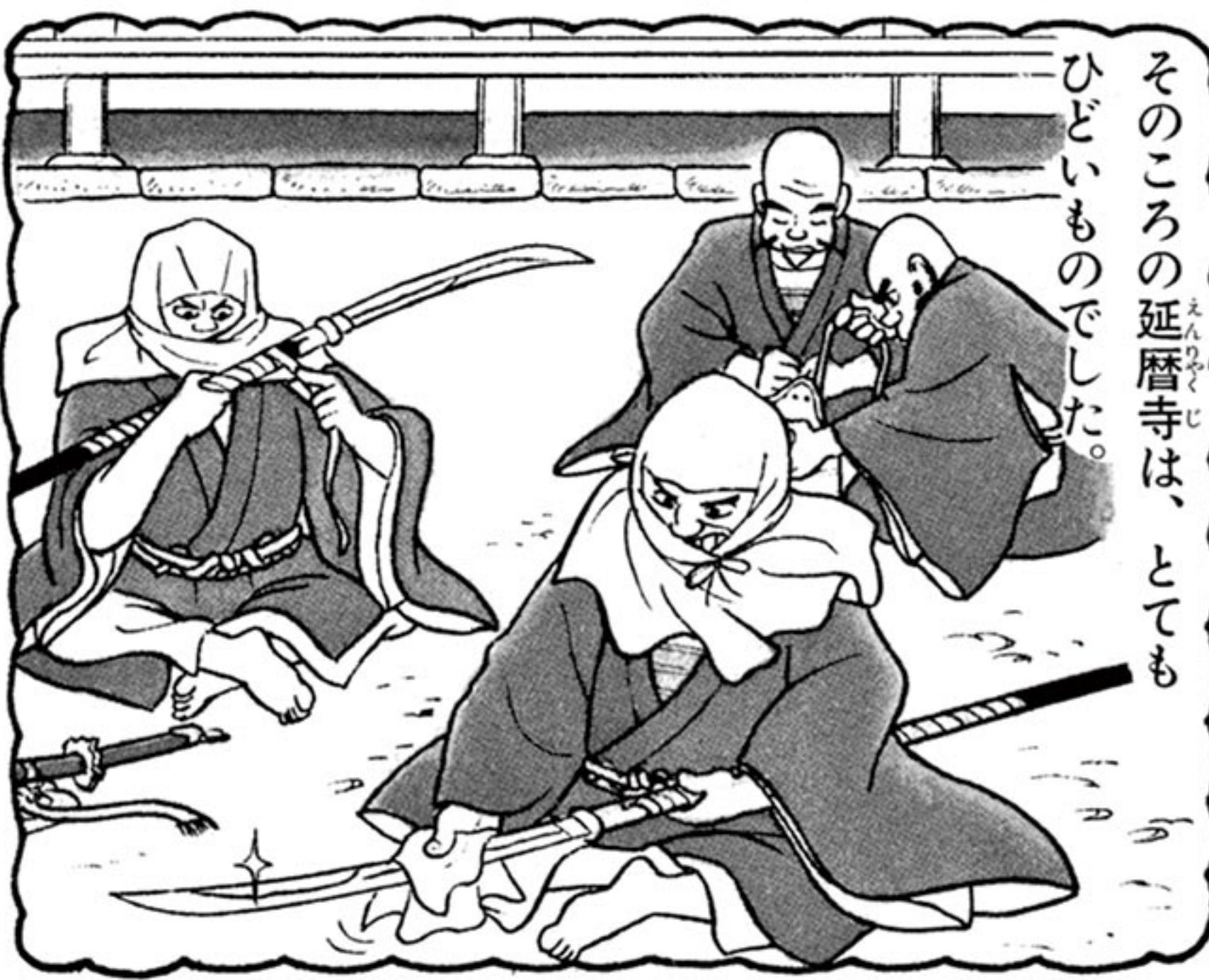




\* 美作：岡山県の北部



\* ばだいをとむらつ：死者が極楽浄土に生まれかわることをいのこと。





\*興福寺：藤原氏の氏寺。



念仏の教えは、多く  
の人的心をとらえ、朝  
廷の中にも、広まつて  
いきました。

一一〇五年十月、奈

良の興福寺



この前の  
延暦寺の  
うつたえで、  
そうしないと  
ちかつた  
のに。

けしからん。  
法然らは、  
朝廷をも  
うごかして、  
念仏だけを  
広めようと  
している。



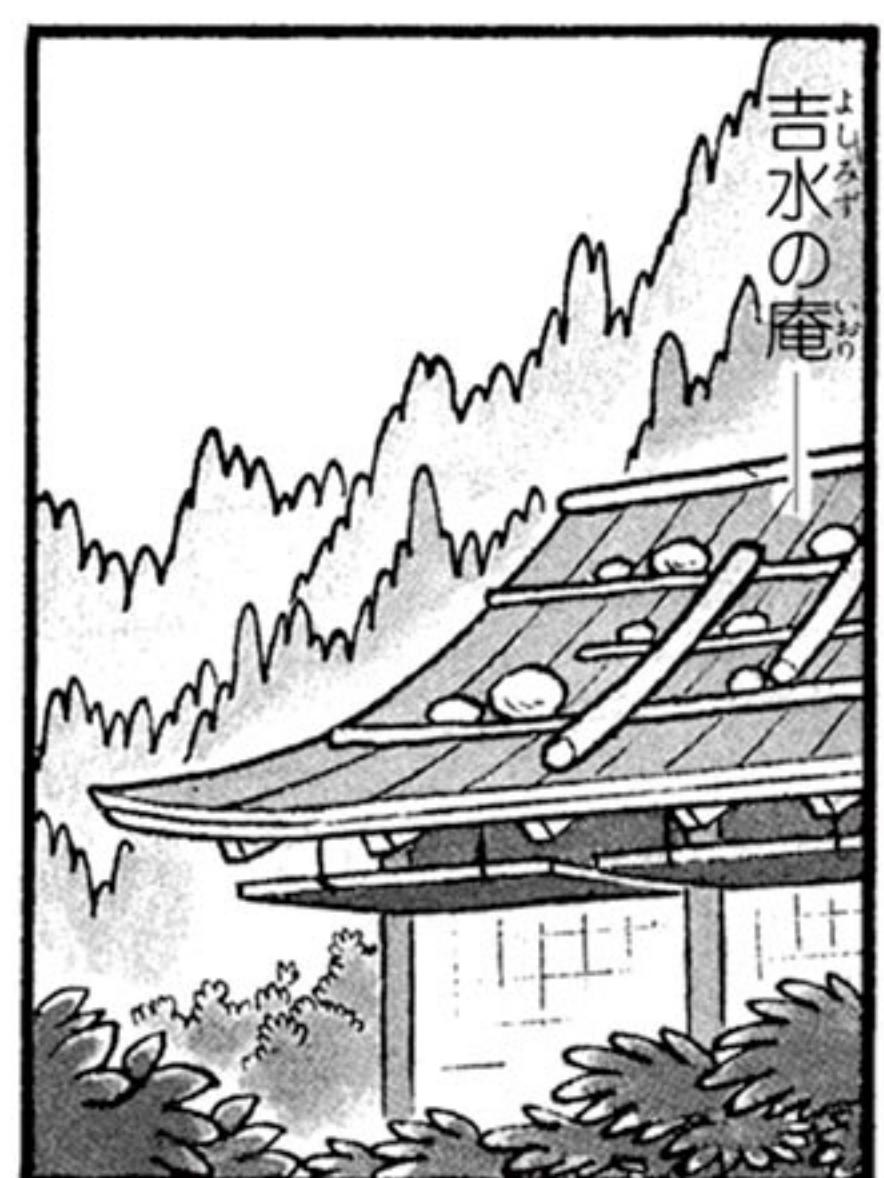
よし、  
朝廷に  
強訴  
しよう！

朝廷は  
何をして  
いる。  
念仏宗を  
とりしまら  
ないのか！



いや、  
信心のおもむく  
ところ、念仏は  
何度も  
よいし、そう  
あるべきだ。  
多念じや。

阿弥陀の信心は、  
一度の念仏で  
よいのじや。  
一念じや！  
となえればよい。



吉水の庵

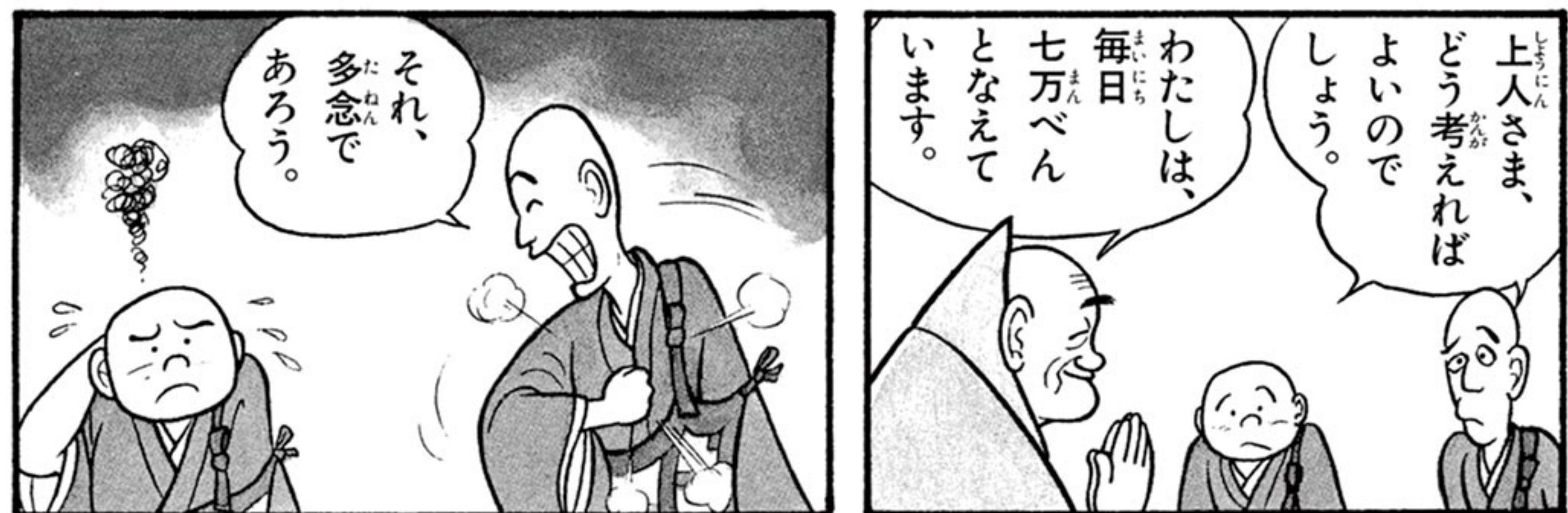


\* 檢非違使：警察や裁判の仕事を行う

官職。

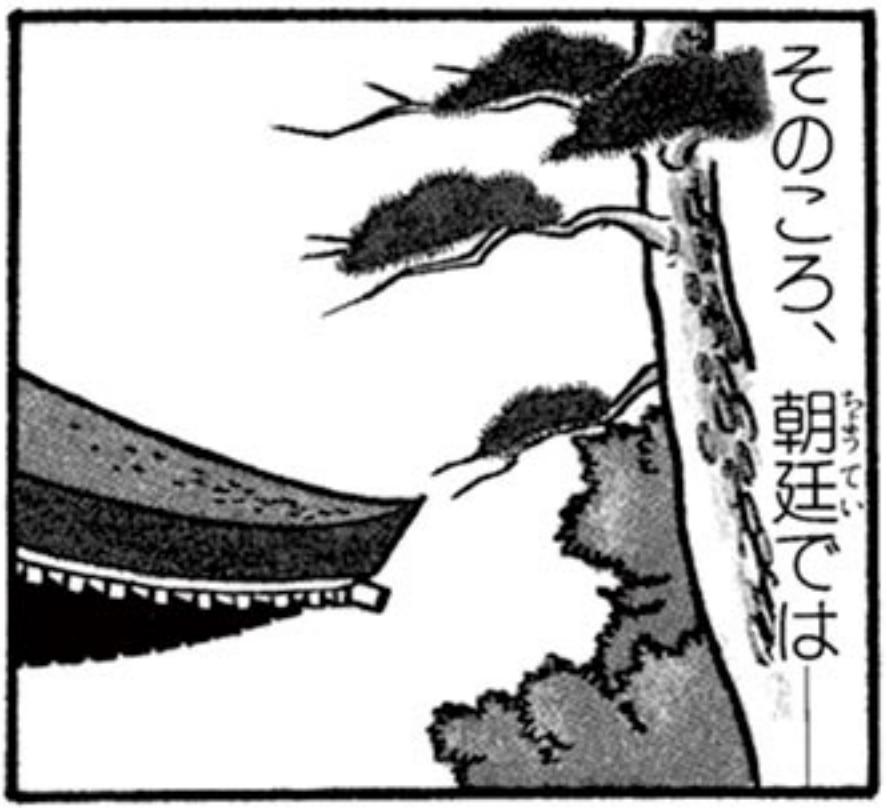


せんじつ  
先日も検非違使につかまつた



上人さま、  
じょうにん

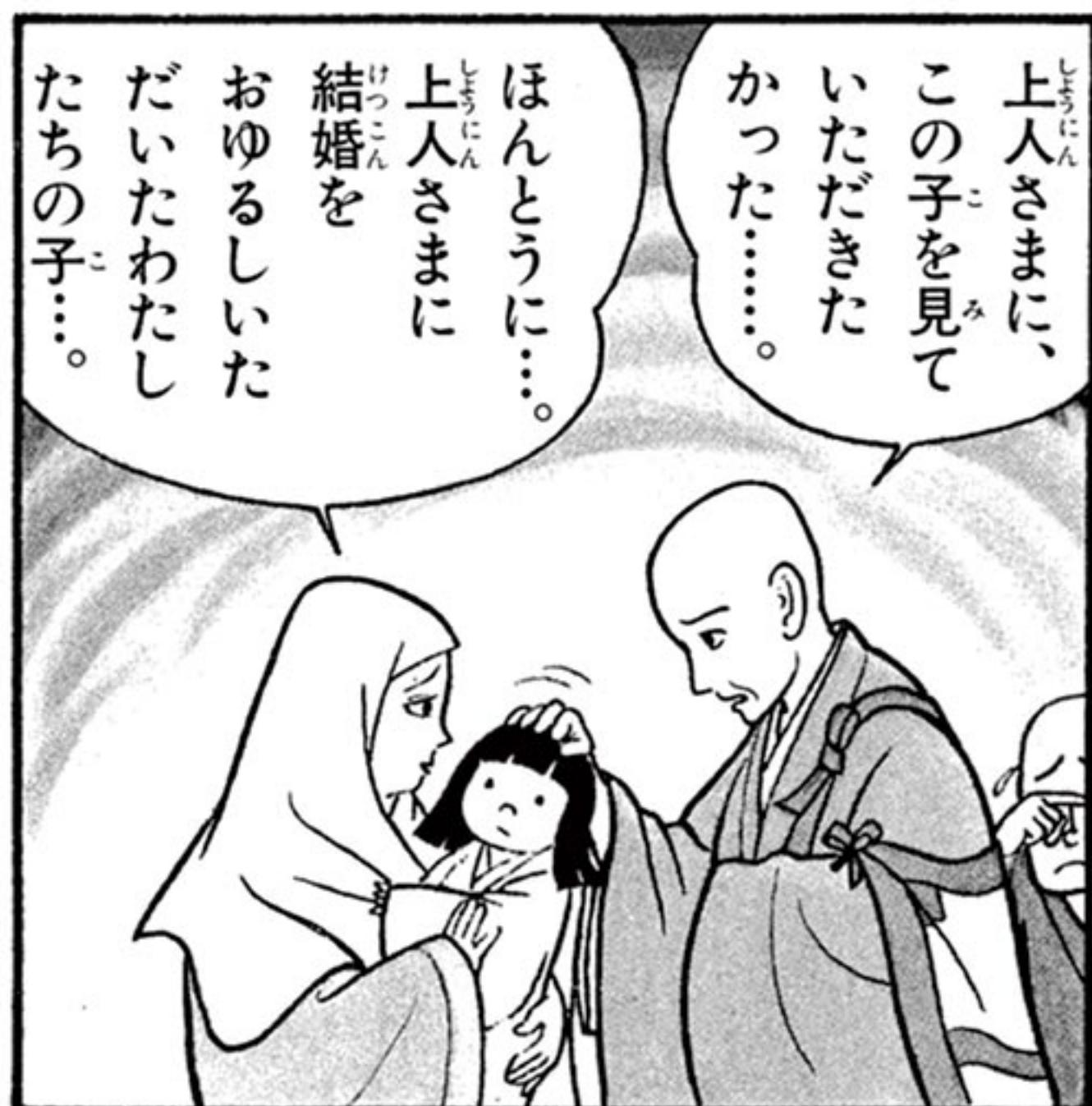
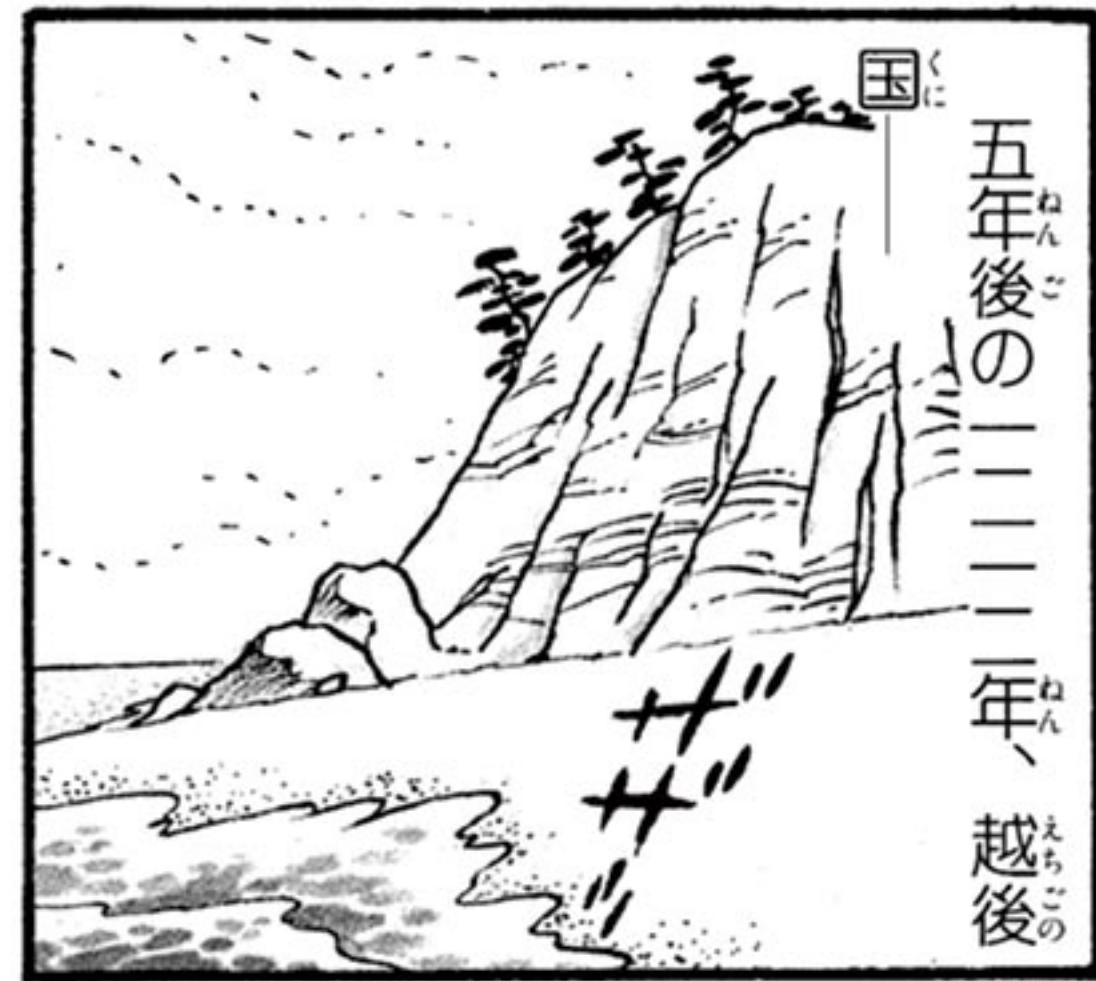




\* 越後：佐渡をのぞく新潟県の大部  
分。

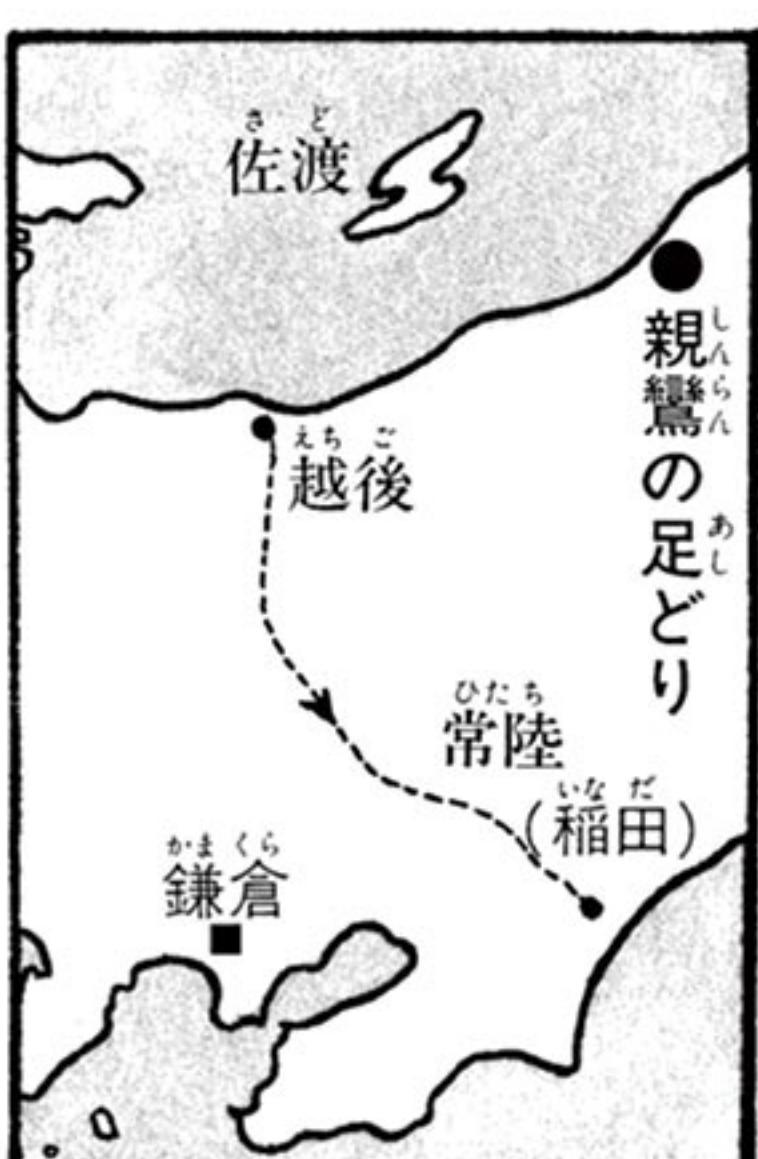
\* 讀岐：香川県



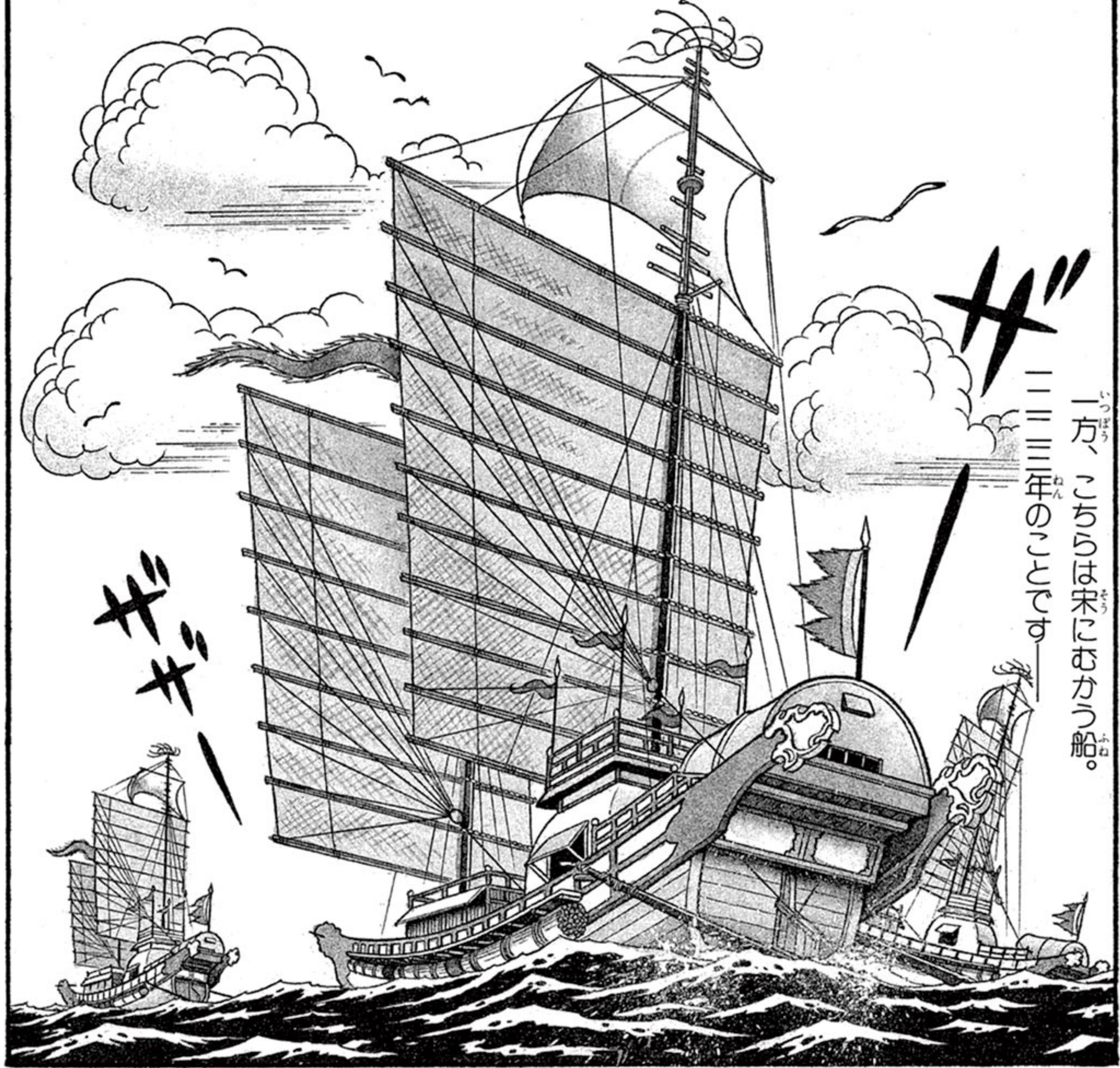


\*常陸・茨城県

\*稲田・茨城県笠間市稲田



\* 栄西(えいさい)一一四一～一二一五年(ねん)：鎌倉時代の禅宗(せんしゅう)・臨済宗(りんざいしゅう)をひらいた僧。「よつさい」ともいう。



一方、こちらは宋(そう)にむかう船(ふね)。  
一二三(いっさん)年のことです



わたしは、朝廷で大きな力をふるつていた貴族の家に生まれました。

といつて、念佛をとなえる気にもなりませんでした。そのとき、世の無常を感じたのです。で、十三歳のとき出家して、延暦寺にのぼつたのですが、そのひどさに失望しました。

しかし、三歳のとき父を、八歳のとき母をなくしました。

禅についてくわしくお聞きしたいと、おうかがいしたのです。

禅は、修行によってさとりを得るものです。

そうです

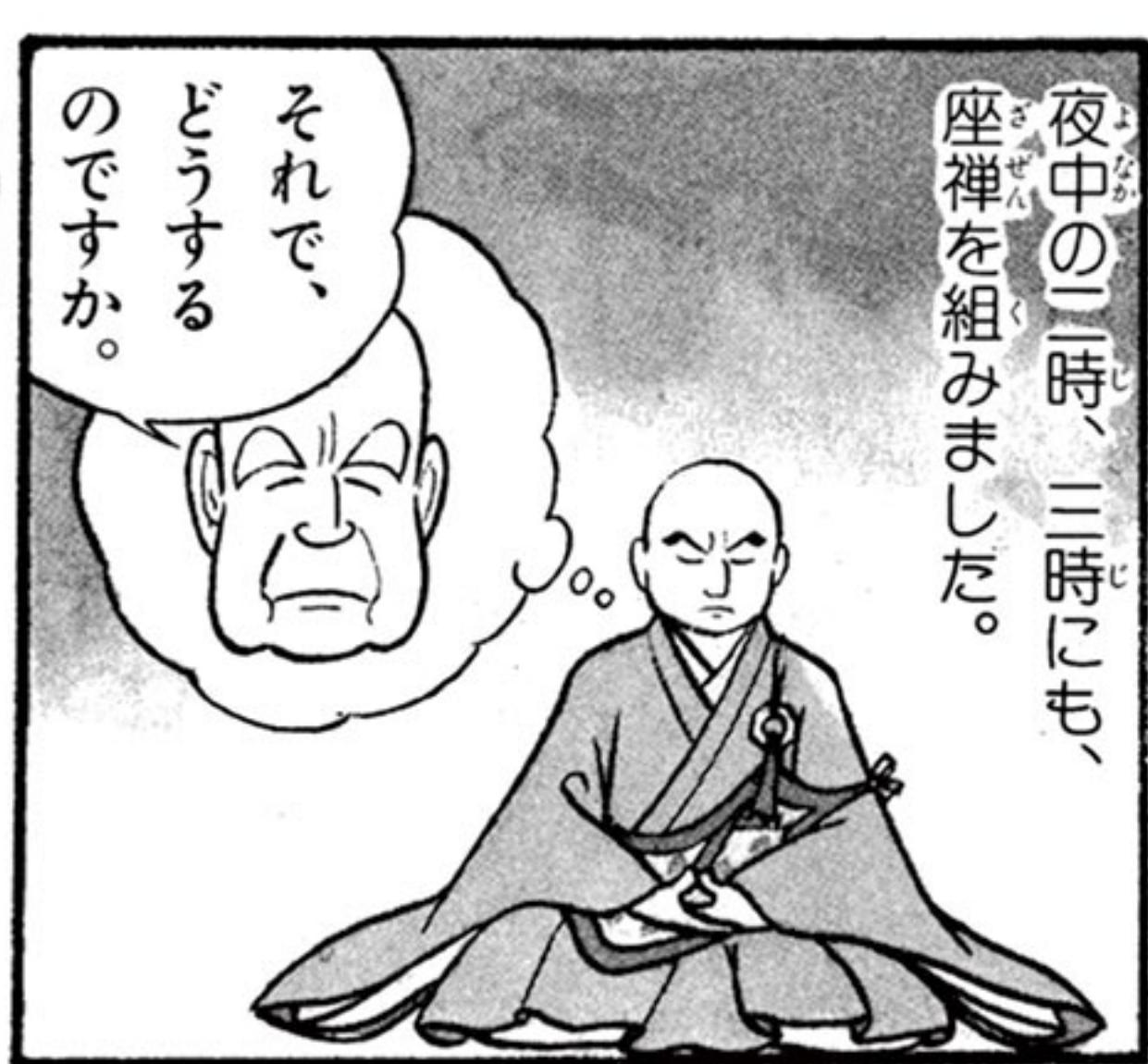
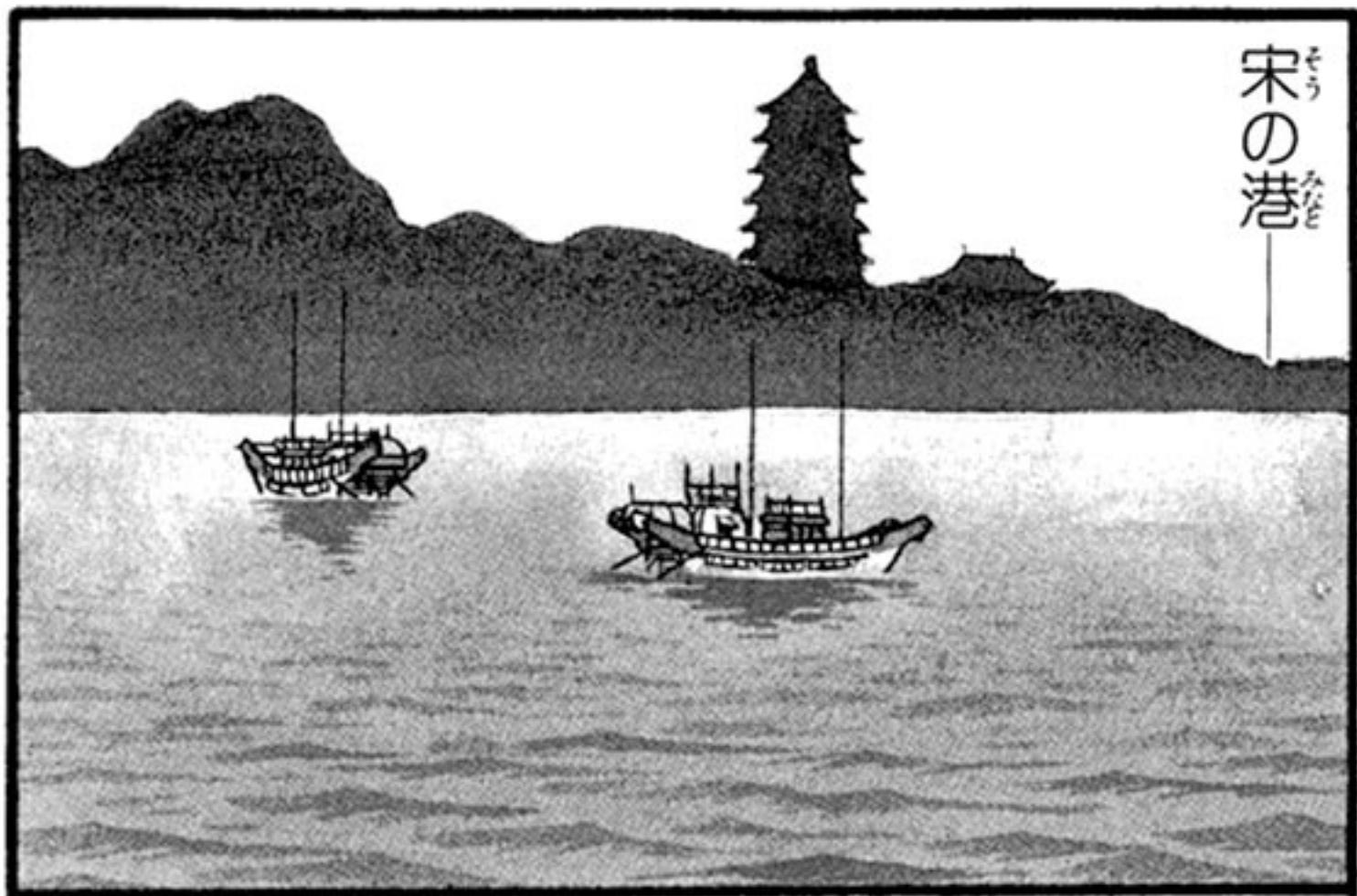
あのときからです。宋の国の禅宗を、この目で見たいと思つたのは……。

宋の国には、禅宗といつても、いろいろな宗派があると聞いています

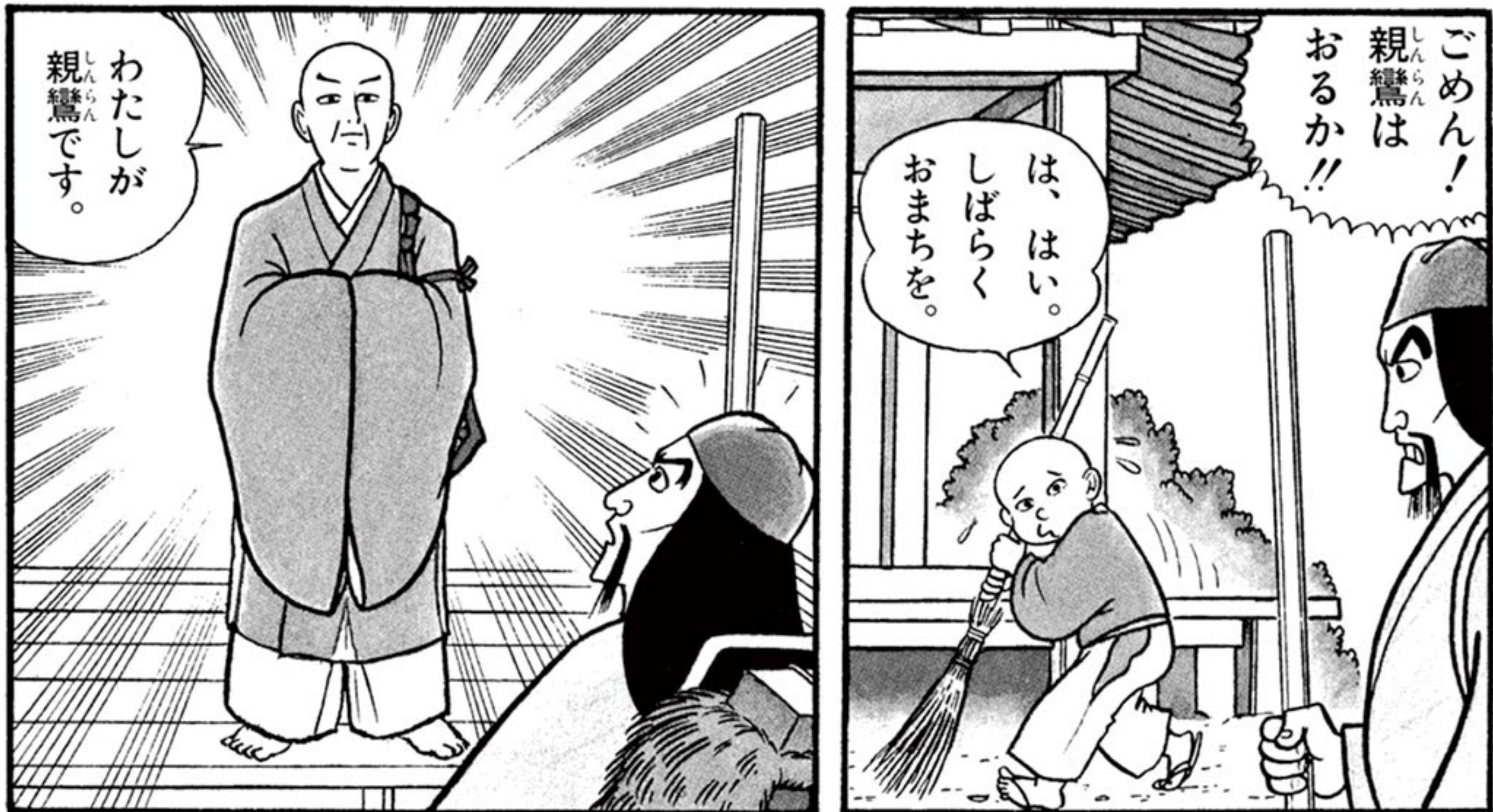
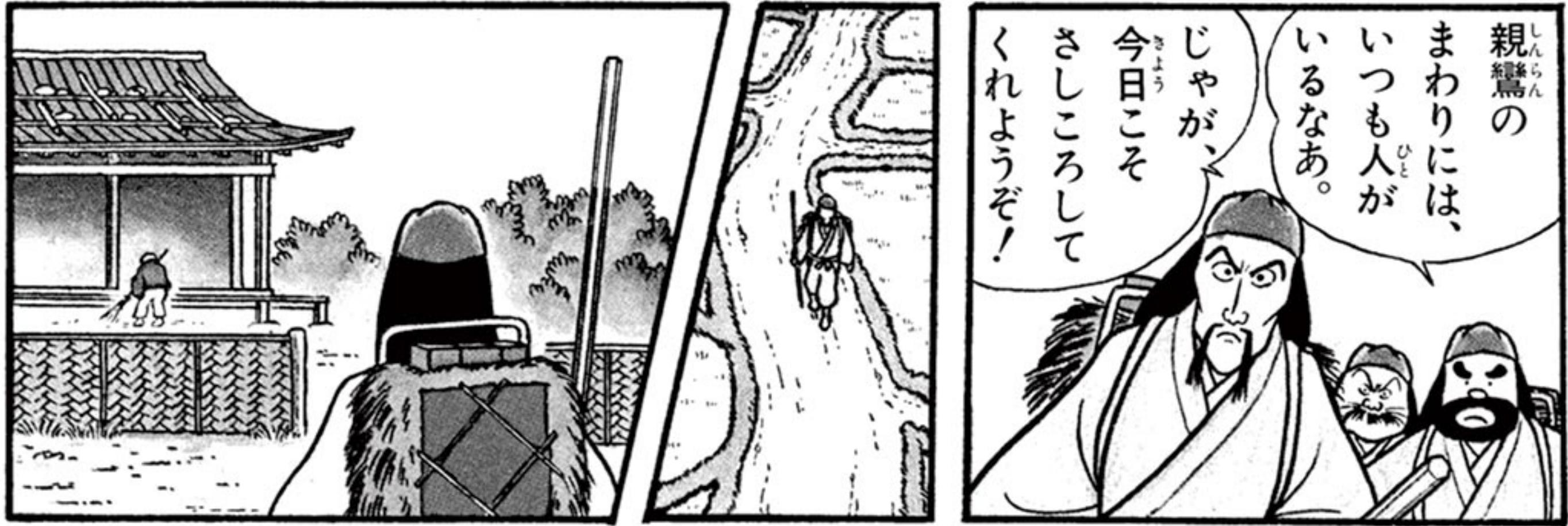
わたしとて同じことじや。

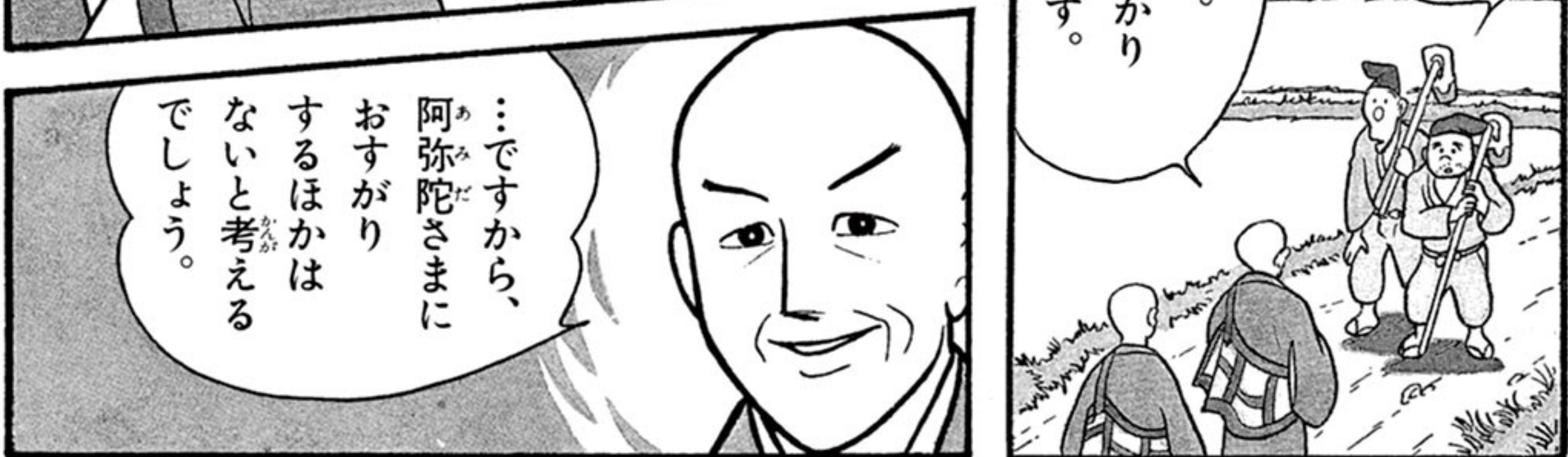
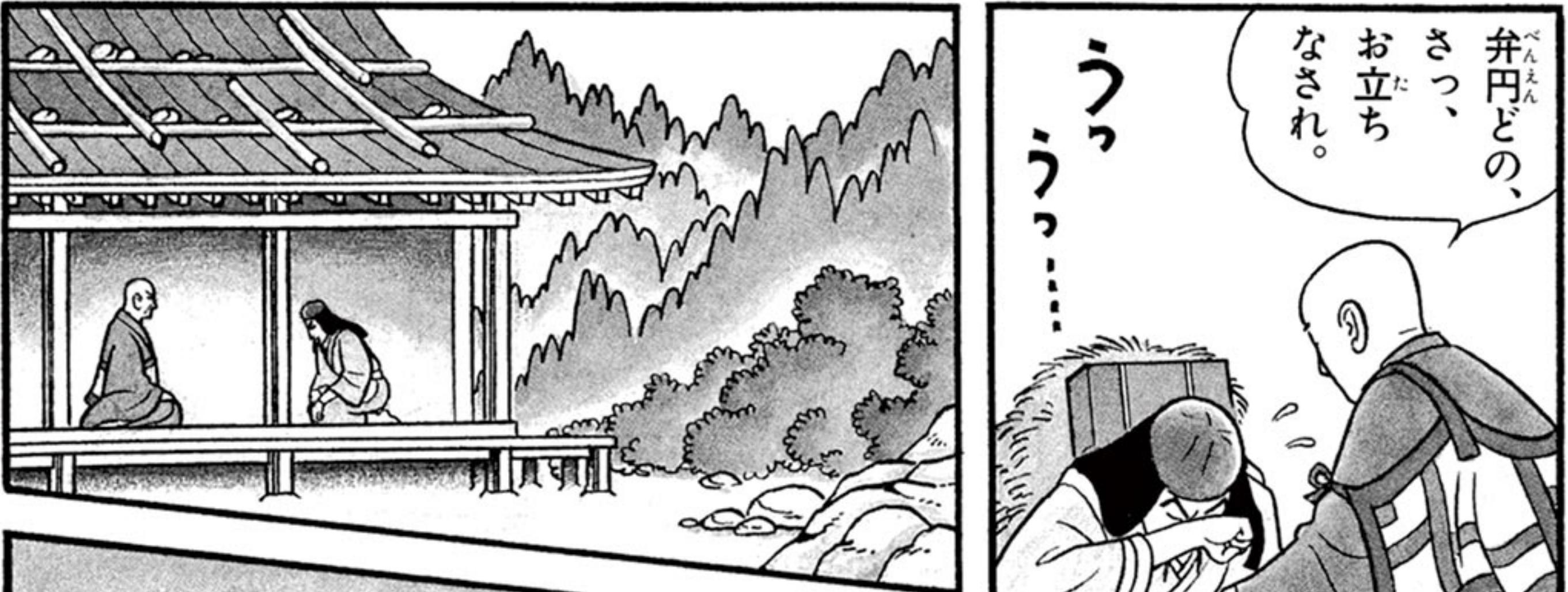
わたしは、師の栄西のあとをたどつてみたい。  
禅宗のほんとうのすがたを、見きわめたいと  
思います。

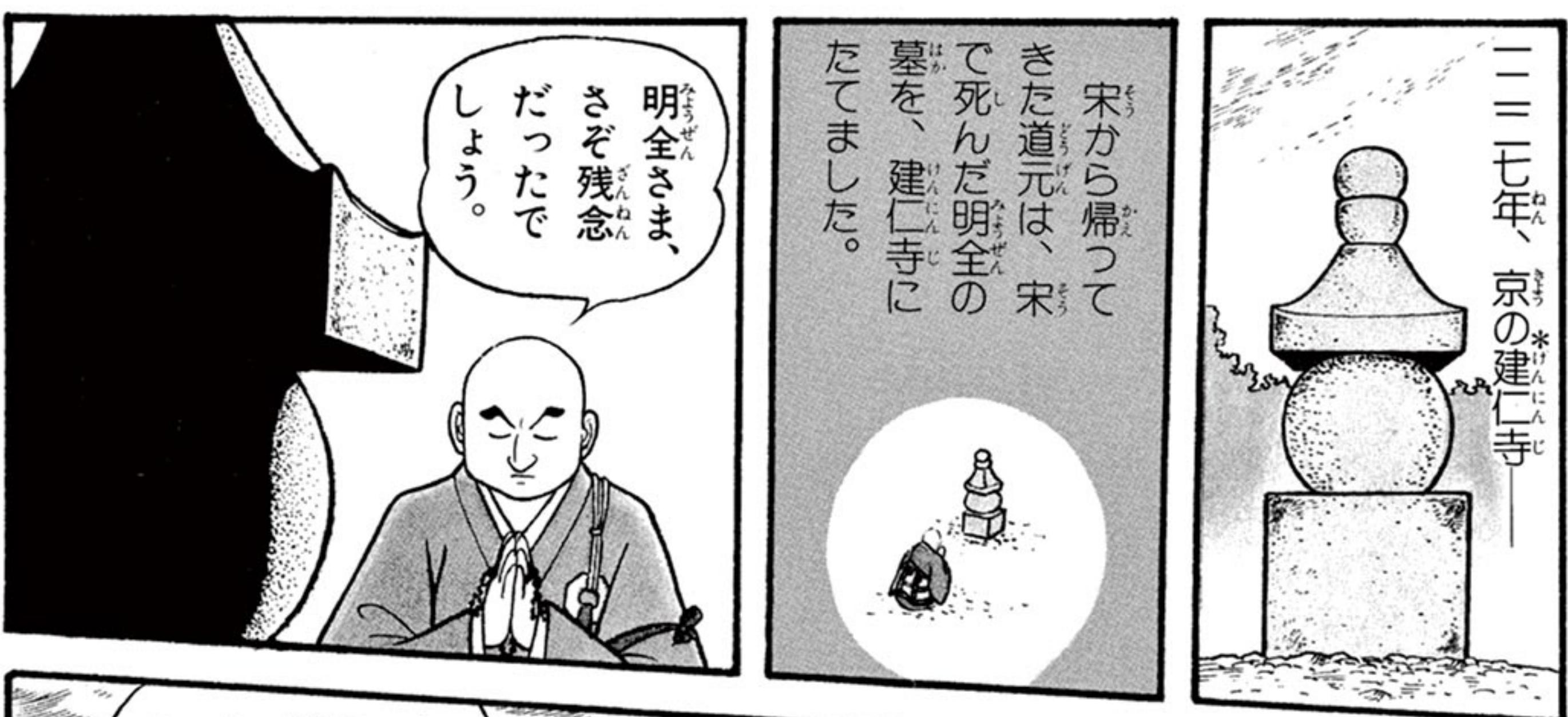
「どうぞ」「どうぞ」

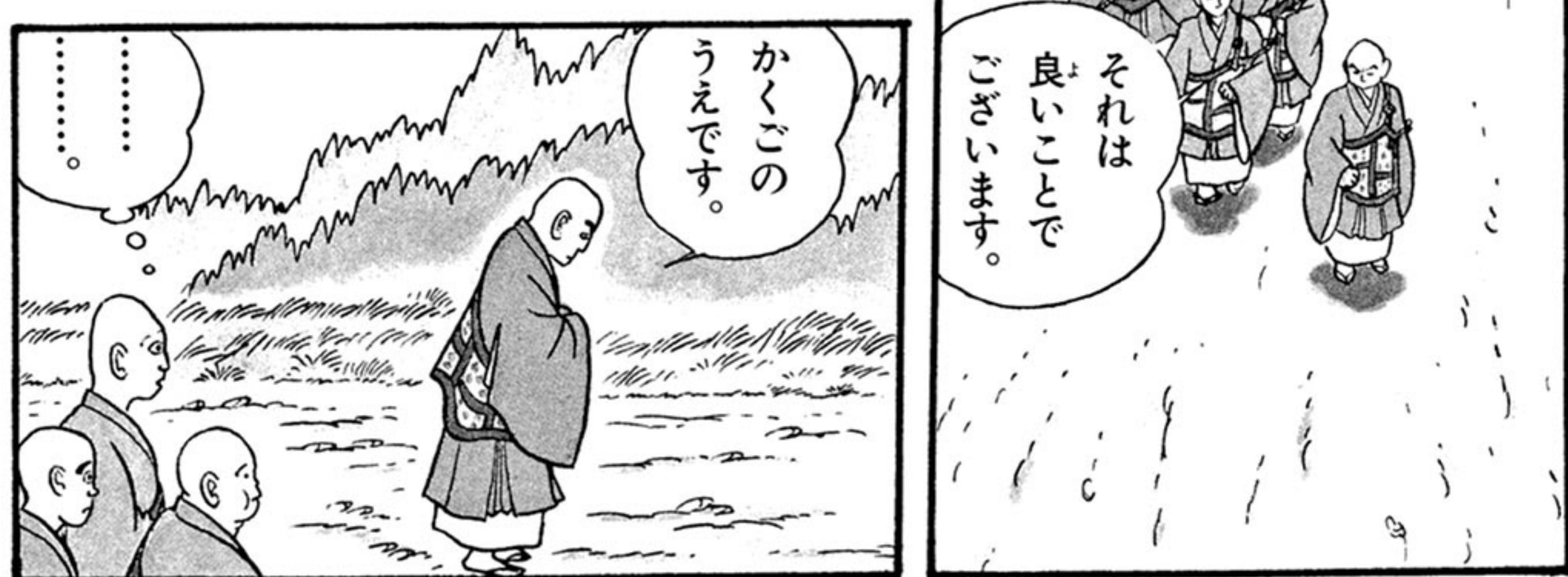


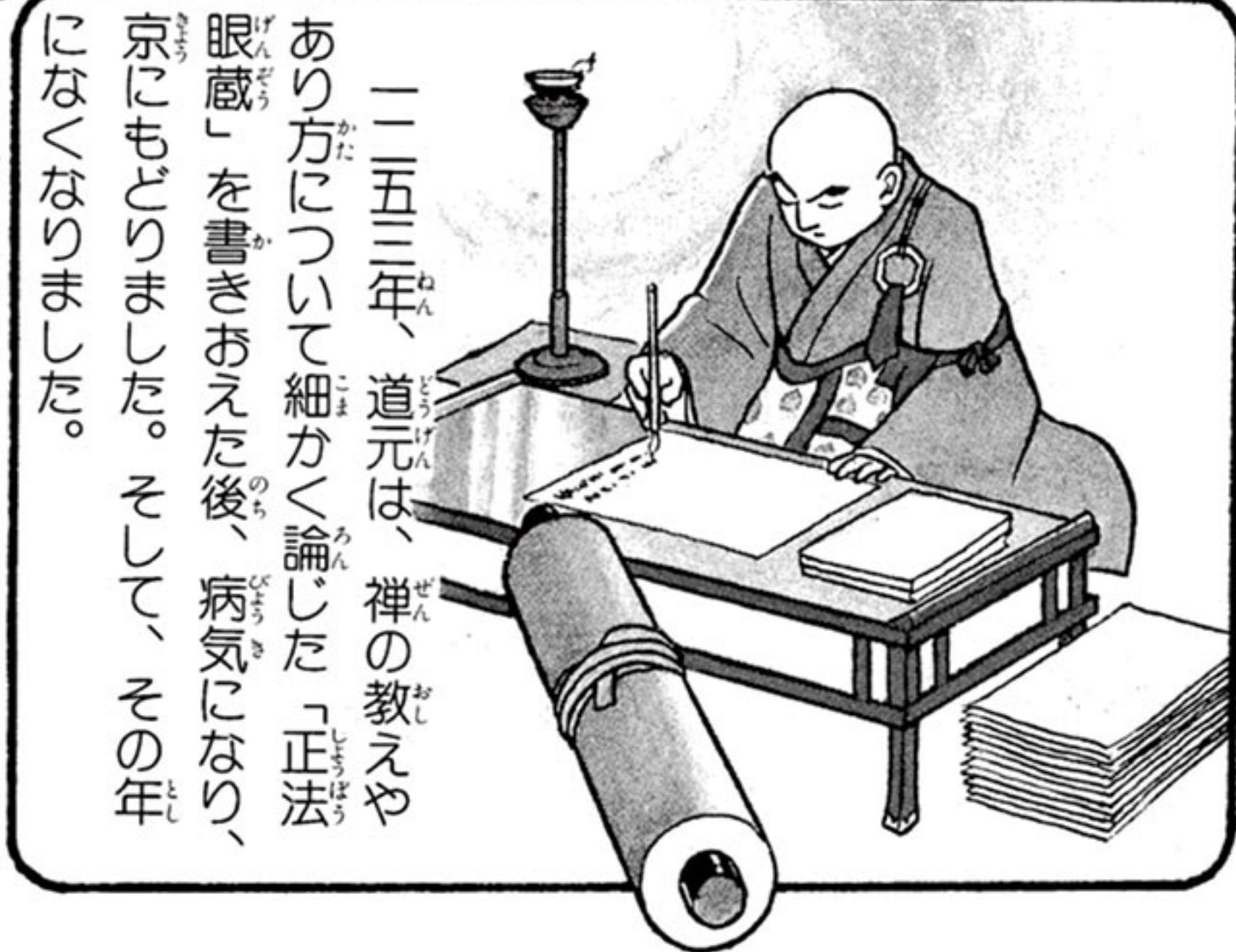






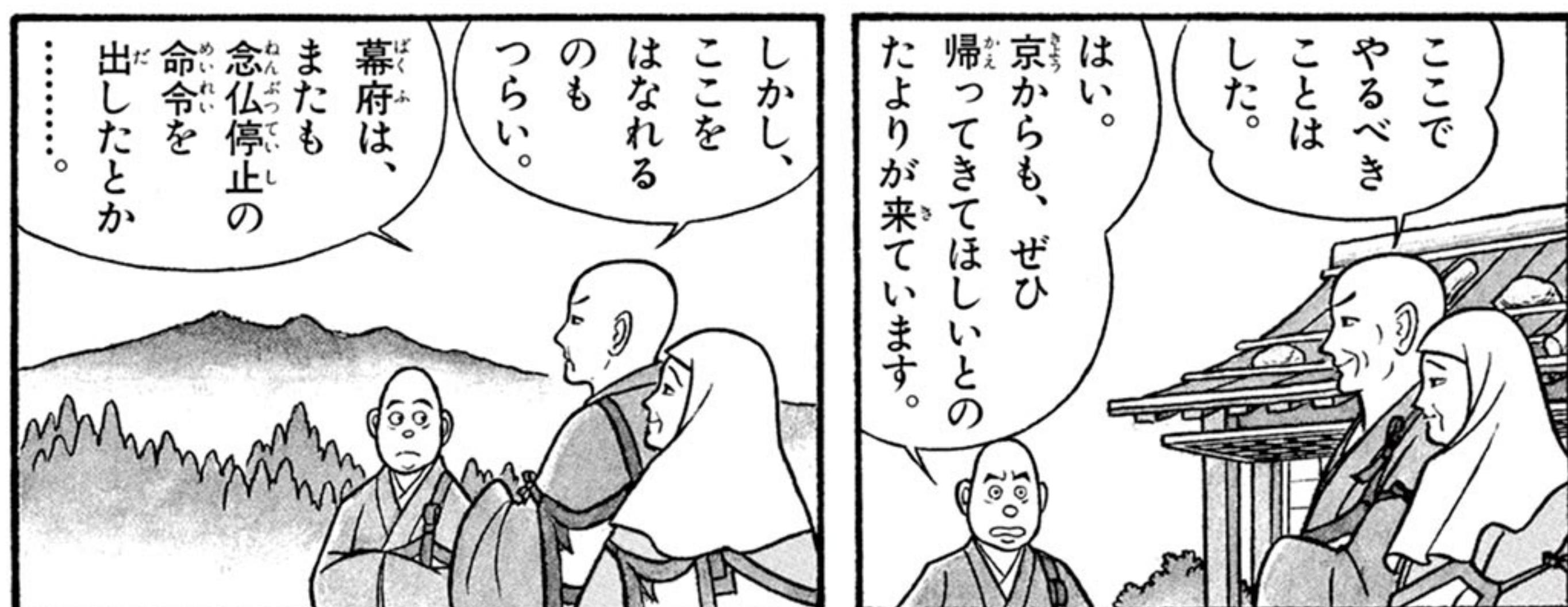






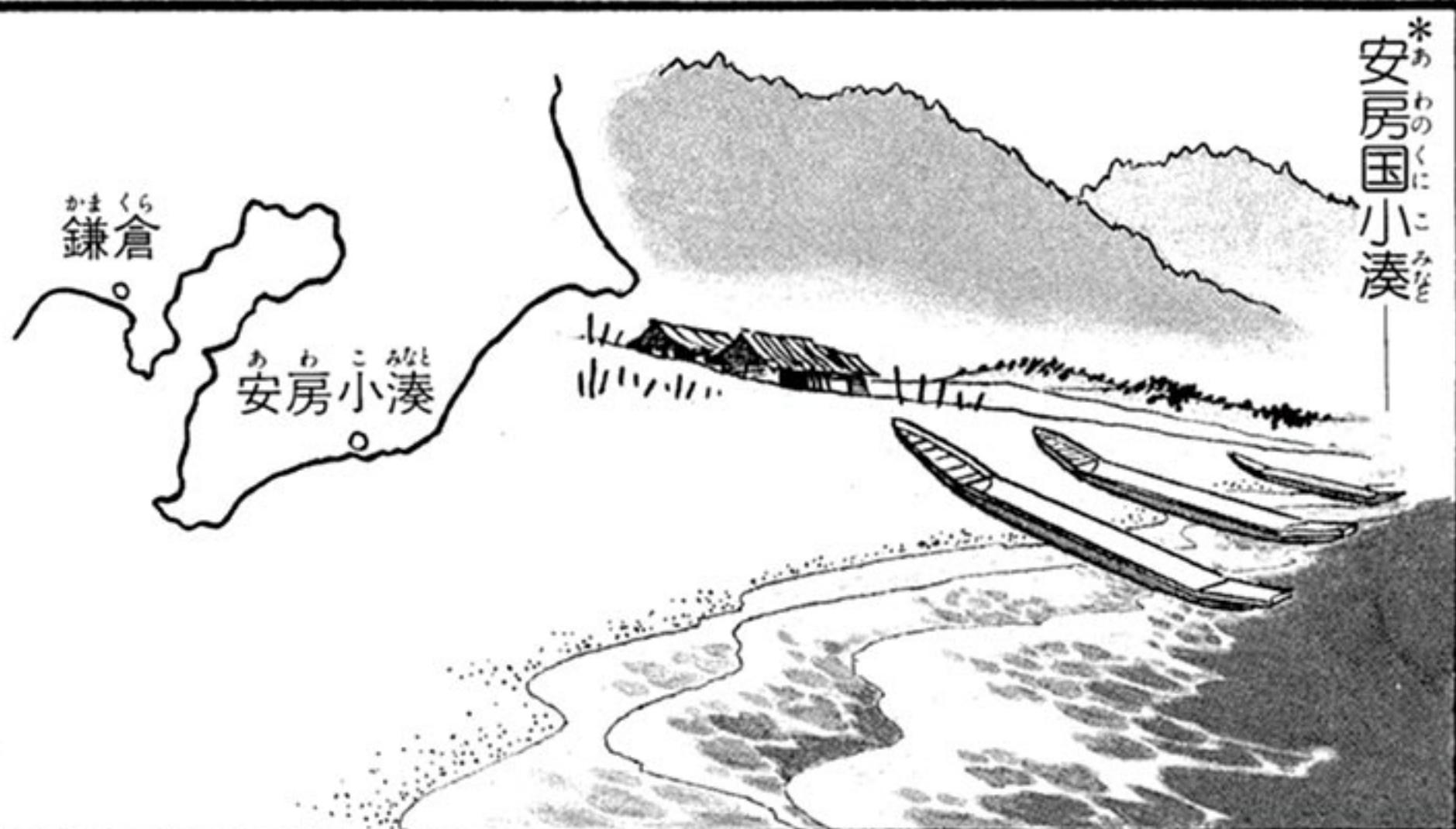
すすめで、六波羅の武士越前国志比庄にうつり、大仏寺（後の永平寺）をたてました。



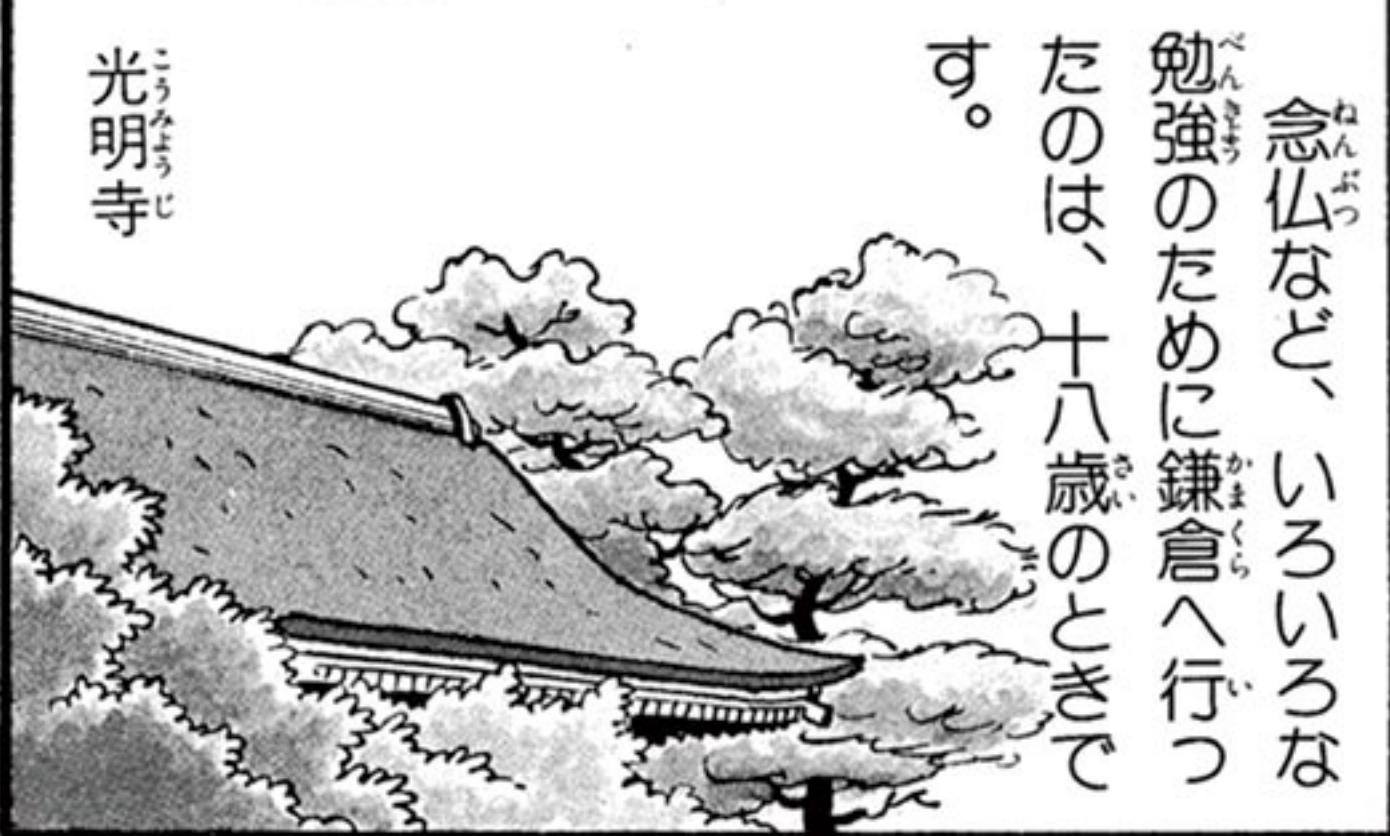


\* 安房国 小湊：千葉県鴨川市小湊

ところで、法然、親鸞、道元などとならび、新しい仏教の創立者として有名なのが日蓮です。日蓮は、一二二一年、小湊の漁師の家に生まれました。道元が宋にわたる前年のことです。



光明寺  
勉強のために鎌倉へ行つたのは、十八歳のときです。



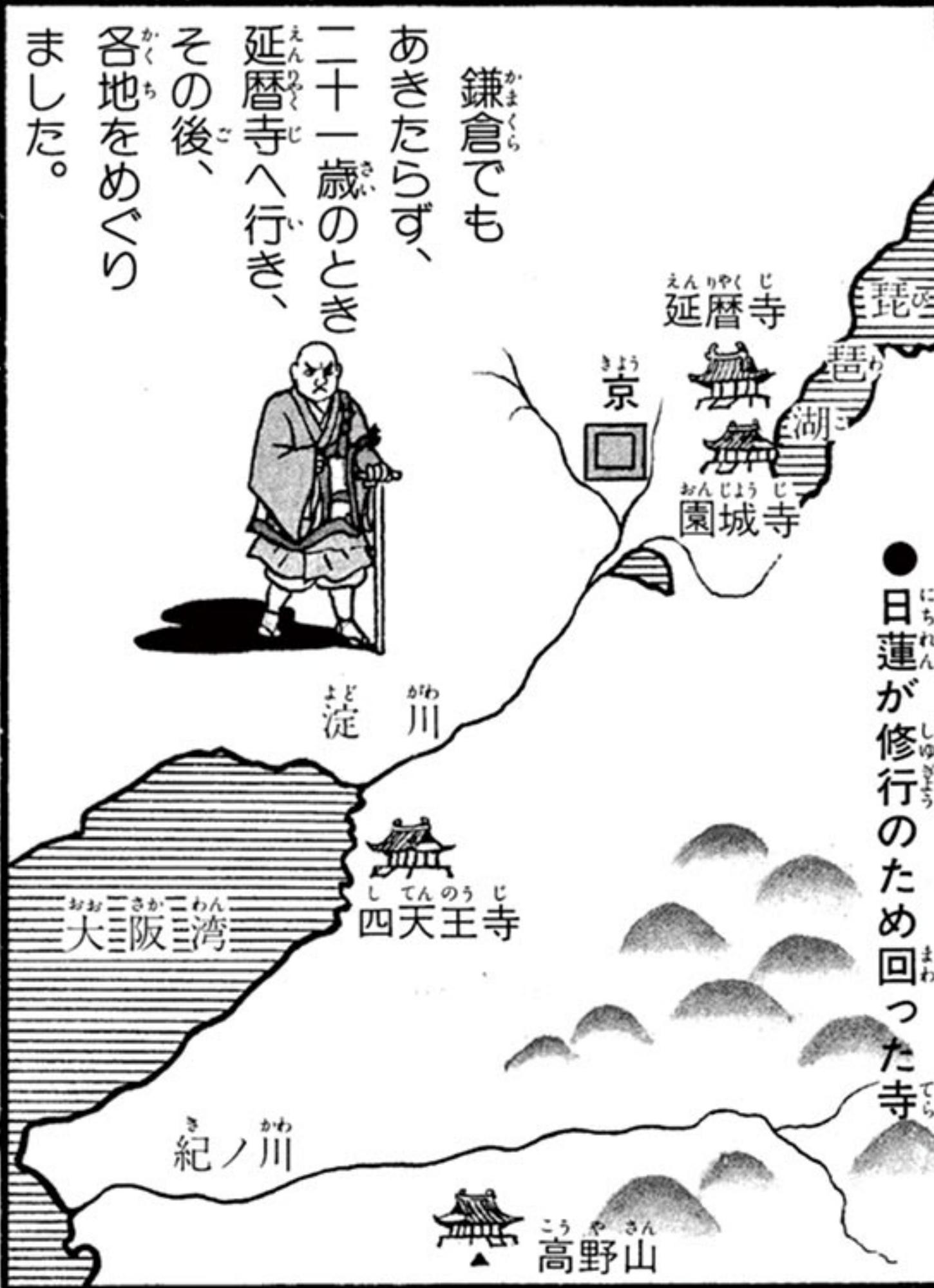
十一歳のとき、清澄寺にのぼり、十六歳で出家しました。



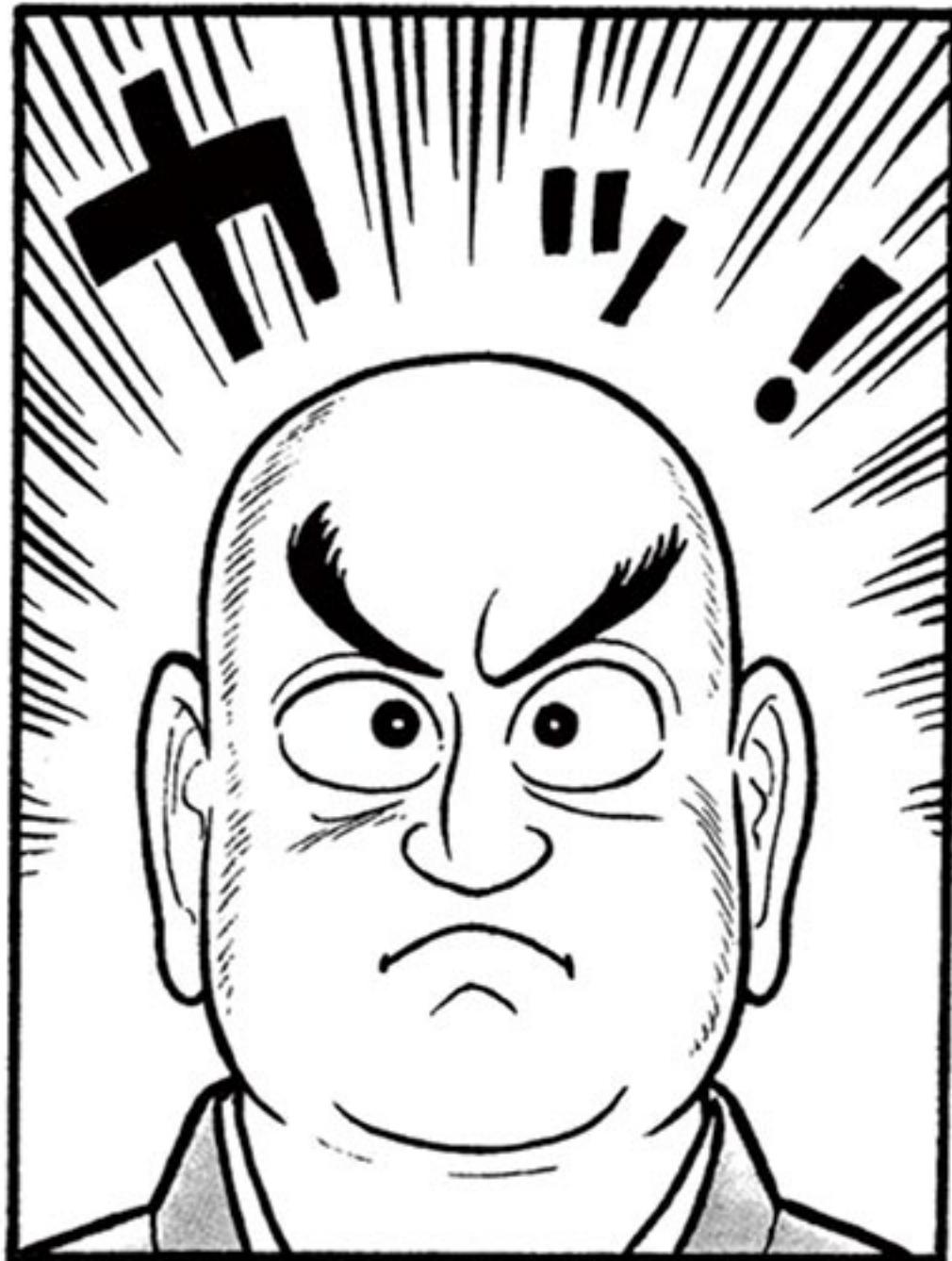
そして、清澄寺に帰つてきました。たのは、一二五三年。日蓮が三十一歳のときです。



鎌倉でもあきたらず、二十一歳のとき延暦寺へ行き、各地をめぐりました。



● 日蓮が修行のため回った寺





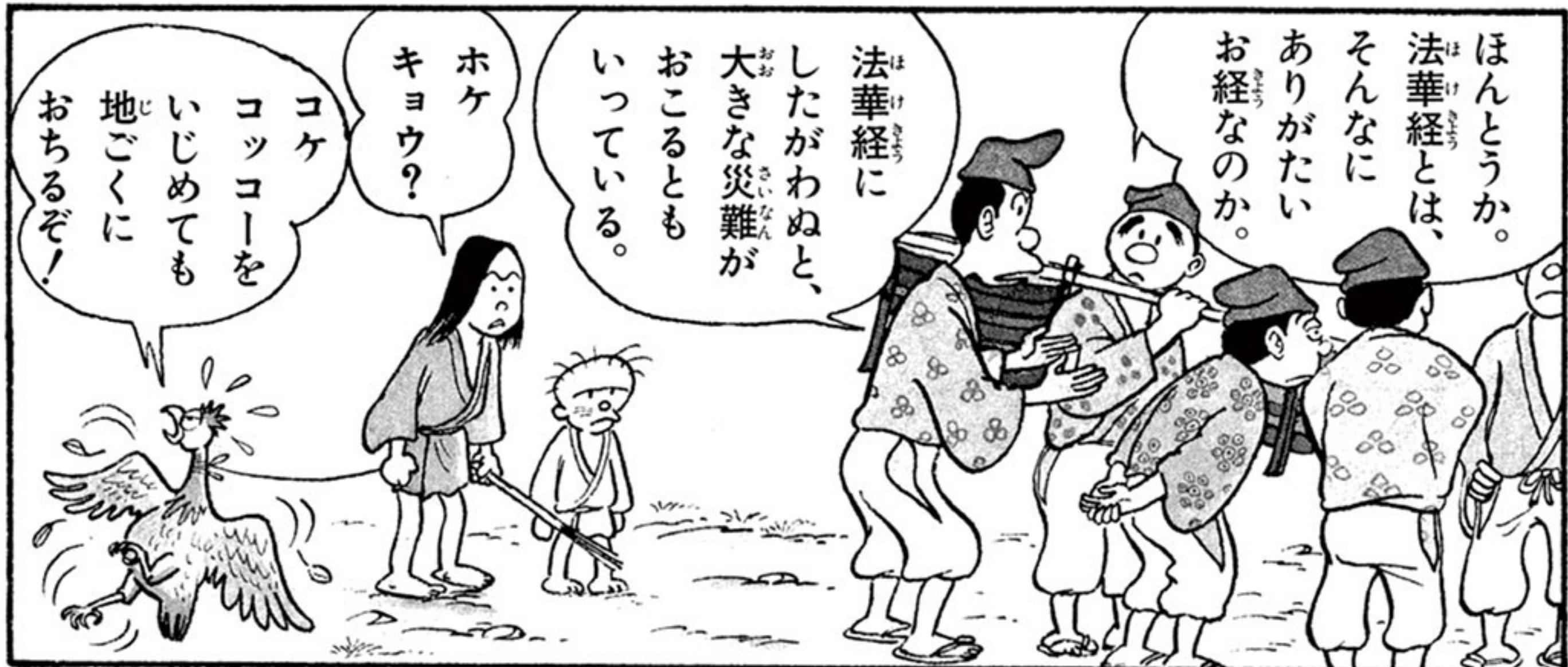
日蓮が教えを広めるためにとつた手段は、とても戦闘的でした。それは、他の宗派をついでに非難したり、幕府の政治まで非難するという方法でした。

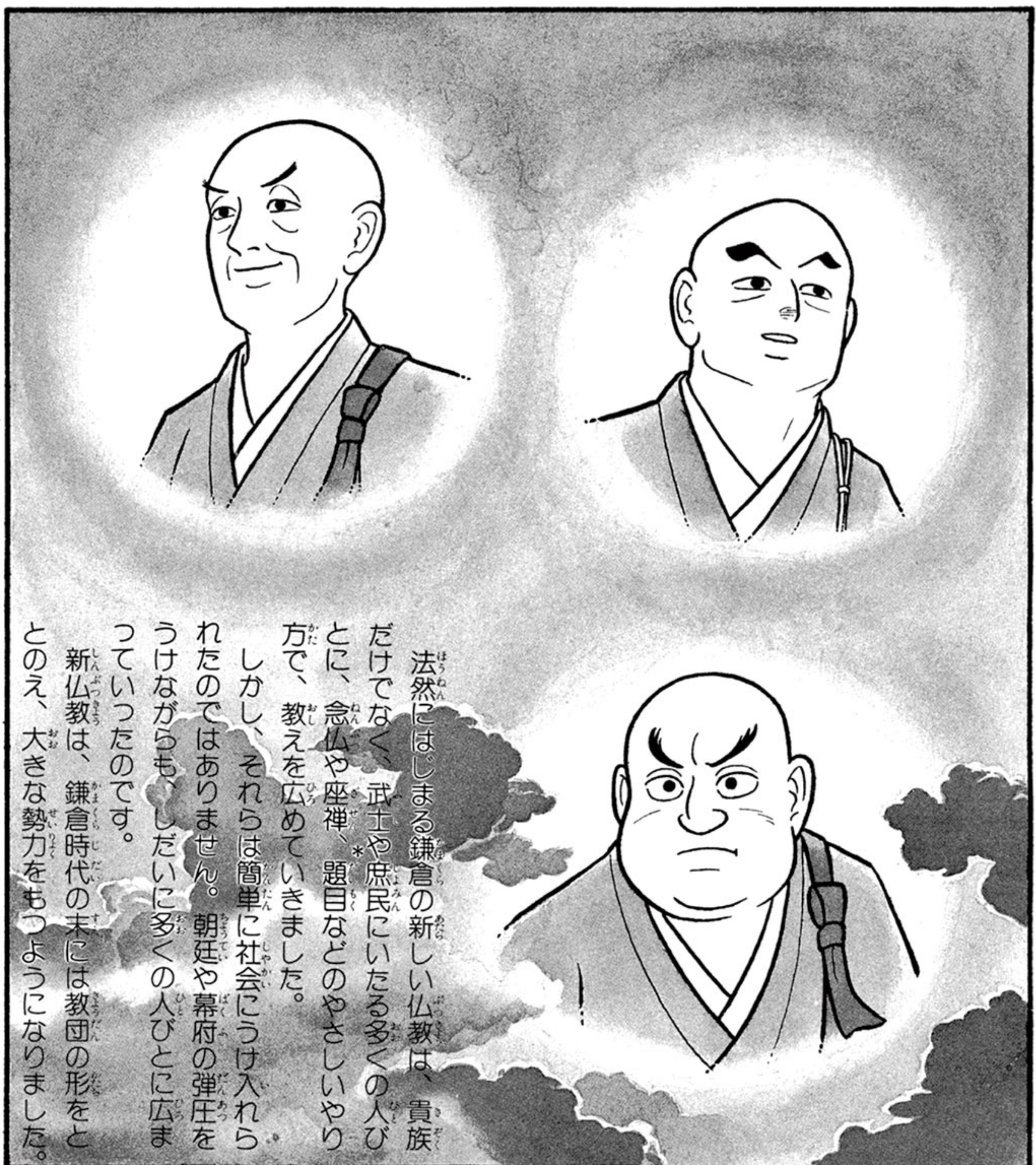
あれが、今度松葉谷に来た、日蓮とかいう僧か。

すいぶんいせいがいいのう。

法華経と  
法華經と  
さわいどる。







小学館 eBooks

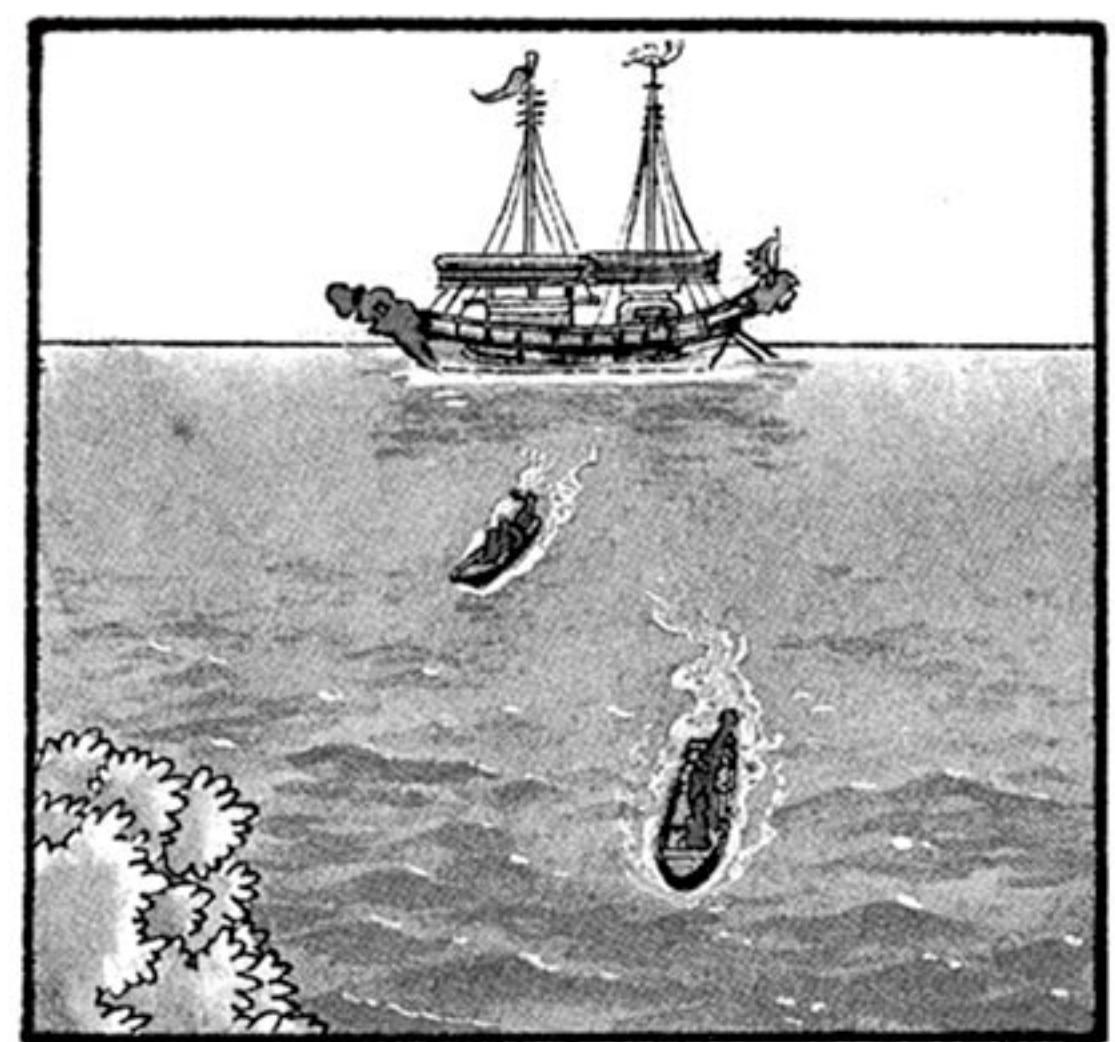
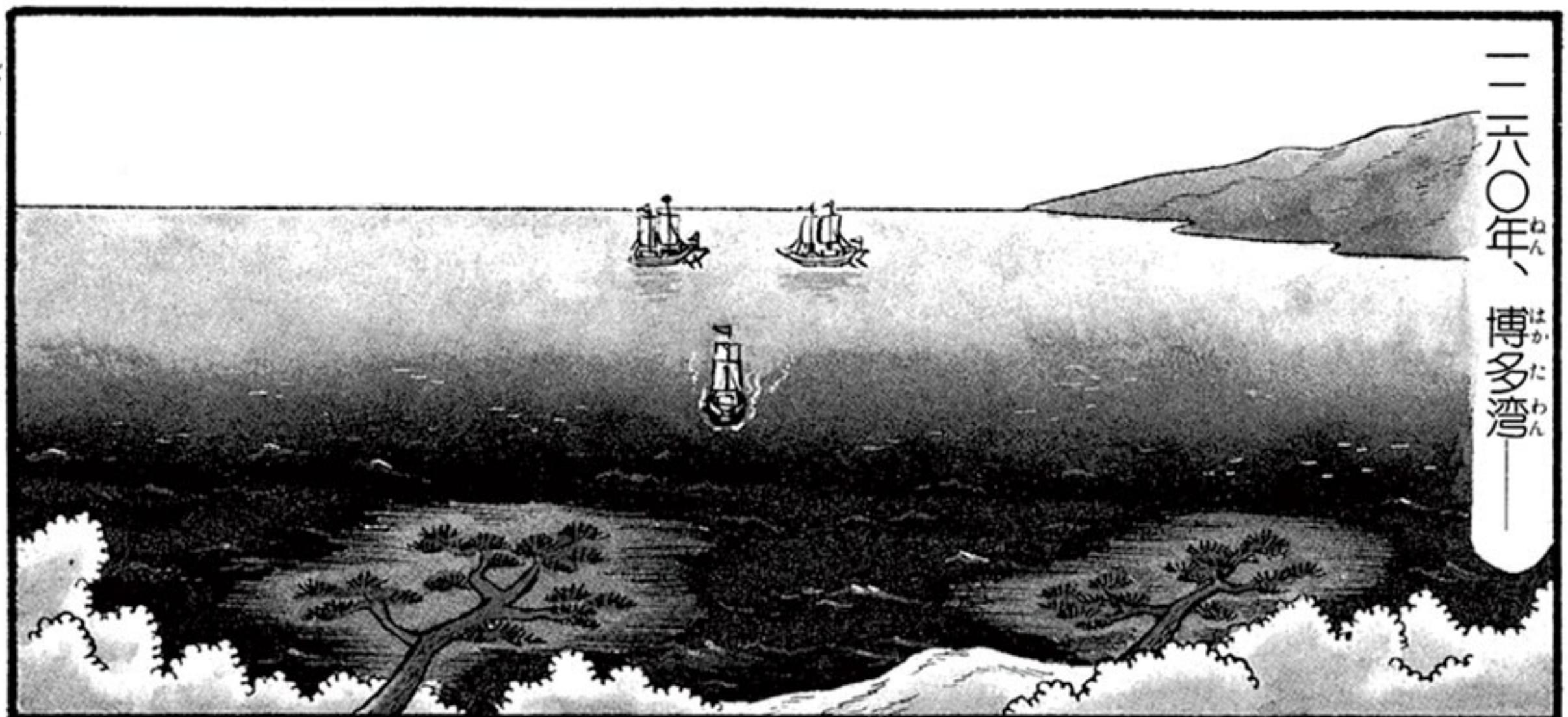
だい しょう  
**第四章**

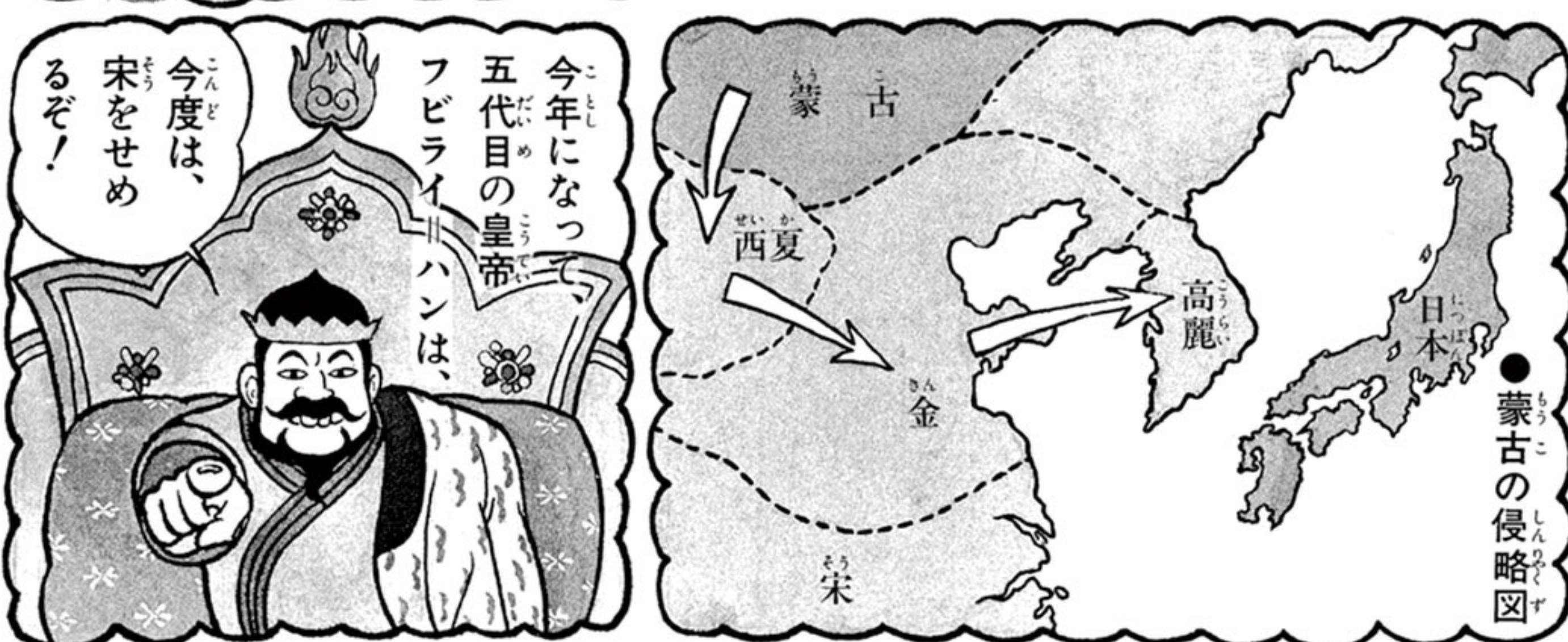
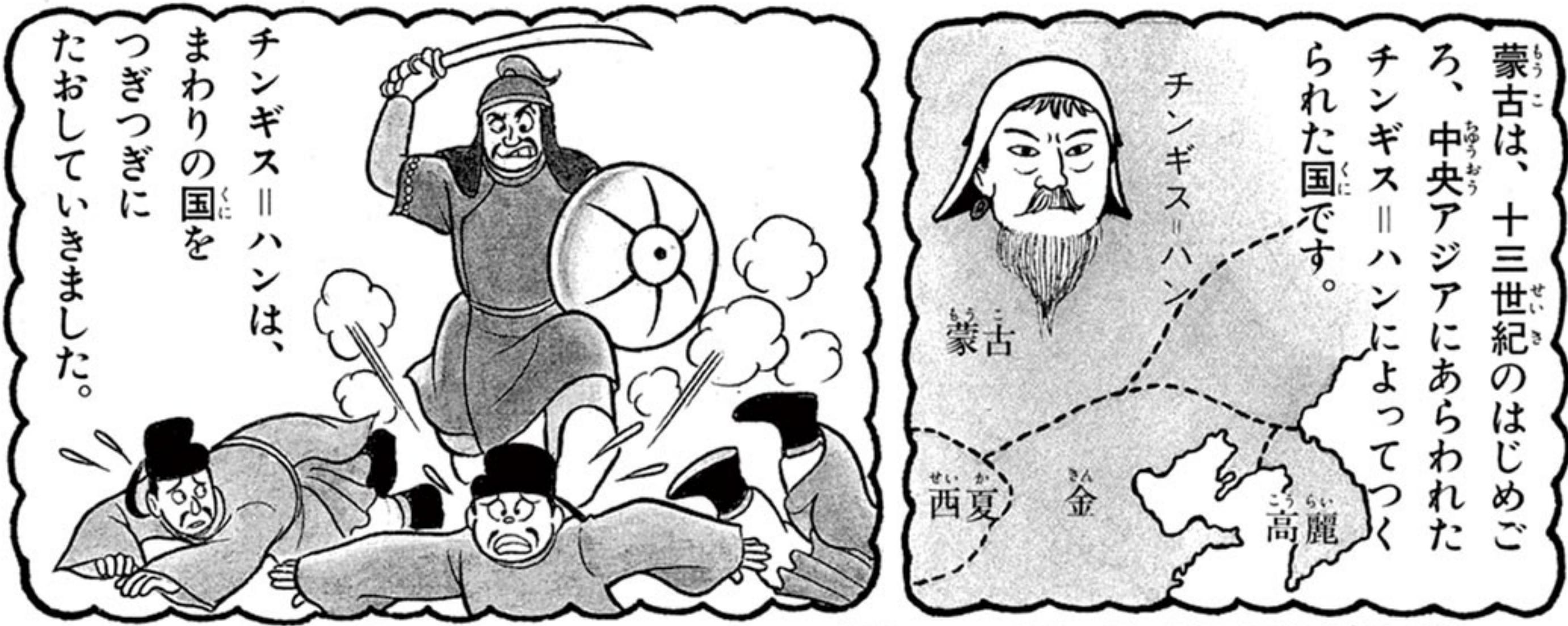
もう こ しゅう らい  
**蒙古の襲来**  
かまくら じ だい こう き  
——鎌倉時代後期——

一六〇年

博多湾

日本と宋の貿易は、いちだんと活  
発になりました。





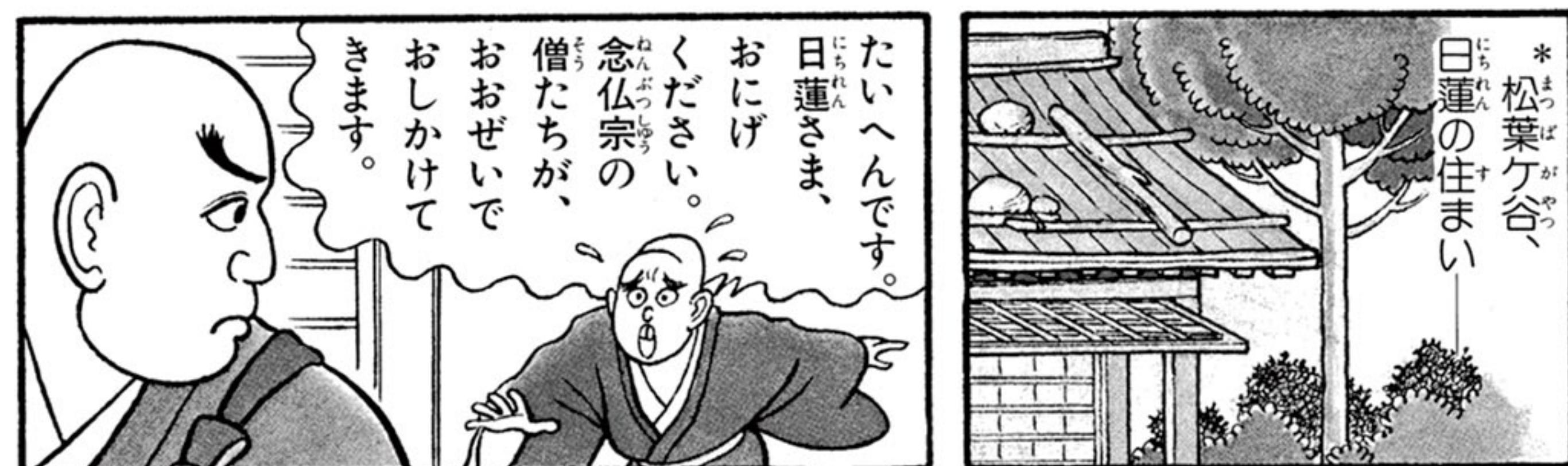
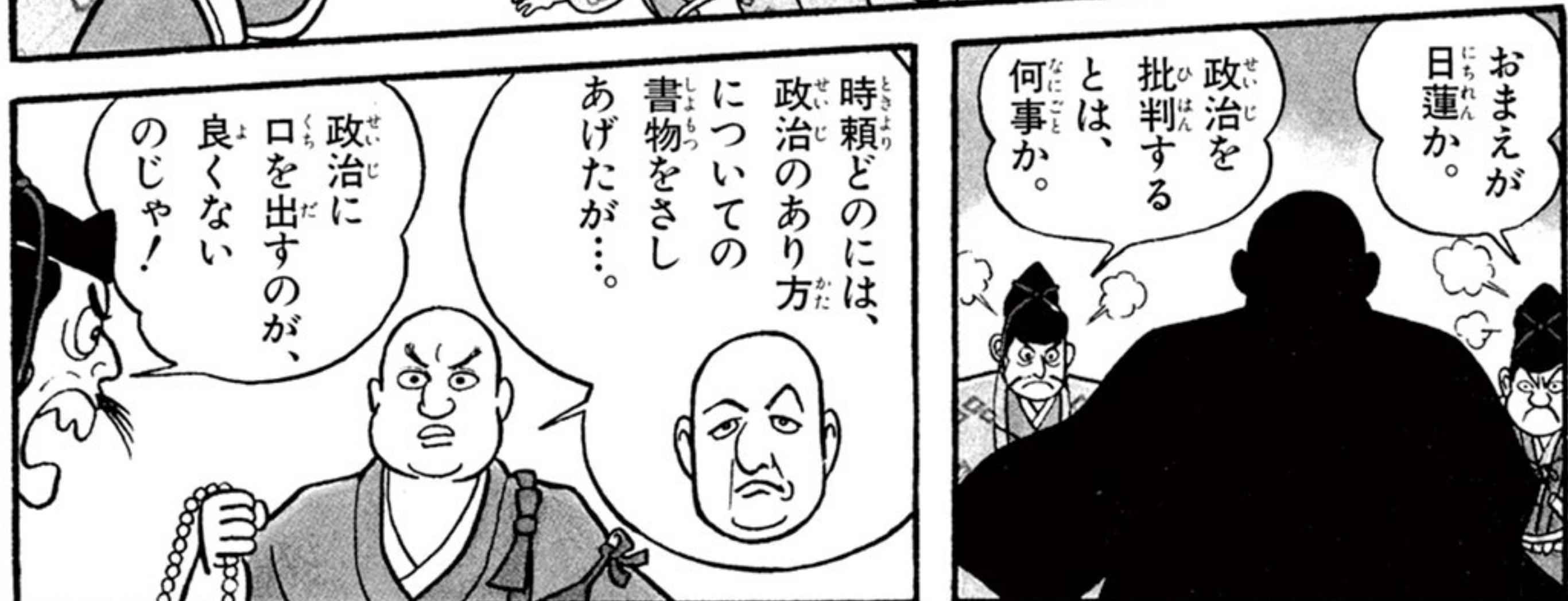


\*北条時頼：一二五六年に執権をやめて出家したが、幕府の実権はにぎつていた。

\*疫病：悪性の流行病。

伝染病。

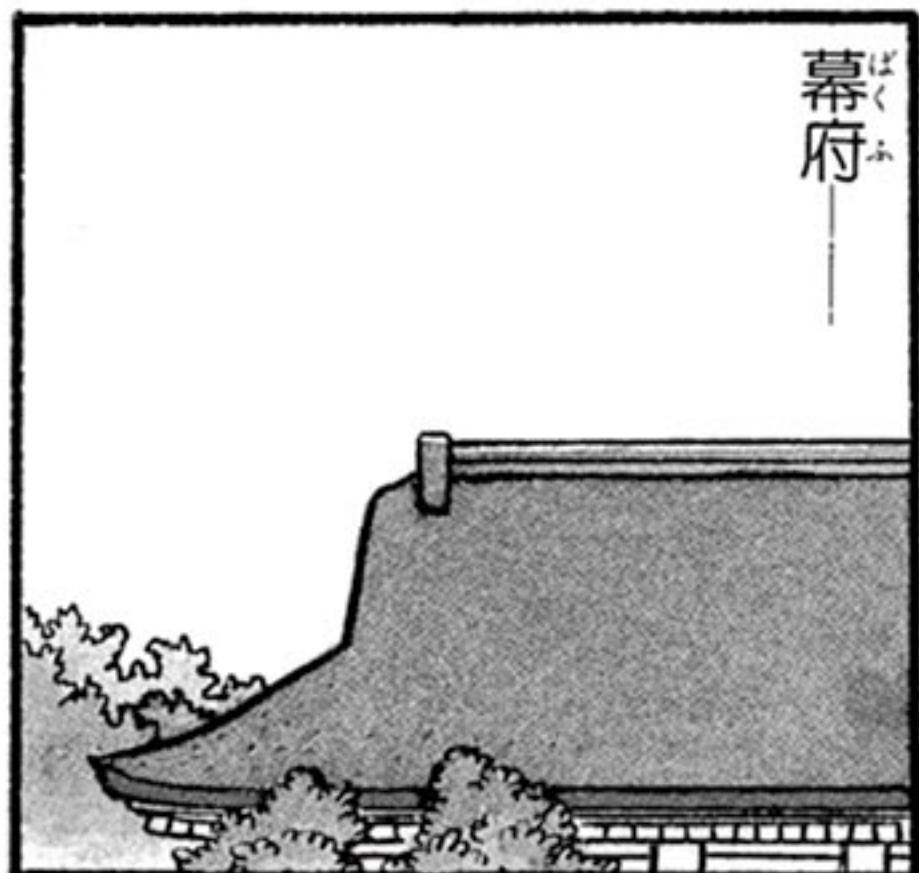




\* 松葉ヶ谷：神奈川県鎌倉市大町



\*筑前：福岡県北西部





\*評定会議  
鎌倉幕府で、

執権や評定衆など有力な御家人が、政治のことなどをきめる最高の会議。

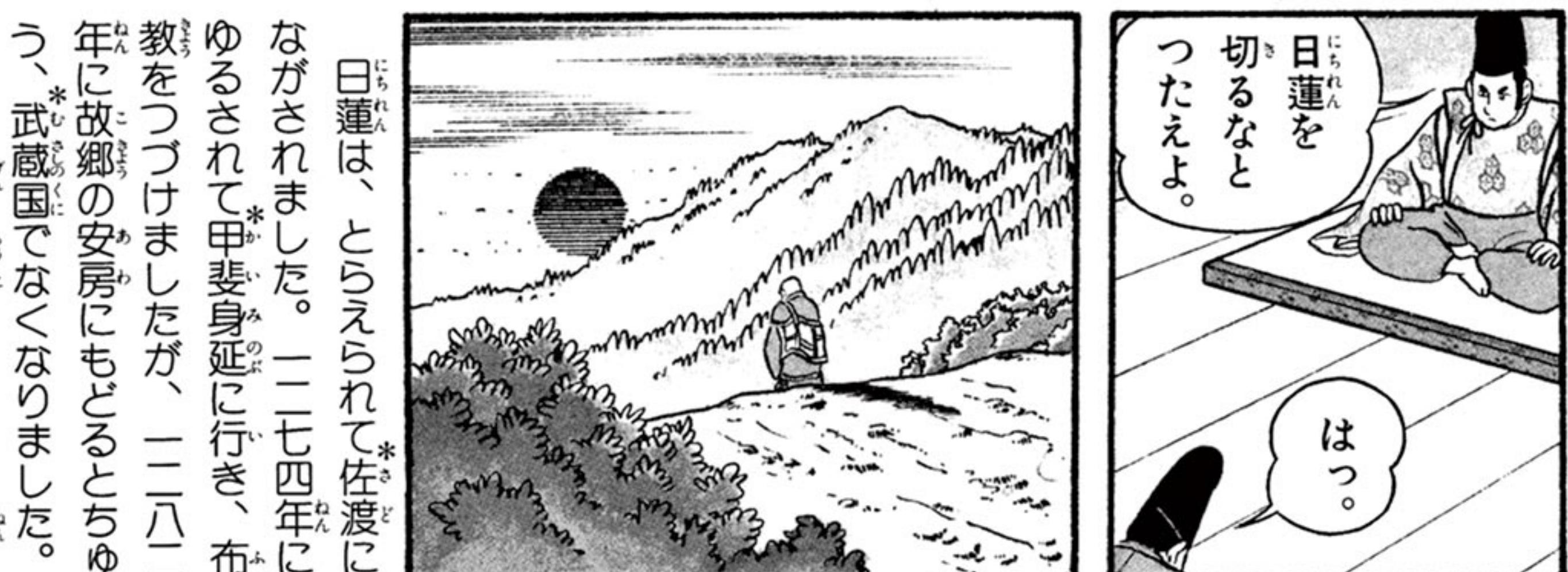


こうして、幕府と朝廷は、蒙古がすべて無視する態度をとりました。その後も、何度も何度も古の国書を無視しました。そのたが、すこしこぎました。





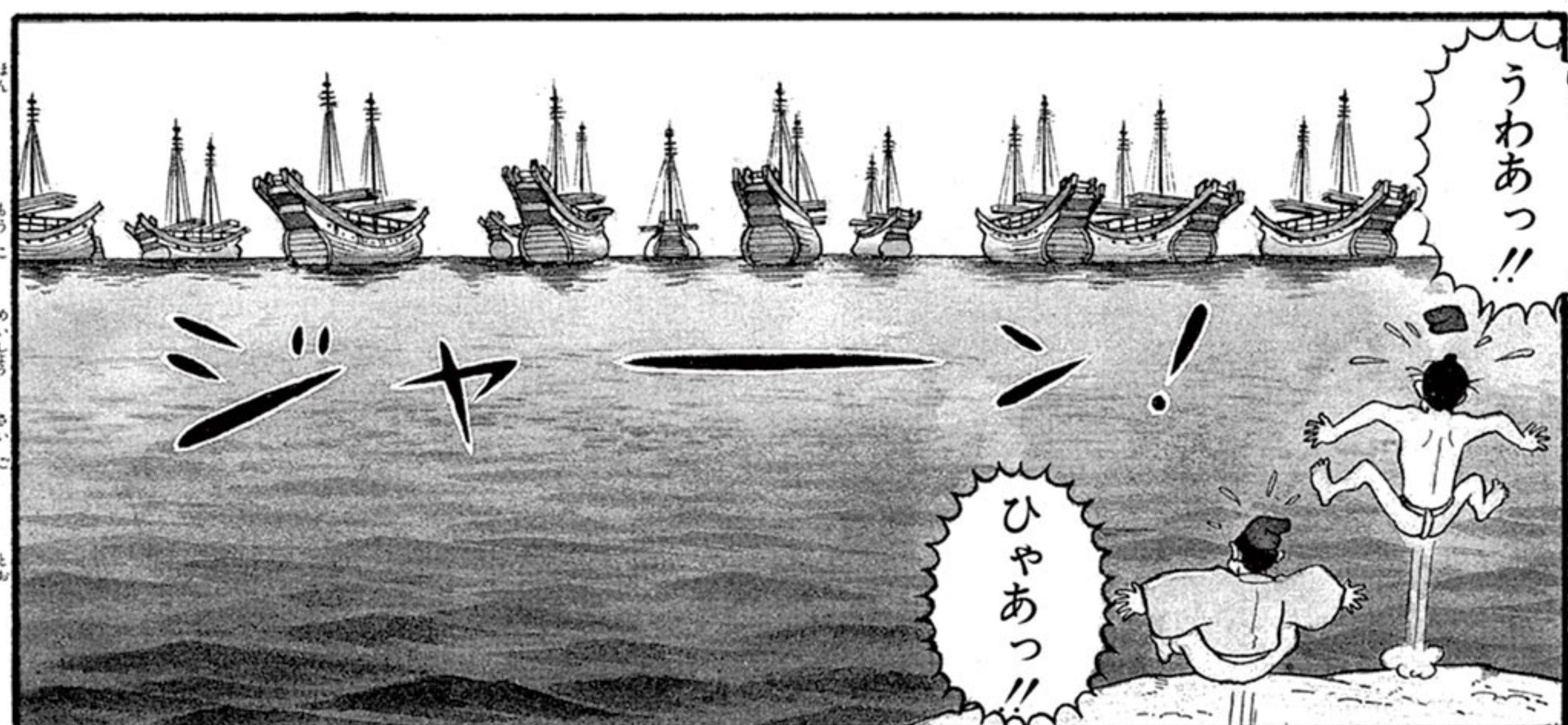
\* 佐渡…新潟県佐渡市  
\* 甲斐身延…山梨県南巨摩郡身延町



現在久遠寺がある。  
\* 武藏…埼玉県・東京都

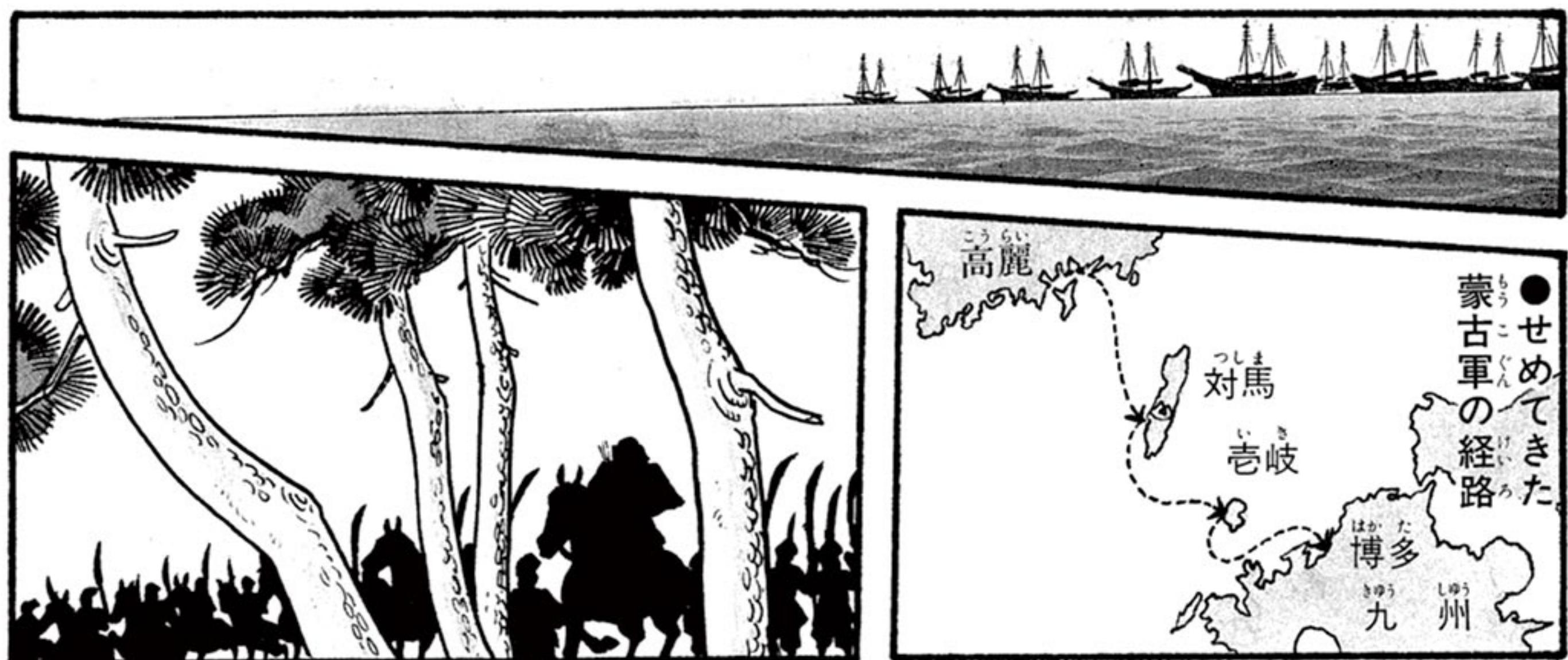


蒙古は、國号を元とあらためました。



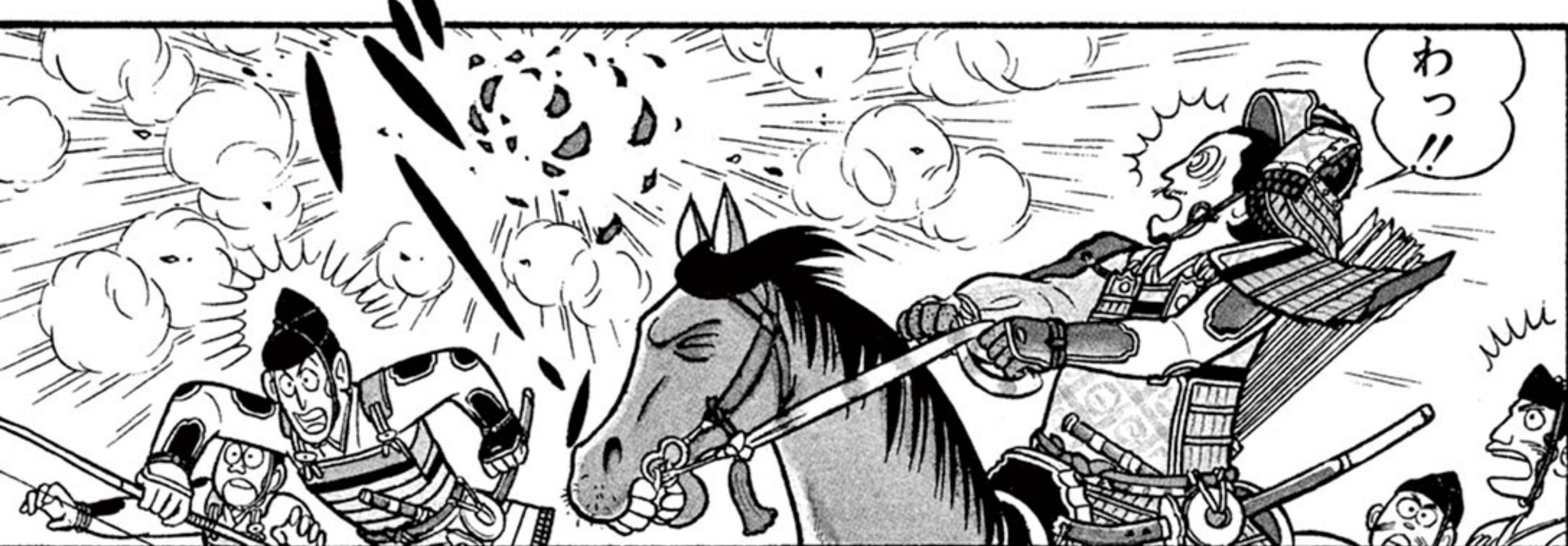
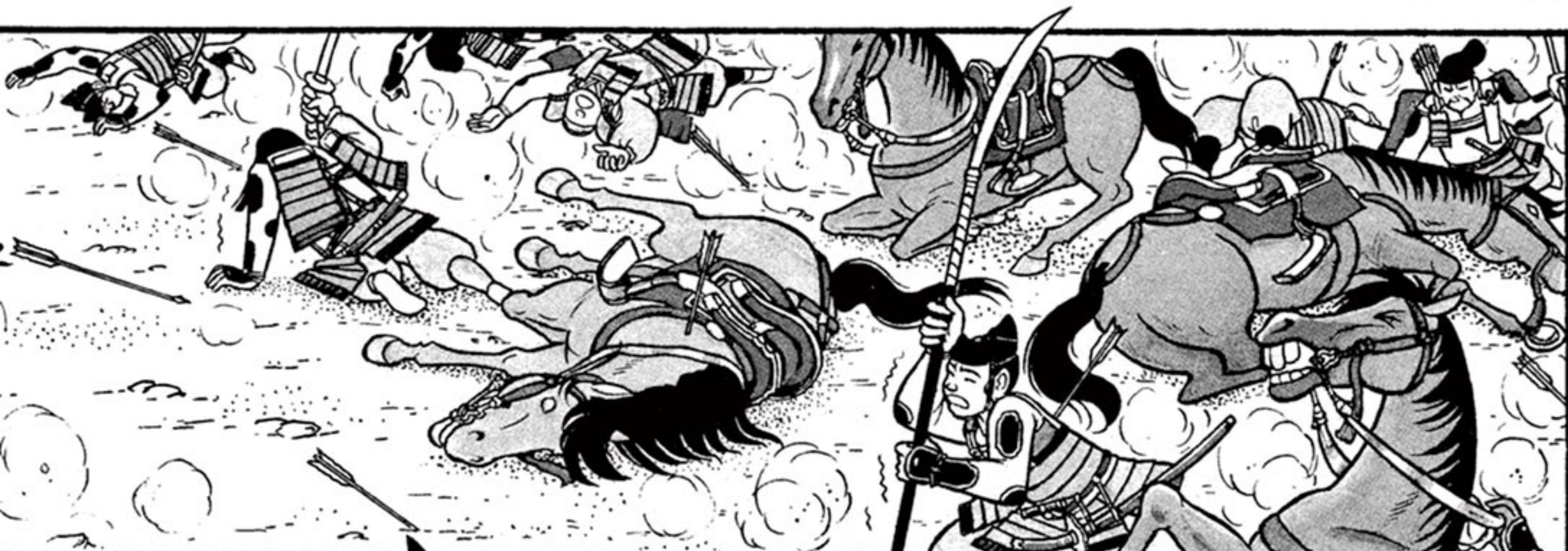
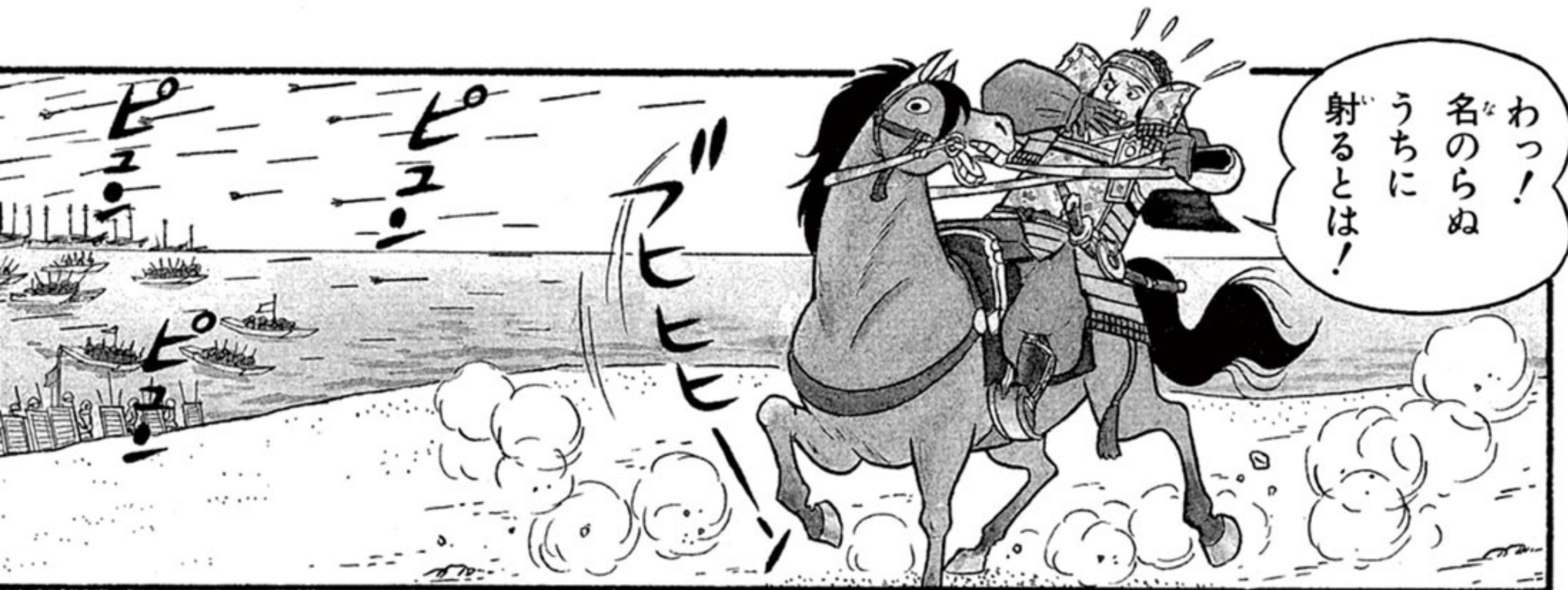
この本では、蒙古の名称で最後まで通しました。

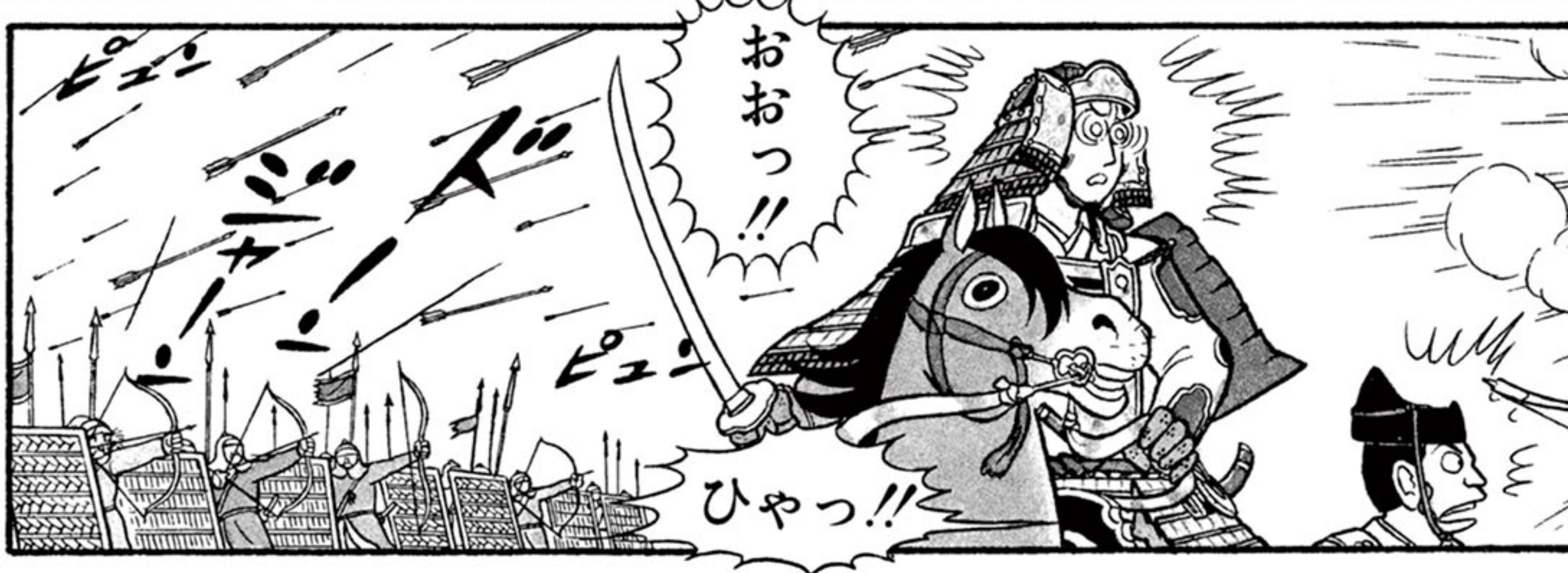
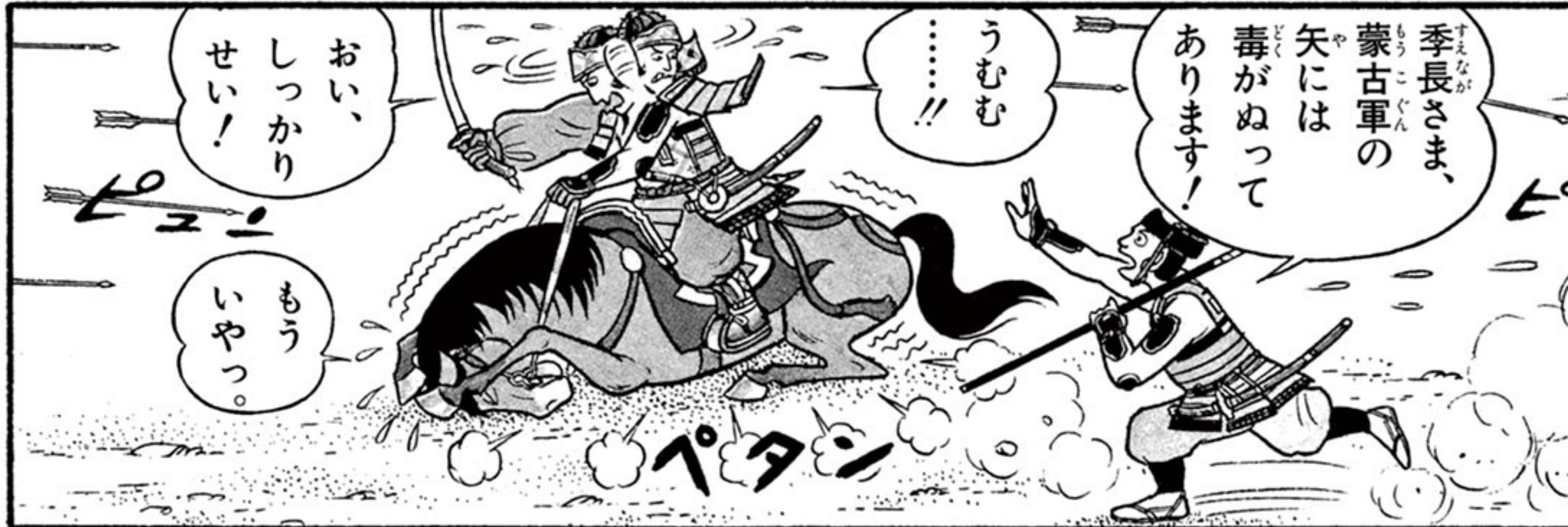
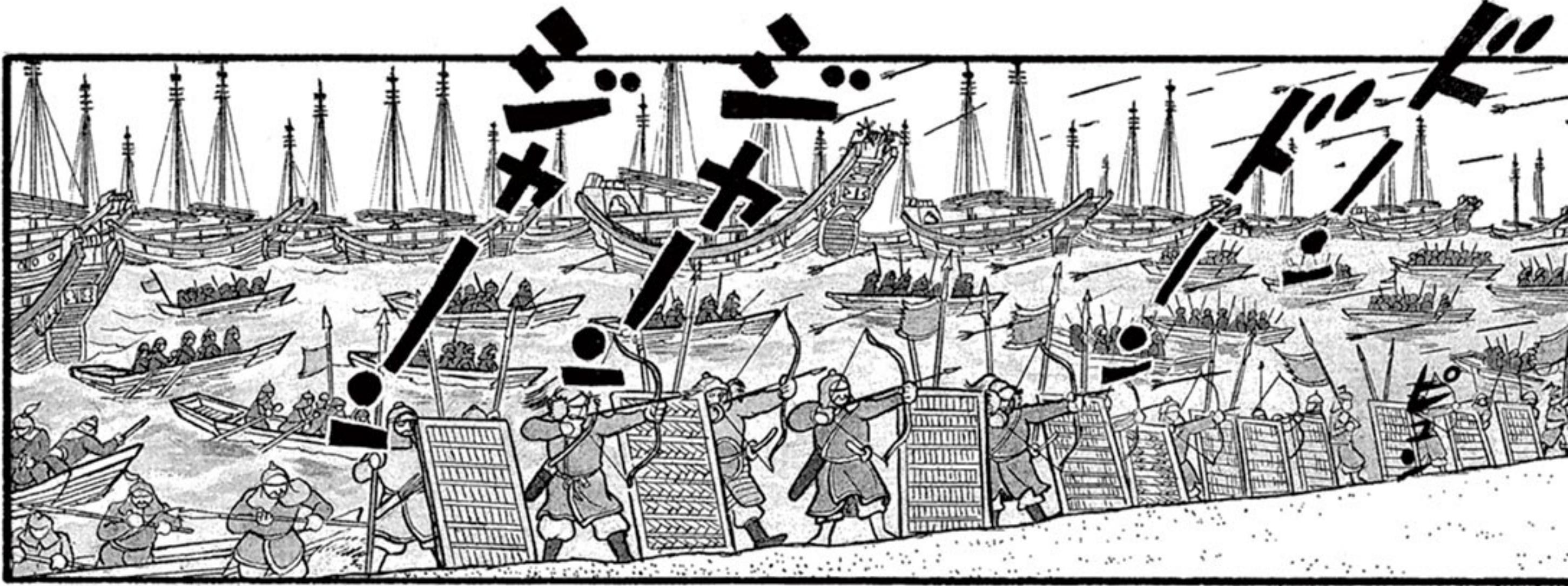
対馬、壱岐を、どうのづとく  
おそつた蒙古軍は、つづいて博多  
湾におしませました。

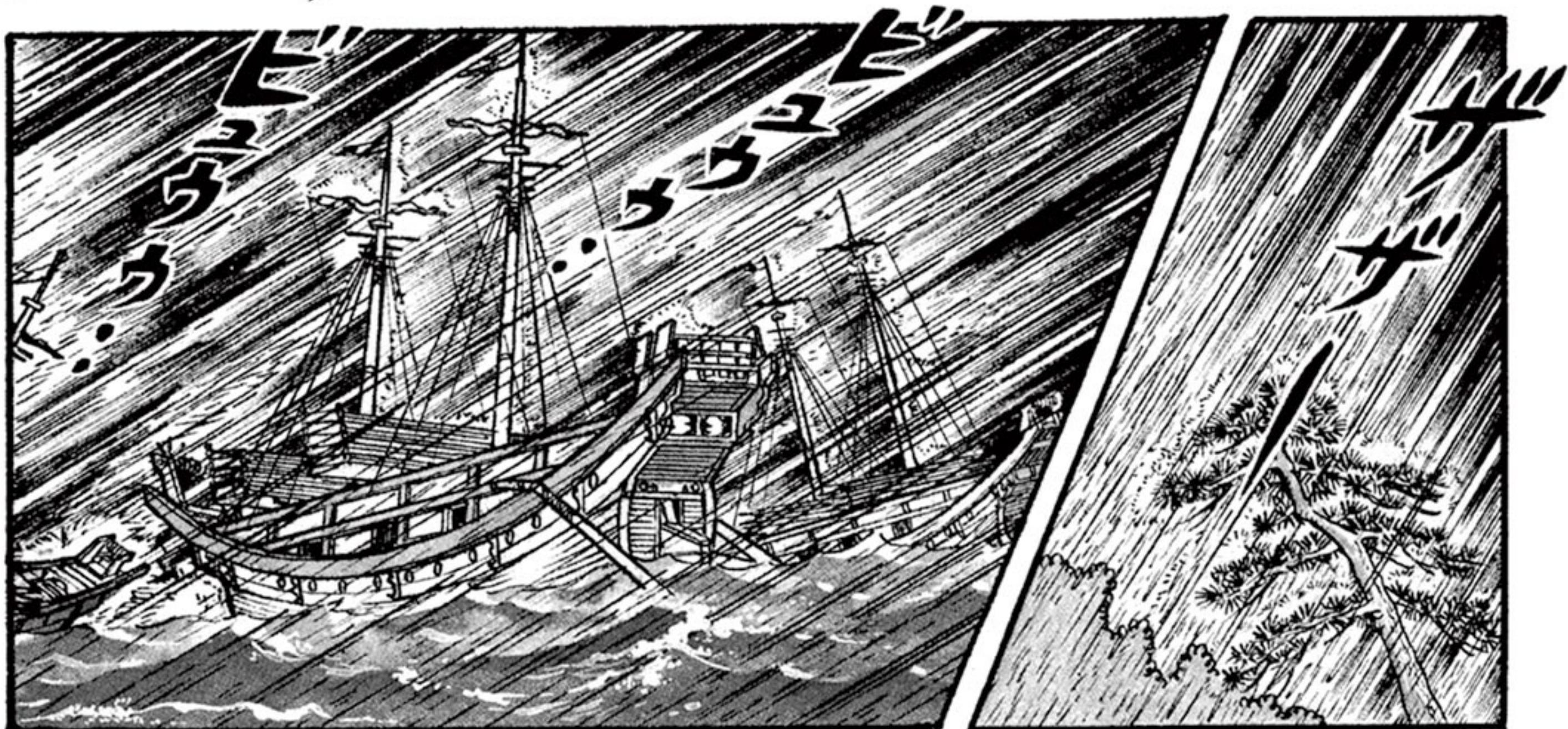
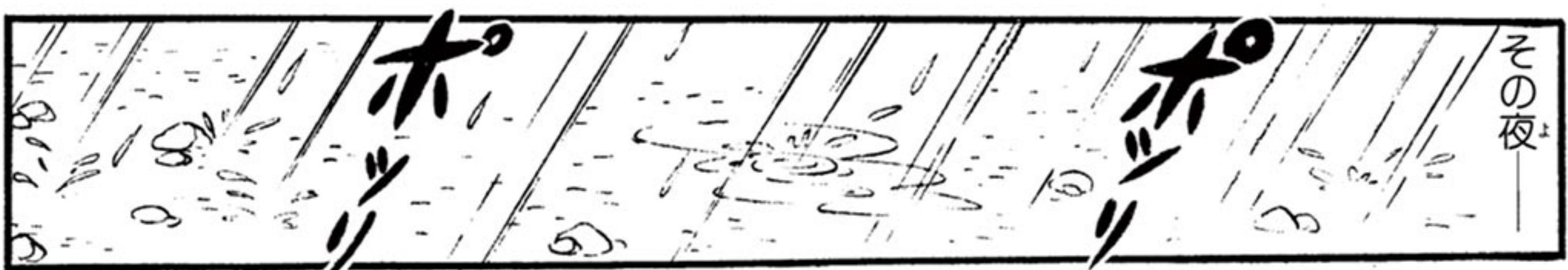


\*先駆の功：他の者より先に敵中にせめいること。

\*肥後：熊本県







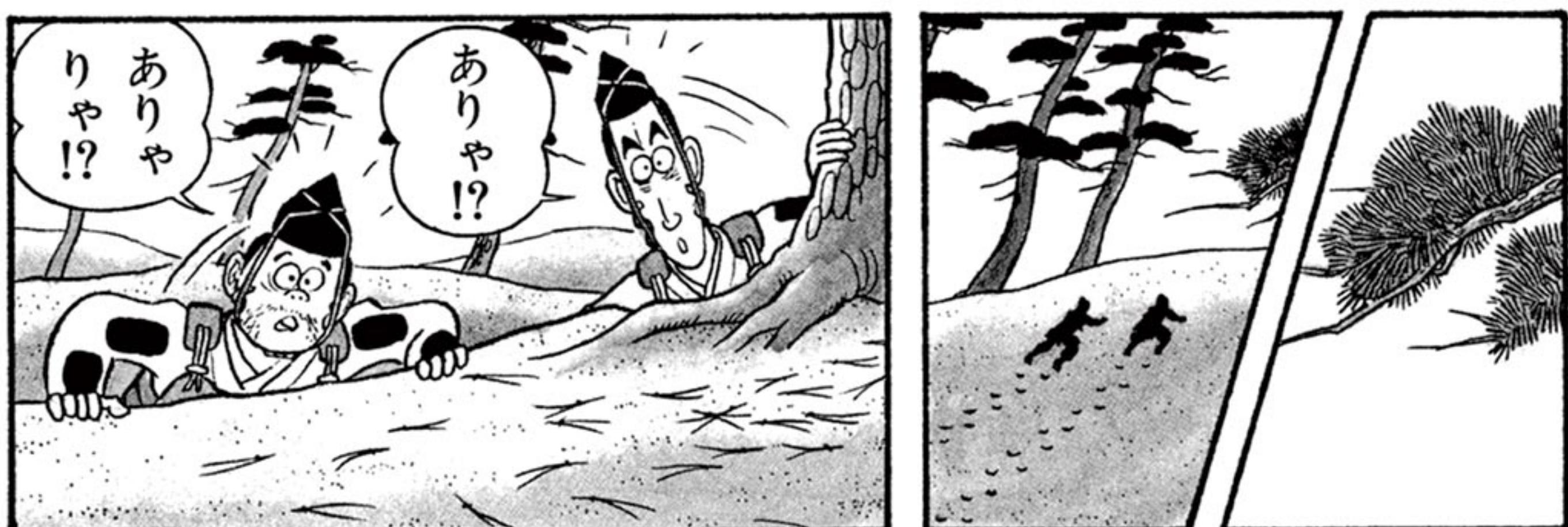
\*大宰少弐：九州の政治や外交を行つ役所である大宰府の実際上の長官。



\*大宰少弐  
武藤景資



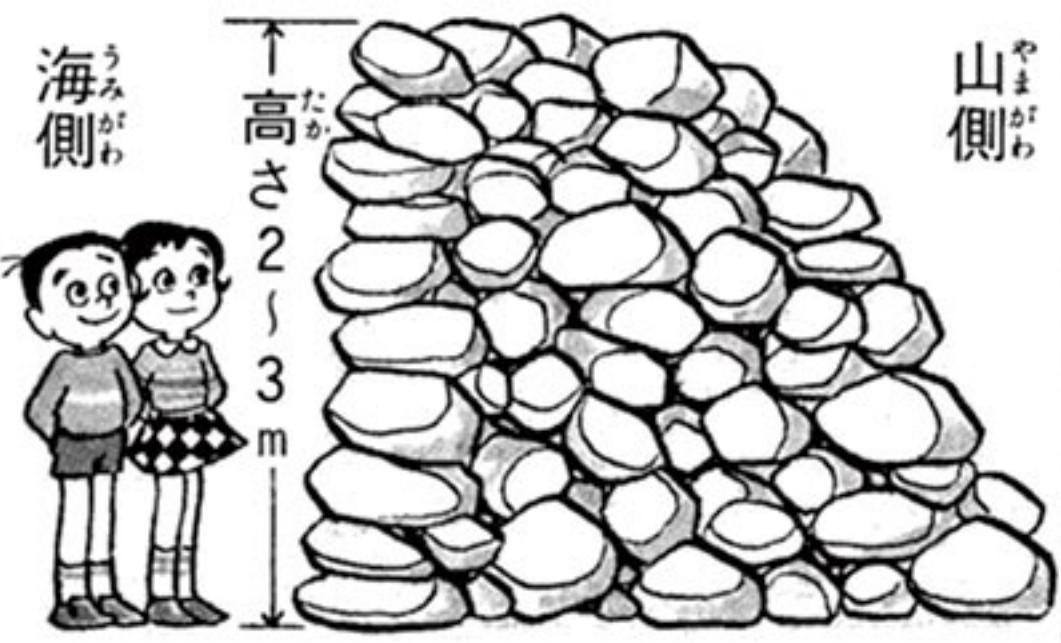
そのようなことになつたら、御家人のはじじや。





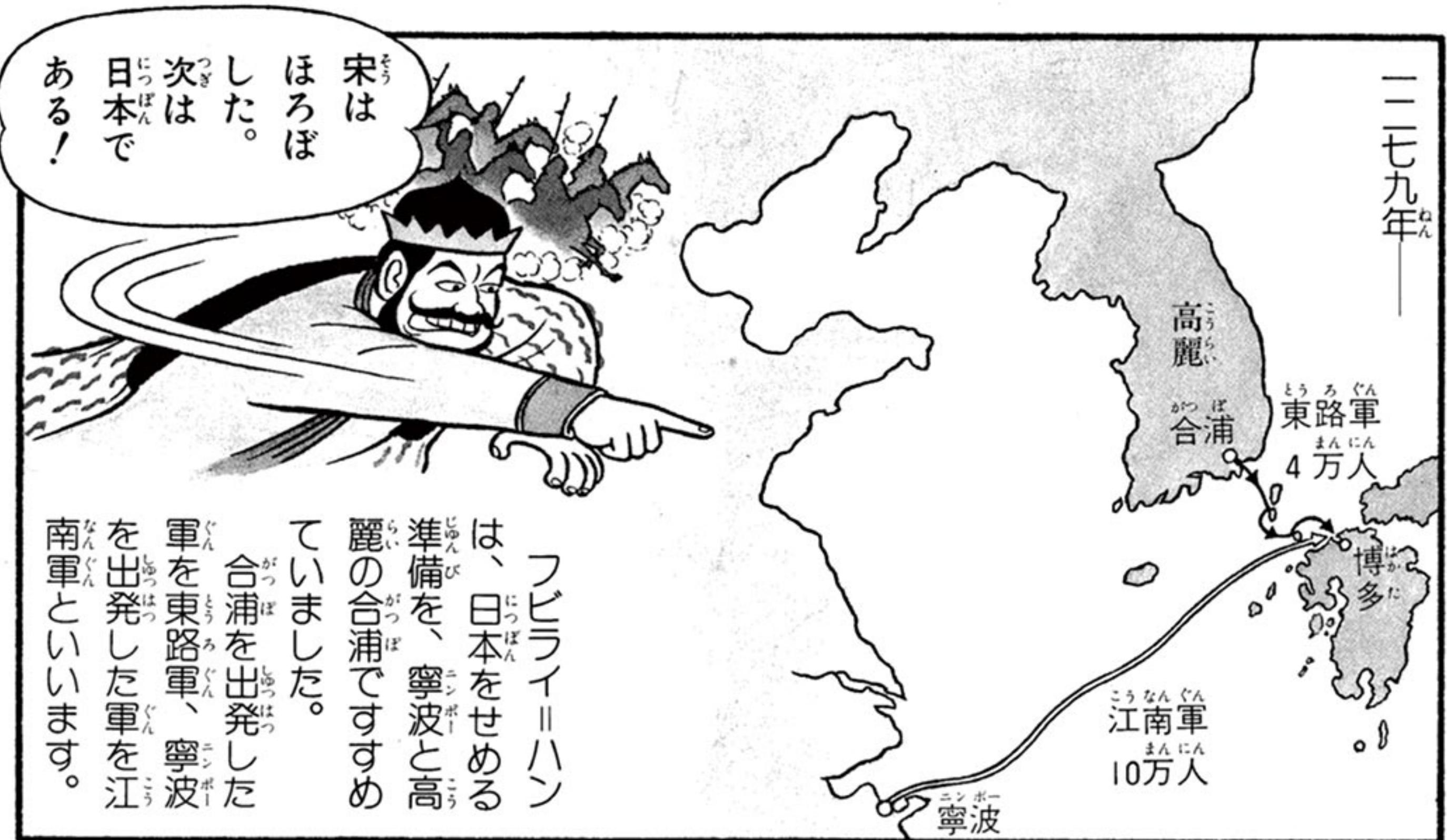


● 防壠の断面図  
防壠の海側は、垂直に近いつくりになっています。  
高さも2~3メートルあります。

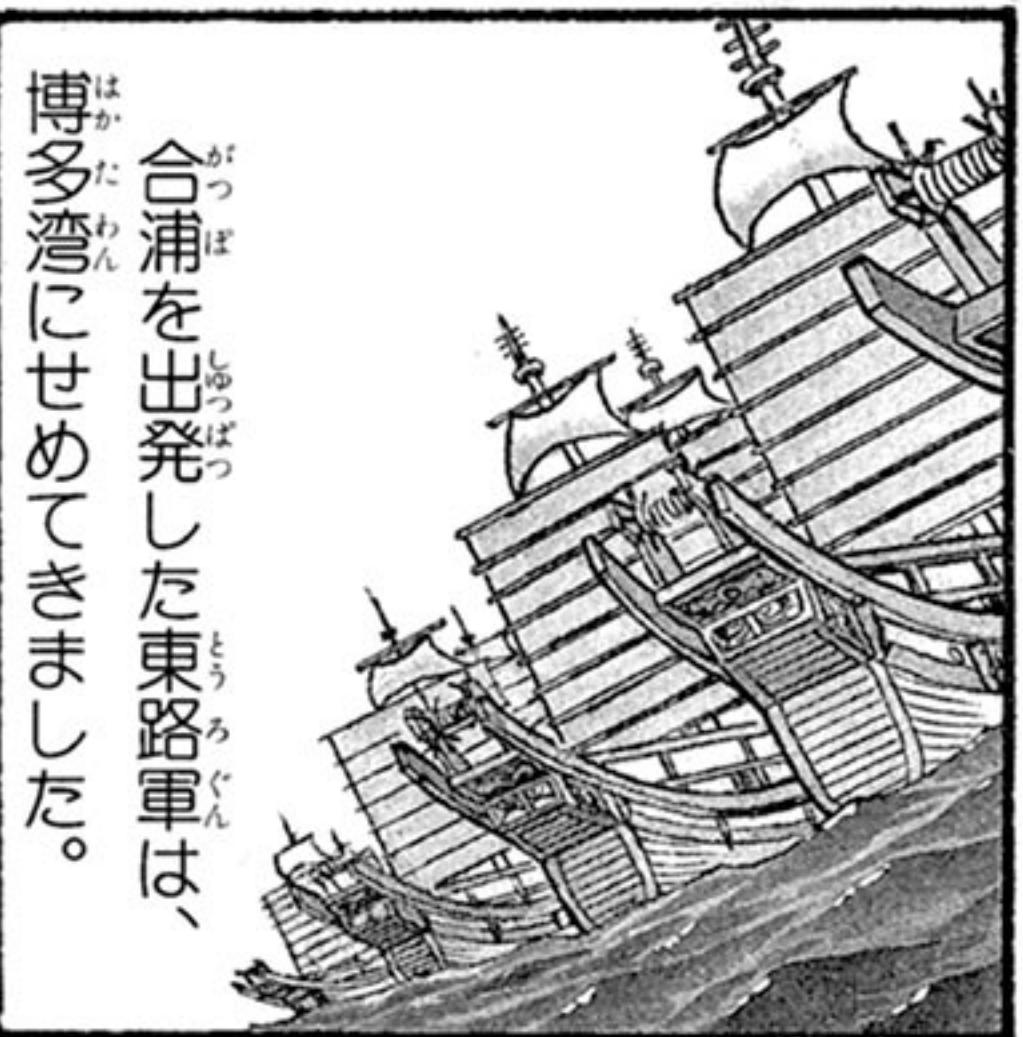


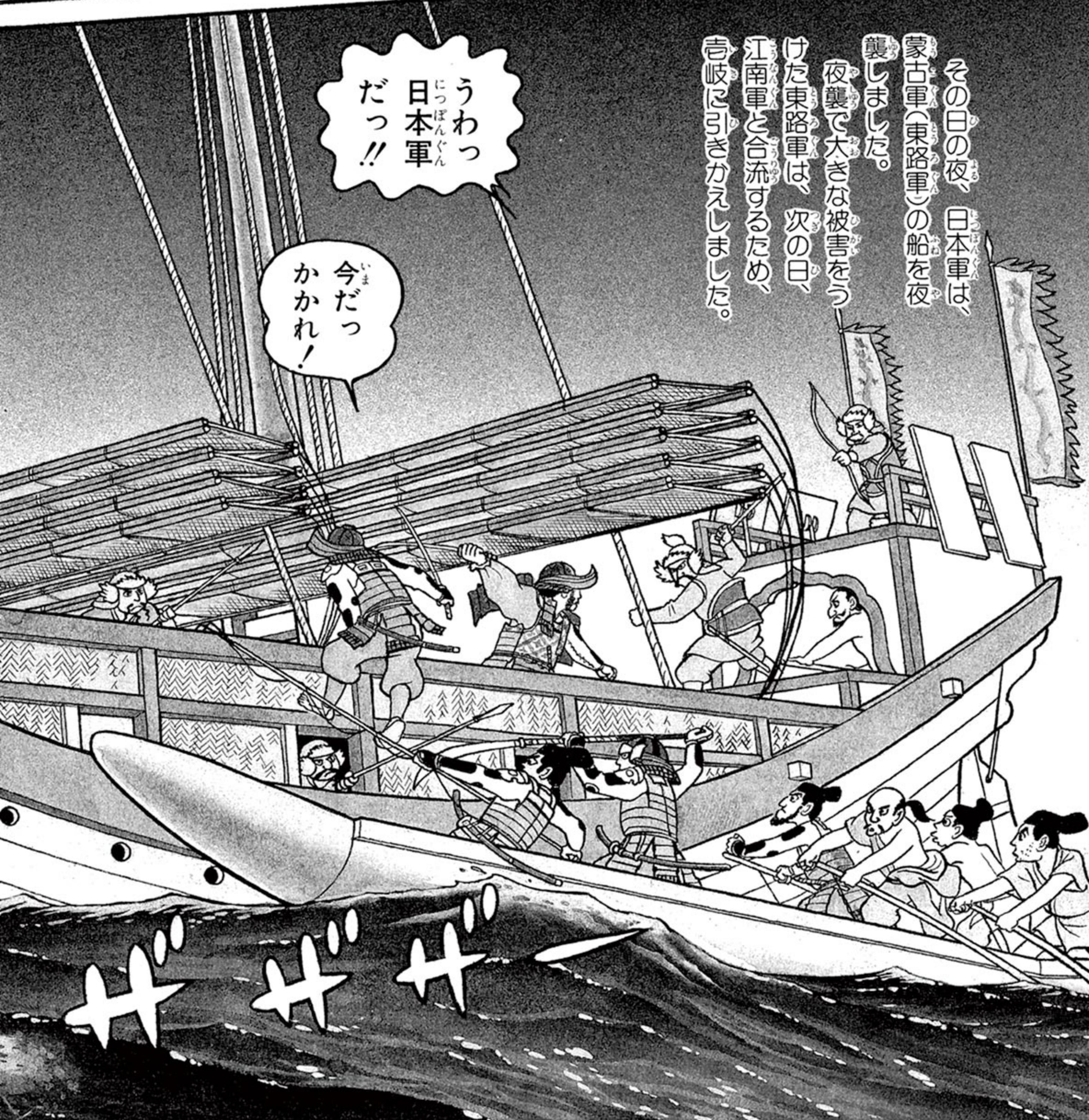
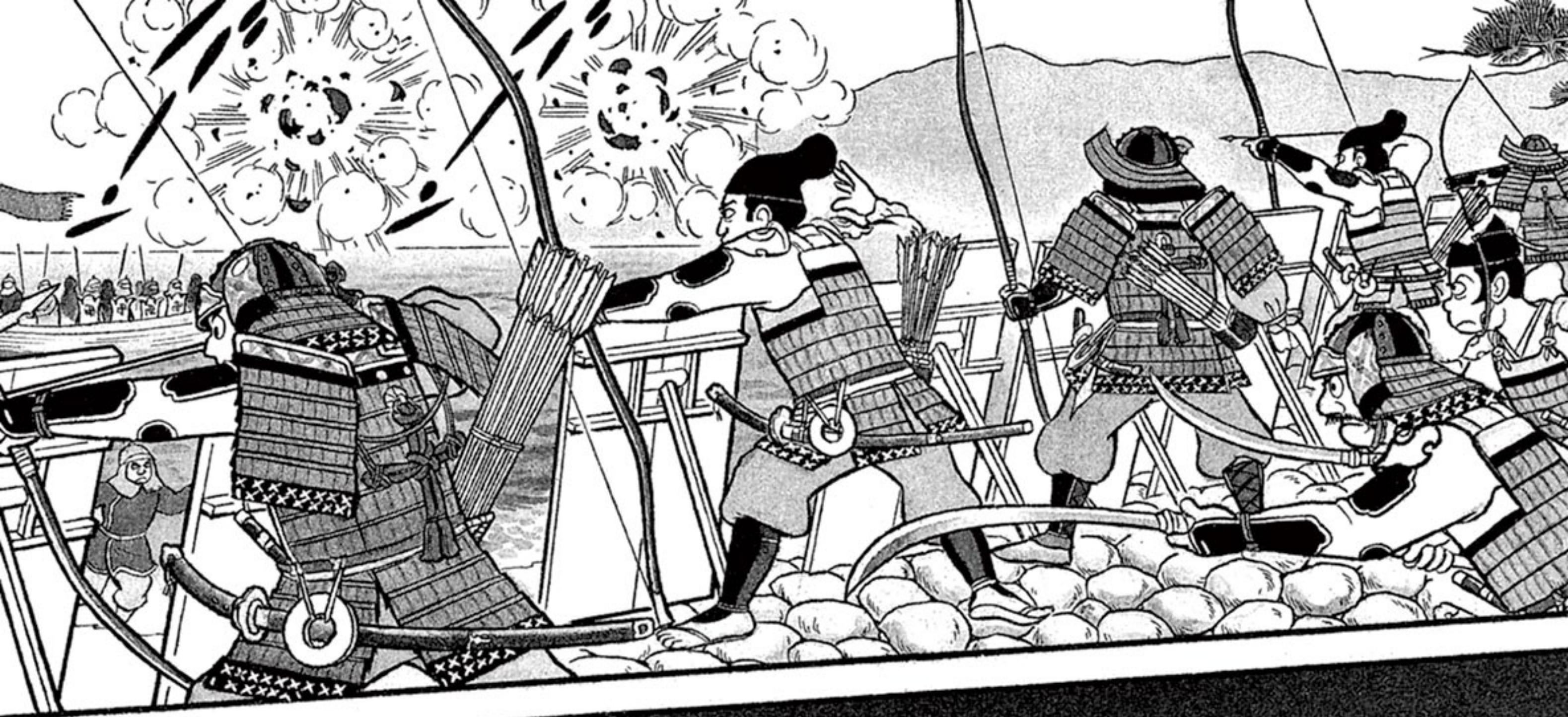


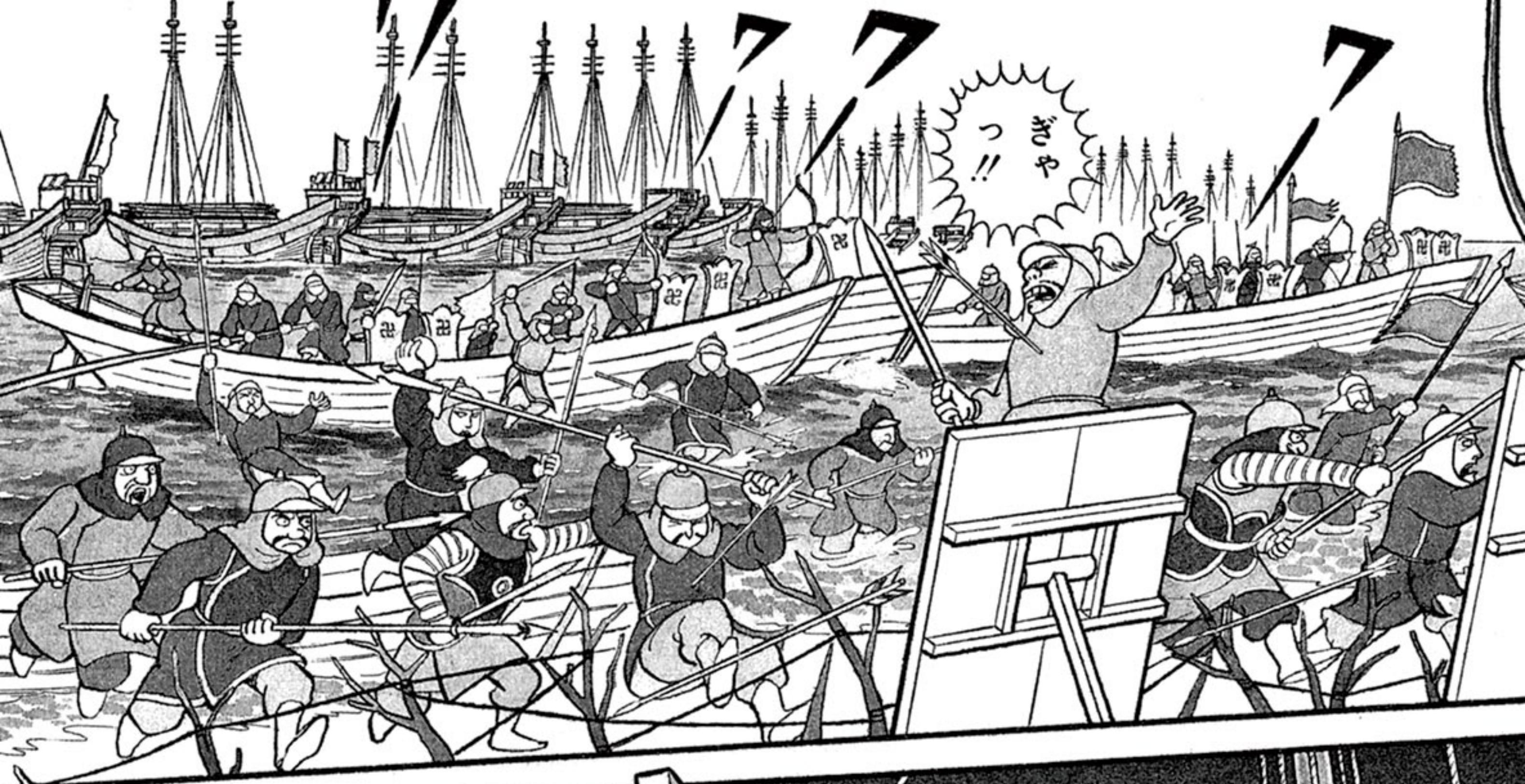
一一七九年

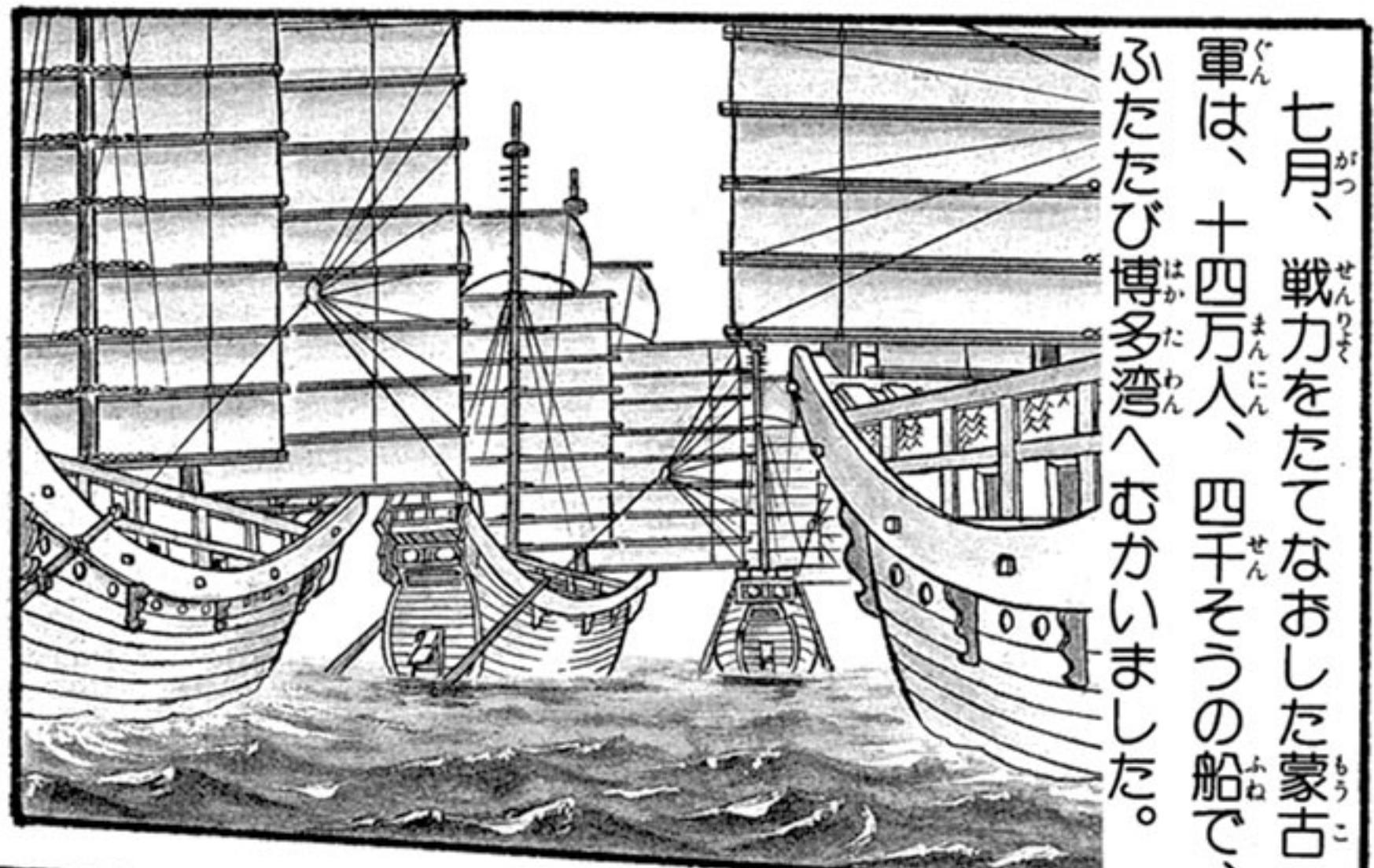


一一八一年六月

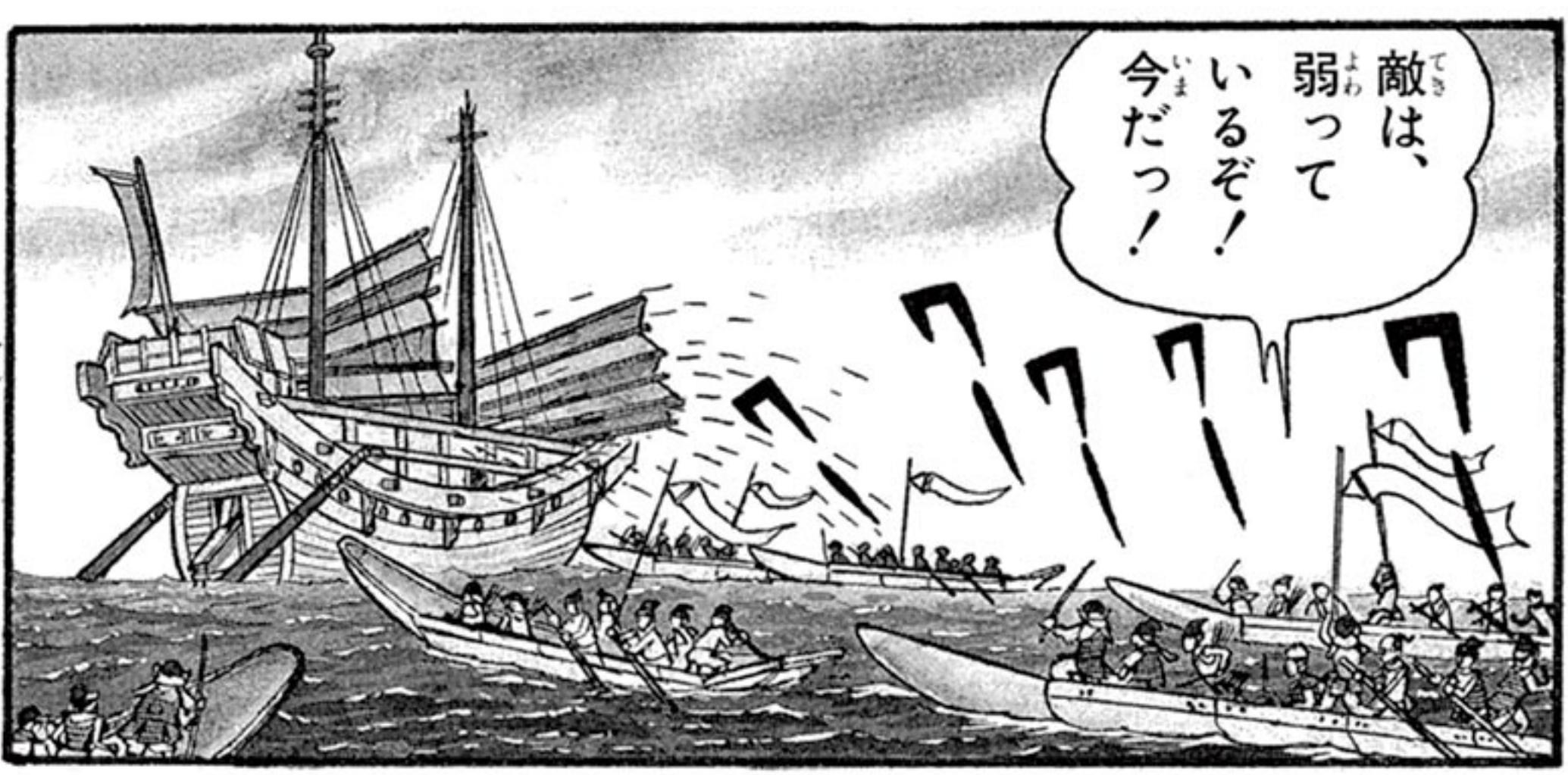


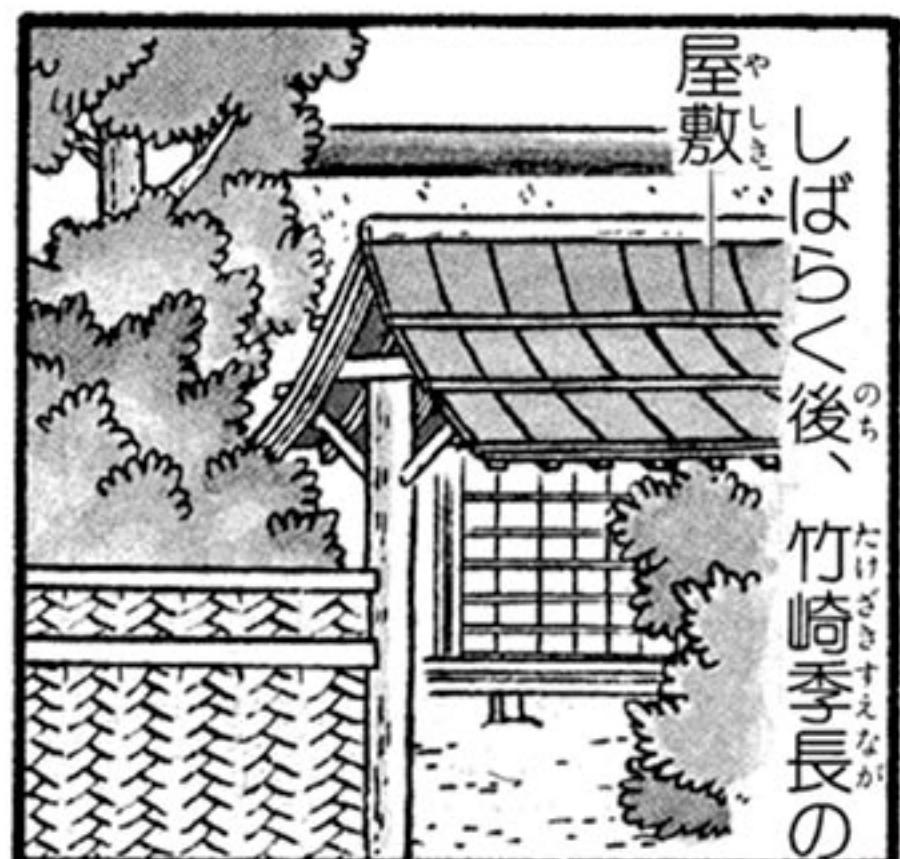






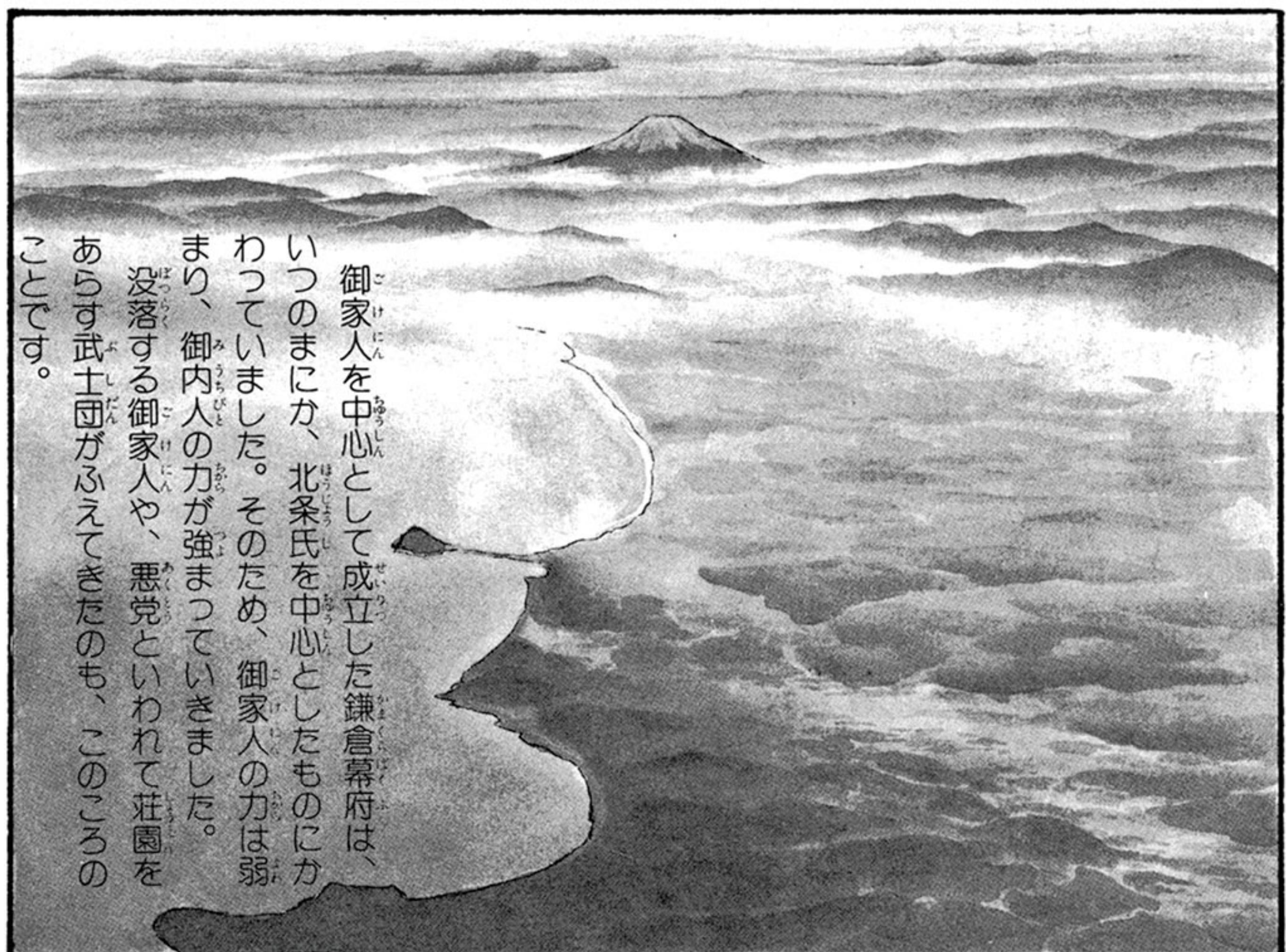
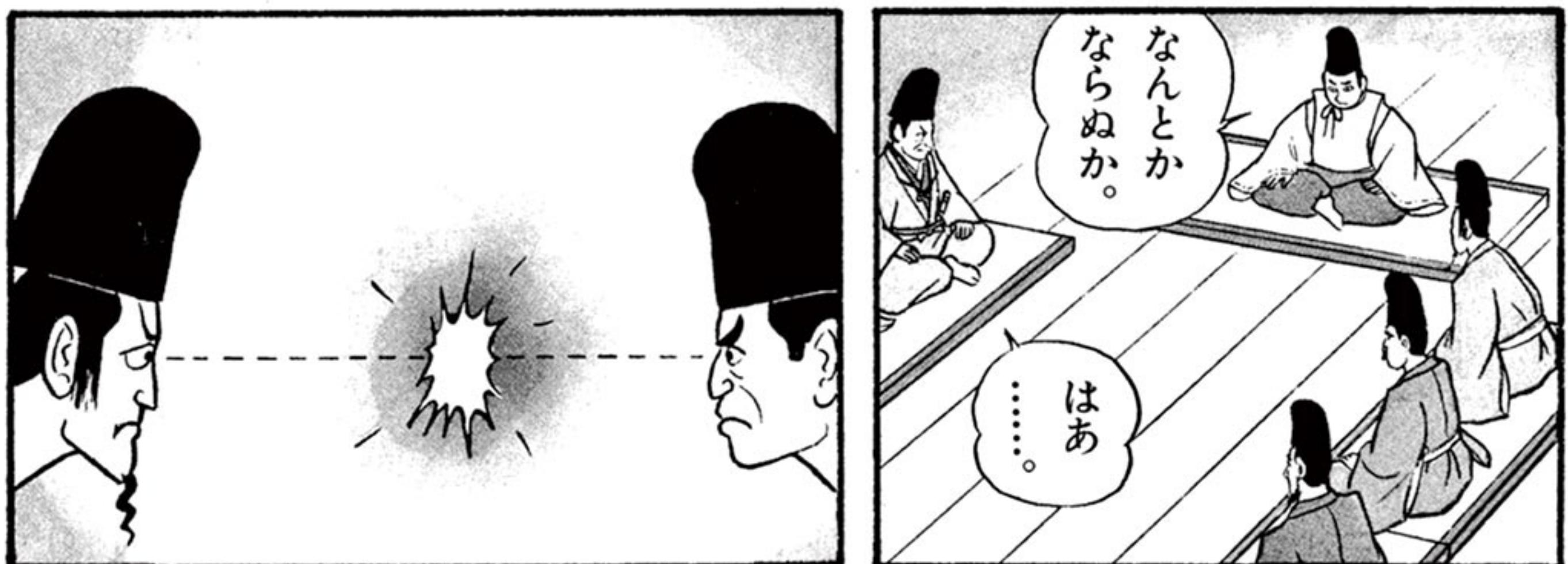
こうして、戦闘力をうしなつた蒙古軍を相手にたたかつた日本軍は、圧倒的な勝利をおさめました。この戦いを、「弘安の役」といいます。文永の役、弘安の役を合わせて「元寇」といいます。











小学館 eBooks

# おうちの方へ

## 鎌倉幕府の成立

京都教育大学名誉教授

高山博之

源頼朝が東国の武士を支配する幕府を鎌倉に開き、政治の中心は地方に移りました。鎌倉時代は京都・鎌倉の二重政権の時代です。

この初めての武家政権は、平氏ついで奥州藤原氏を滅ぼして力を強め、しだいに京都の朝廷・公家の政権を圧迫していきます。幕府の権力を源氏から北条氏の手に移り、承久の乱をへて確立しますが、この間の幕府政治確立の過程をしつかり掘ませてほしいと思います。

また、新しい仏教や文化、庶民の生活、市や旅の様子、鎌倉の町、最大の国難であつた蒙古の襲来とその影響などに注目させてください。

### ●第1章 「はじめての武家政権」

頼朝が幕府政治を固めていく過程を中心には、その中に義経の悲劇、奥州藤原氏の滅亡、東大寺大仏の再建などをおりこみ展開します。

頼朝は、義経追捕を口実に全国に守護・地頭を置くことを院に認めさせて、地方支配の基礎を固め、次いで念願の征夷大将軍の地位を得て名実ともに鎌倉幕府を確立しました。

しかし、頼朝の死後、幕府の実権は有力御家人、とくに北条氏の手に移つていき、2代將軍頼家は修禅寺で非業の最期をとげます。

この章では、武家政治の成立過程をとらえ、その歴史的意義を考えること、東国武士団の独立の願いに注目することなどが重要です。

### ●第2章 「承久の乱」

北条氏による執権政治の確立がこの章のテーマです。有力御家人の対立が表面化する中で、朝廷に接近していた3代將軍実朝が暗殺され、源氏はわずか3代で滅びました。

かねてから幕府打倒をねらっていた後鳥羽上

皇は、この機会をとらえ軍をおこしますが、逆に幕府の攻撃に敗れました。この承久の乱で、國家政権は衰え、執権として幕府の実権をにぎつていた北条氏の地位が確立しました。

執権政治は北条泰時のときに安定、充実し、武家の法律も制定されます。

東国武士団に支えられた幕府政治の特色をとらえさせてください。庶民の生活ぶりにも注目させましょう。

### ●第3章 「新しい仏教」

鎌倉時代には、仏教の新しい宗派がたくさん生まれ、現代にもそれらが生きづけています。平安時代末期からの相つぐ戦乱、政変の不安な世の中で、人々は救いを求めていました。この願いに答えようと、仏教の新しい教えが次々と説かれたのです。法然・親鸞・一遍の念佛宗、日蓮の法華宗、栄西・道元の禅宗がそれです。

この章では、親鸞・道元・日蓮の求法と布教の様子を中心に、新しい仏教のあり方や、それ

らにすがる人々の姿を描いています。

宗教のことはわかりにくいのですが、人物の動きを通して、仏教が社会の中でいかに重要な役割を果たしたかを感じとらせたいものです。

### ●第4章 「蒙古の襲来」

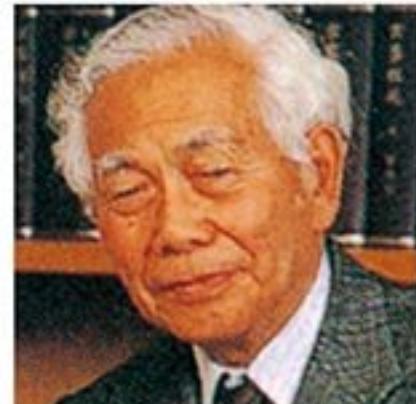
「元寇」を中心に物語が展開されます。13世紀初めに、大陸ではモンゴル人（蒙古人）による遊牧国家が成立し、やがて世界史上最大の帝国に発展しました。その勢いは元寇として日本にも及び、未曾有の国難をもたらしました。

幕府は、執権北条時宗を中心団結し、御家人たちはよく戦つてこれを撃退しました。しかし、元寇後の幕府は、財政難、御家人の生活苦などの問題から、しだいに衰えはじめます。第7巻は、この幕府政治や御家人制の動搖を暗示して終わります。

この章では、その点に気づかせるとともに、世界史的な視野で元寇の原因や経過、日本の対応をとらえさせてください。

児玉幸多

Kouta Kodama



歴史を漫画で説明しようというのはかなり冒険である。しかし、文字で読んでも、耳から聞いても、人それぞれに頭の中ではその光景を絵に描いているのである。それが子供たちの頭の中で全くの絵空事にならないように、今の歴史研究の段階では、このくらいのところまでは漫画にすることができるのではないかという試みがこの企画である。

それぞれの専門研究家の指導によって一巻ごとの構成を決め、作図や文章表現も考慮しているので、誤った知識を得る恐れはないと思う。そして、多分、大人が読んでも、あるいは見ても、十分に楽しみながら日本歴史の学習ができるのではないかとも考えている。遺跡の発掘、奈良の大仏の铸造、天守閣の構築、それらの一つ一つにも、専門家の新しい研究成果が判りやすく盛りこまれているからである。楽しみながら正確な知識が得られることを願う次第である。

小学館 eBooks

学習まんが 少年少女 日本の歴史 第7巻 鎌倉幕府の成立

2015年3月27日 電子書籍版発行

監修 児玉幸多

まんが あおむら 純

発行人 伊藤 護

発行所 株式会社 小学館

〒101-8001

東京都千代田区一ツ橋 2-3-1

s-ebook@shogakukan.co.jp

底本 2014年10月20日 増補版第23刷発行

©SHOGAKUKAN 2015 ISBN978-4-09-298107-2

※ご注意

本作品の全部または一部を無断で複製、転載、改竄、公衆送信すること、および有償無償にかかわらず、本データを第三者に譲渡することを禁じます。

個人利用の目的以外での複製など違法行為、もしくは第三者への譲渡をしますと著作権法、その他関連法によって処罰されます。